



INFORMATION-TECHNOLOGY PROMOTION AGENCY, JAPAN

2005情財第1191号

情報セキュリティに関する新たな脅威に 対する意識調査 報告書

2006年4月

独立行政法人 情報処理推進機構

目次(1/2)

1. 調査概要	3
2. 調査結果の概要	5
3. 調査結果	9
3.1. 新しいセキュリティ上の脅威に対する認識 (ウイルス感染、スパムメール、スパイウェア、フィッシング、ファームウェア、ボット、セキュリティホール)	10
3.1.1. 情報セキュリティに関する言葉の認知度	11
3.1.2. 情報セキュリティに関する事象の認知度	15
3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度	18
3.1.4. 情報セキュリティに関する事象への脅威	33
3.1.5. 情報セキュリティに関する事象への対策	36
3.1.6. 情報セキュリティに関する被害経験	40
3.1.7. 情報セキュリティに関する相談先	45
3.2. 情報セキュリティに対する行動実態	48
3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況	49
3.2.2. 利用するセキュリティ対策ソフト	59
3.2.3. 情報セキュリティ対策に関する意識	61
3.2.4. 情報セキュリティ被害経験	64

目次(2/2)

3.3. 情報セキュリティに関する情報の収集源	72
3.3.1.情報の入手経路	73
3.3.2.情報収集に関する意識	76
3.3.3.希望する情報提供方法	79
3.4. インターネットの利用状況	82
3.4.1.インターネット利用開始時期	83
3.4.2.インターネット利用場所	85
3.4.3.プライベートでのインターネット利用目的	87
3.4.4.インターネット利用時間	91
3.4.5.電子メールの送受信数	93
3.5. 基本属性	95
参考 調査票	98

1. 調査概要

調査概要

(1) 調査名

「情報セキュリティに関する新たな脅威に対する意識調査」

(2) 調査方法

ウェブアンケート調査

株式会社イプシ・マーケティング研究所が調査設計及び作成した調査票に基づき、株式会社マクロミルがリサーチモニターを対象にウェブアンケートを実施し、株式会社イプシ・マーケティング研究所が集計・分析、取りまとめを行った。

本調査は、PCインターネット利用時の情報セキュリティに関する脅威がテーマであるため、PCインターネットによるウェブアンケートを調査方法として採用。(株)マクロミルのリサーチモニターを対象にクローズド型ウェブアンケートを実施した。(同社では、全国のインターネット利用者を代表するよう常時モニター会員を募集、また、定期的にモニターのクリーニングを実施している)

(3) 調査対象

15歳以上のPCインターネット利用者

(4) 調査期間

2006年2月3日～2月4日

(5) 有効回答数

5,142人(男性48.5%、女性51.5%、平均年齢は35.2歳)

(6) 調査内容

- ・新しいセキュリティ上の脅威に対する認識・理解度
- ・情報セキュリティに対する行動実態
- ・情報セキュリティに関する情報の収集源
- ・インターネット利用状況

2. 調査結果の概要

情報セキュリティに関する新たな脅威に対する意識調査 (1 / 3)

10代はセキュリティ意識が低い

10代は、セキュリティ上の脅威についてある程度知っており被害経験も多い一方で、脅威と思わない、相談先を用意していない、セキュリティ情報を収集しないなどの割合が高く、セキュリティ全般への関心が比較的薄い。

女性は問題意識は高いがリテラシー不足

女性は男性よりもセキュリティ上の脅威を感じている人が多いものの、技術的な理解やスキルの不足のため適切な対策が取りづらく、怪しいメールは開かないなど消極的な対応に留まっている傾向がある。

インターネット利用歴の浅い人はセキュリティ意識が低い

インターネット利用歴の浅い層は、セキュリティ関連の事象の認知度が低く、対策方法や何が危険なのかがわからず対策を行わない傾向がある。また、セキュリティ上の被害にあったときに自力で対処する人が少ない。

職業によっても理解度や行動実態が異なる

情報システム技術者は、セキュリティ関連の事象の認知・理解度、対策実施率などが総じて高く、専業主婦とパート・アルバイトは低い。経営者層は事象を認知し対策も行うが、個々の事象について深く理解しているとはいえない。

1. 新しいセキュリティ上の脅威に対する認識

言葉と事象の認知度: 言葉の認知度は「ウイルス感染」が98.7%、「スパムメール」、「スパイウェア」、「フィッシング」が各7～8割、「セキュリティホール」が約半数、「ボット」、「ファームウェア」が各1割前後。言葉を知っている人のうち事象も知っているのはおおむね6～8割。全体傾向として、男性、20～40代、フルタイムワーカー層(特に情報システム関係の技術者)、およびインターネットのヘビーユーザーは言葉や事象を知っている割合が高い。インターネット利用歴の浅い層は、各事象の認知度が低い。

事象の理解度: ある事象をよく理解している人は他の事象の理解度も高い。日ごろセキュリティを意識する人は、各種の脅威に関して幅広く知識を得ていると考えられる。一部の事象については、特に情報システム関係の技術者がよく理解している。

脅威感: 男性より女性のほうが各種事象を脅威に感じている人の割合が高い。10代は脅威に感じる人の割合が顕著に低い。

情報セキュリティに関する新たな脅威に対する意識調査(2 / 3)

脅威感: 男性より女性のほうが各種事象を脅威に感じている人の割合が高い。10代は脅威に感じる人の割合が顕著に低い。

実施している対策: 対策ソフト活用と運用管理(見知らぬメールは開かないなど)が中心。どの対策方法についても、各種事象の理解度が高い人ほど実施率が高い。

被害経験: 「ウイルス感染」は4割強、「スパムメール」は3割強、「スパイウェア」は2割強が経験あり。特に若年層で経験率が高い。

相談先: 相談先を用意していないのは全体の半数強、10代では65.9%に達する。相談先としてプロバイダと対策ソフトメーカーを挙げた人が各25%程度、パソコンメーカーが約2割。

2. 情報セキュリティに対する行動実態

対策の実施状況: 対策ソフト導入、パスワード定期的変更、情報収集などの各種対策の実施率は、男性、経営者、システム関係の技術者で高く、10代およびネット利用歴の浅い層で低い。

利用するセキュリティ対策ソフト: 「シマンテック」が最多。女性および10代は「メーカー名がわからない」人も目立つ。

セキュリティ対策に関する意識: 負担に感じることや対策を実施しない理由としては、「費用がかかる」と「手間がかかる」が圧倒的に多い。10代は「特にない」とする割合が他の年代より高く、問題意識が低いと思われる。また、インターネット利用歴が浅い層ほど対策方法や危険内容がわからない人が多い。

被害内容: 何らかの被害にあった人のうち、約8割が「ウイルス感染」、3割強が「パソコン不調」、1割が「個人情報の流出」を経験。

被害時の対処方法: 「自力で対処」が最も多いが、女性は家族などに相談する人も多い。他の年代と比較して、10代は「家族や知人に相談」と「パソコンメーカーに相談」、50代は対策ソフトメーカーやパソコンメーカー、プロバイダへの相談が目立つ。

3. 情報セキュリティに関する情報の収集源

情報の入手経路: 対策ソフトメーカーやパソコンメーカーのウェブサイトから情報を得る人が圧倒的に多い(特に男性)。10代は他の年代と比べて「入手していない」人の割合が非常に高い。

情報収集に関する意識: 半数前後が「知らない用語が多い」、「内容が難しい」、「内容が新しくなって追いつけない」と感じ、特に女性、専業主婦、パート・アルバイトはその傾向が強い。10代では「特に問題は感じていない」人の割合が2割強で、他の年代の倍。

希望する情報提供方法: 「ポータルサイトの目立つ場所」、「最新情報が自動的にデスクトップに表示」、「メールマガジン」の順に多い。若い層ほど「テレビのCM」と「ニュース内」といったマスメディアでの情報提供を希望している。

情報セキュリティに関する新たな脅威に対する意識調査(3 / 3)

4. インターネットの利用状況

利用開始時期など: 開始時期の平均は1999年7月。全体の8割強が2001年以前からインターネットを利用。利用場所は「自宅」(96.7%)と「職場」(40.2%)が多いが、学生は6割強が「学校」。利用時間は一日平均134.7分、電子メール送受信数は一日平均26.1通。

プライベートでの利用目的: 「趣味・娯楽のための情報収集」は9割強、「ショッピング・オークション」は7割強、「家族・友人などとの連絡」は7割弱。「コミュニティ参加」、「音楽などのダウンロード・ファイル交換」、「ブログ・ホームページ作成」は若い層ほど顕著に多い。

5. 基本属性

有効回答者数5,142人。男性48.5%、女性51.5%。平均35.2歳で、多い年齢層は「30～34歳」(21.7%)、「35～39歳」(17.3%)、「25～29歳」(15.8%)。職業は「会社員・公務員・派遣社員(その他)」が最多(38.7%)、次いで「専業主婦」(18.5%)。居住地は「関東」(42.8%)、「近畿」(20.1%)、「中部」(13.5%)が多い。

3 . 調査結果

パーセンテージ数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、個々の数値の合計値が実際の合計値と一致しない場合がある。

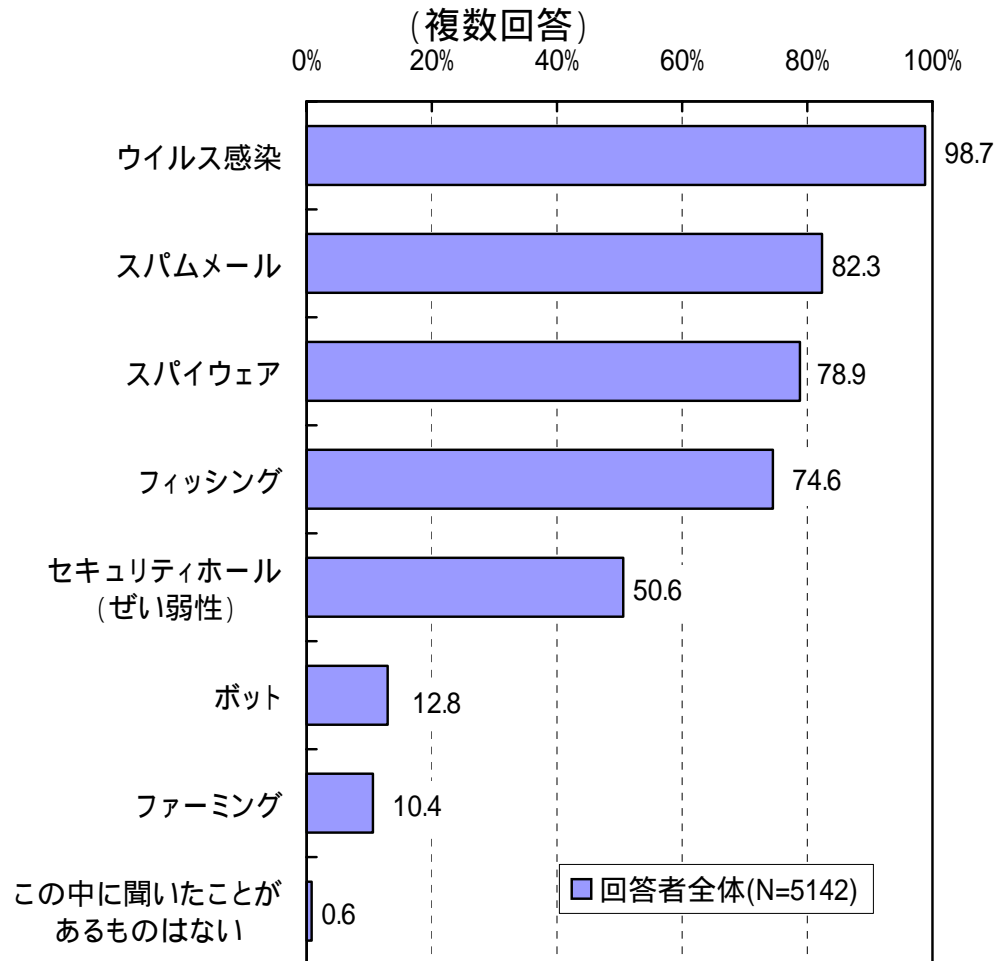
3.1. 新しいセキュリティ上の脅威に対する認識

3.1.1. 情報セキュリティに関する言葉の認知度(1)

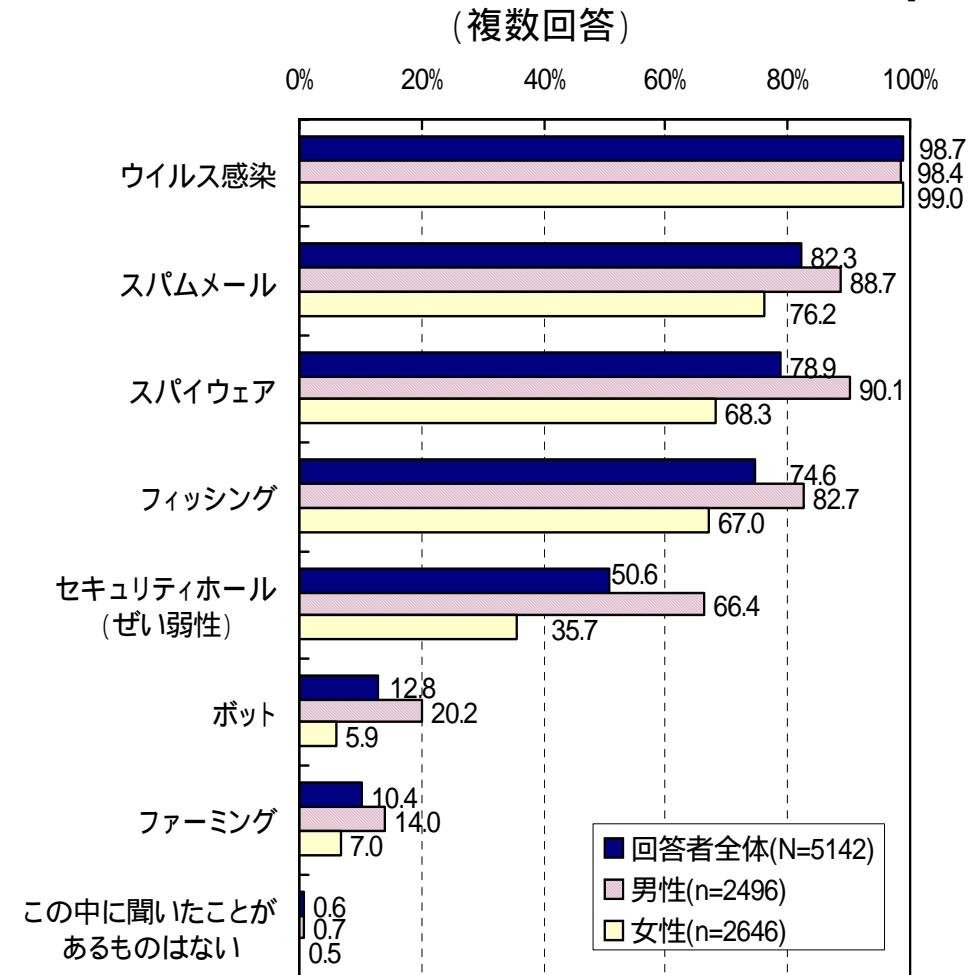
回答者全員に情報セキュリティに関する言葉を提示し、聞いたことがあるものをすべて選んでもらった。最も認知度が高いのは「ウイルス感染」で98.7%、次いで「スパムメール」、「スパイウェア」がそれぞれ8割前後。「ボット」は12.8%、「ファームング」は10.4%でともに低い。

[性別]では、「ウイルス感染」は男女ともほとんどの人が認知しているが、その他は「男性」による認知度が顕著に高い。

情報セキュリティに関する言葉の認知度 [回答者全体]



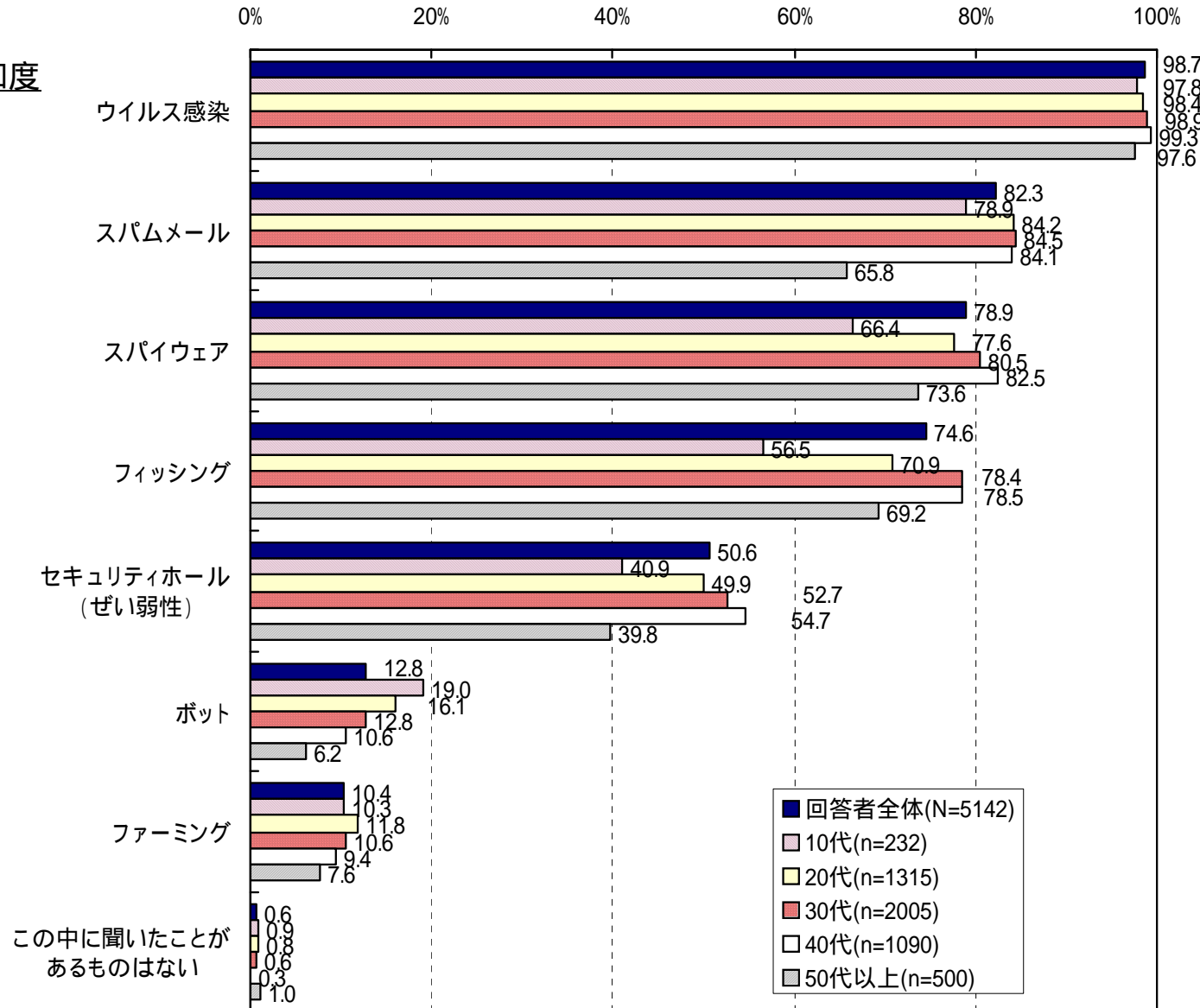
情報セキュリティに関する言葉の認知度 [性別]



3.1.1. 情報セキュリティに関する言葉の認知度(2)

[年代別]に見ると、「ウイルス感染」の認知度はほぼ同じ。その他はおおむね20～40代による認知度が高いが、「ボット」に限ると若い層ほど認知度が高く「10代」では19.0%。

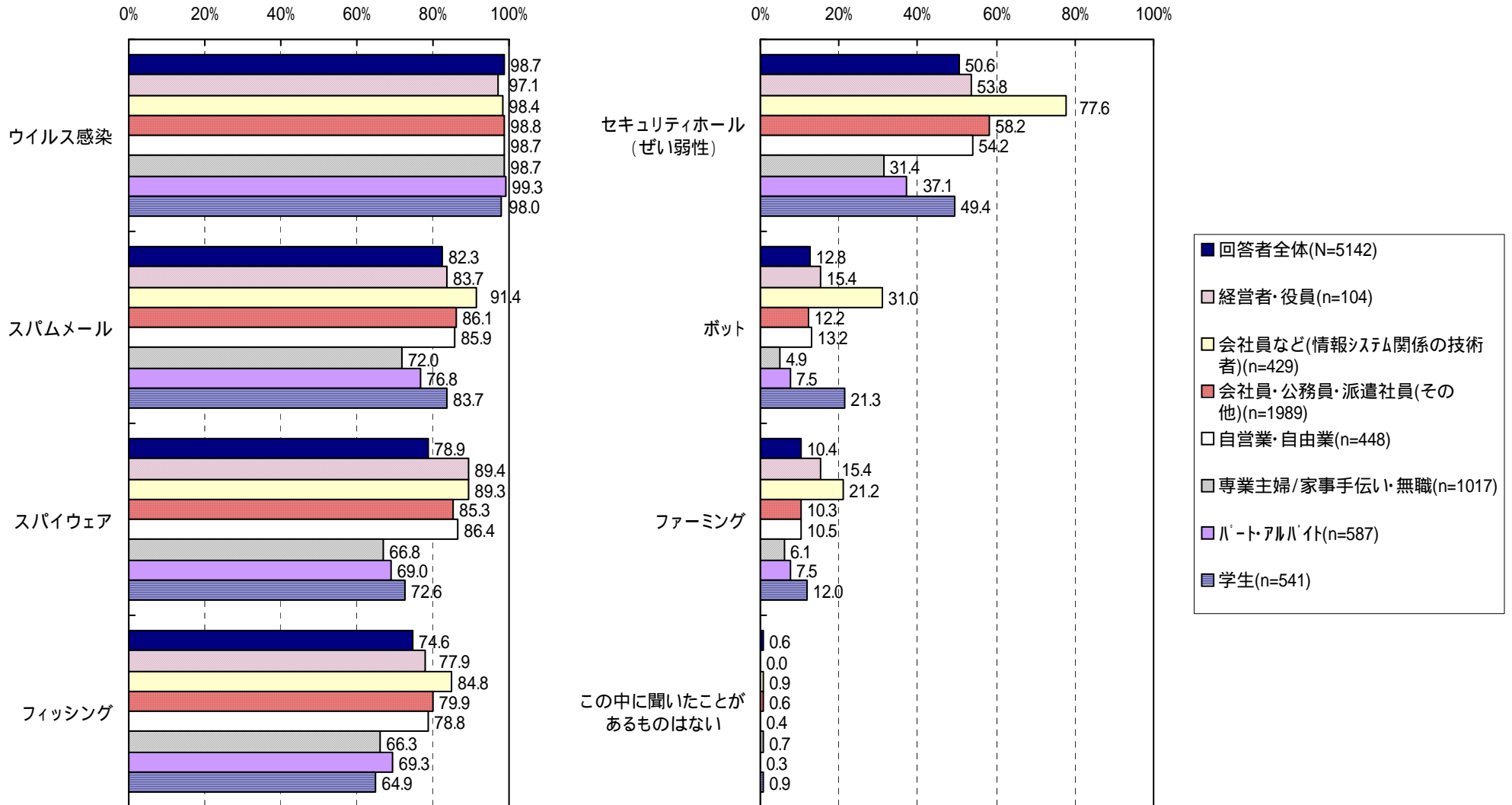
情報セキュリティに関する言葉の認知度
[年代別] (複数回答)



3.1.1. 情報セキュリティに関する言葉の認知度(3)

[職業別]に見ると、「ウイルス感染」については差がないが、それ以外は経営者や会社員などフルタイムワーカーの多い層で認知度が高い。また「会社員など(情報システム関係の技術者)」は、一般にあまり知られていない言葉(「セキュリティホール(ぜい弱性)」、「ボット」など)の認知度が他の職業の人よりも目立って高い。

情報セキュリティに関する言葉の認知度 [職業別] (複数回答)



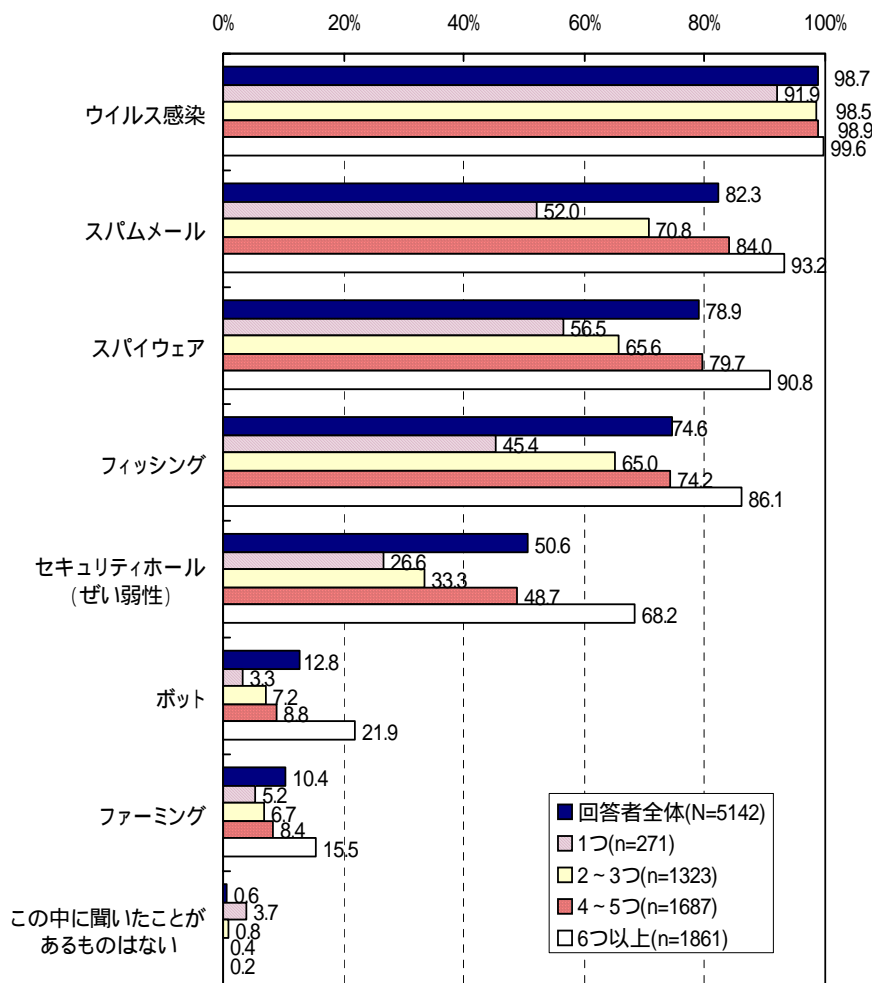
3.1.1. 情報セキュリティに関する言葉の認知度(4)

[インターネット利用目的の回答数別]では、目的数が多い層ほどセキュリティ関連の言葉の認知度も高い。[インターネット利用時間別]でも同様の傾向があり、利用時間が長い層ほど各言葉の認知度が高い。

[情報セキュリティ対策実施度別<セキュリティ対策ソフトの導入>]では、「自分で導入」する層は各言葉の認知度が高い。セキュリティ対策ソフトの導入以外の対策実施度別で見ても同様の傾向があり、自分でPCを管理する人はセキュリティ情報への感度も高いといえる。

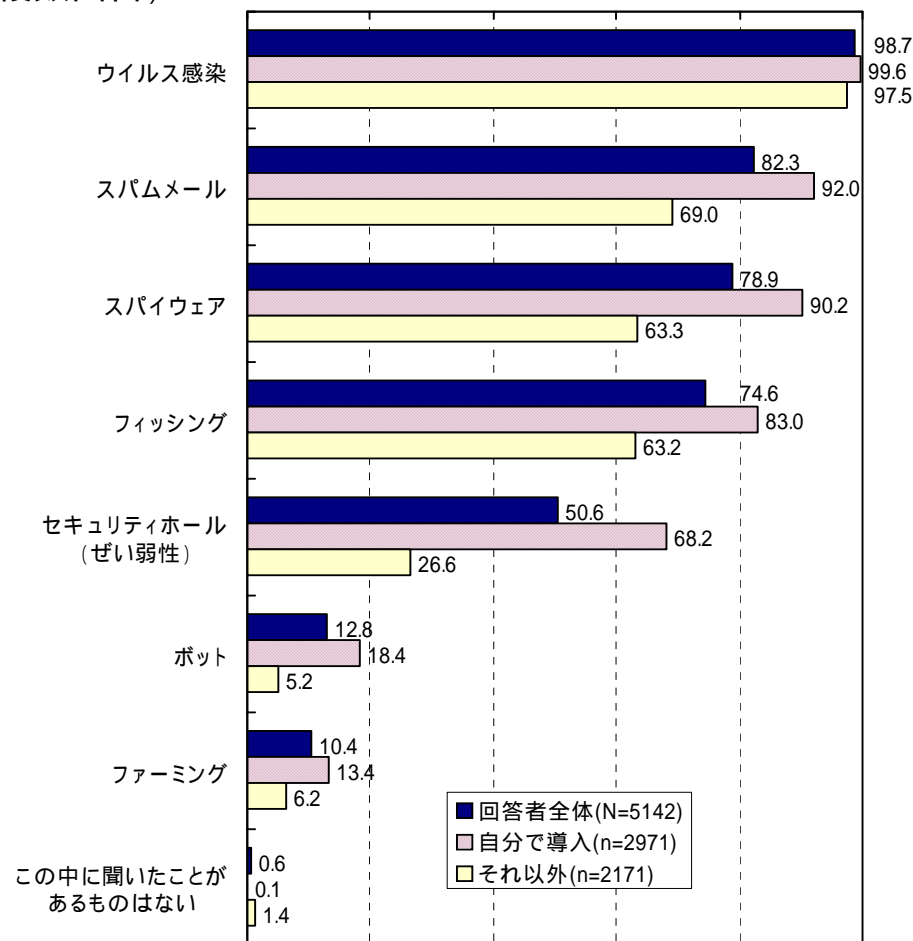
情報セキュリティに関する言葉の認知度

[インターネット利用目的の回答数別] (複数回答)



情報セキュリティに関する言葉の認知度

[情報セキュリティ対策実施度別<セキュリティ対策ソフトの導入>] (複数回答)



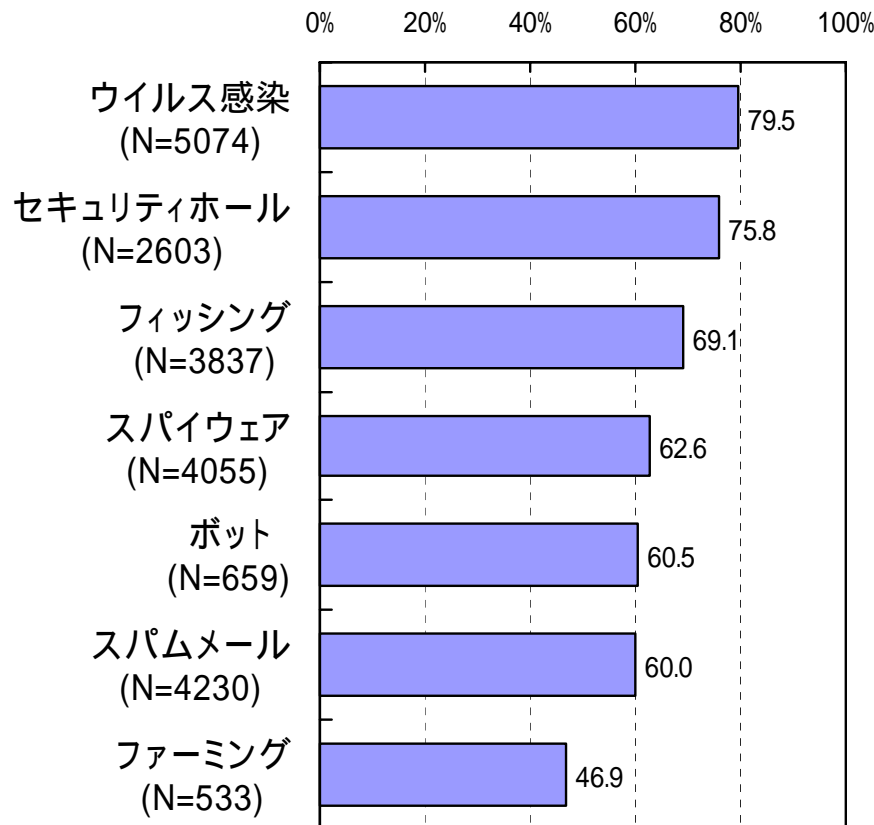
3.1.2. 情報セキュリティに関する事象の認知度(1)

情報セキュリティに関する言葉を提示し、それを「知っている」と答えた人にその事象も知っているかを尋ねた。事象の認知度が最も高いのは言葉の認知度でも1位だった「ウイルス感染」(79.5%)、次いで「セキュリティホール」(75.8%)。

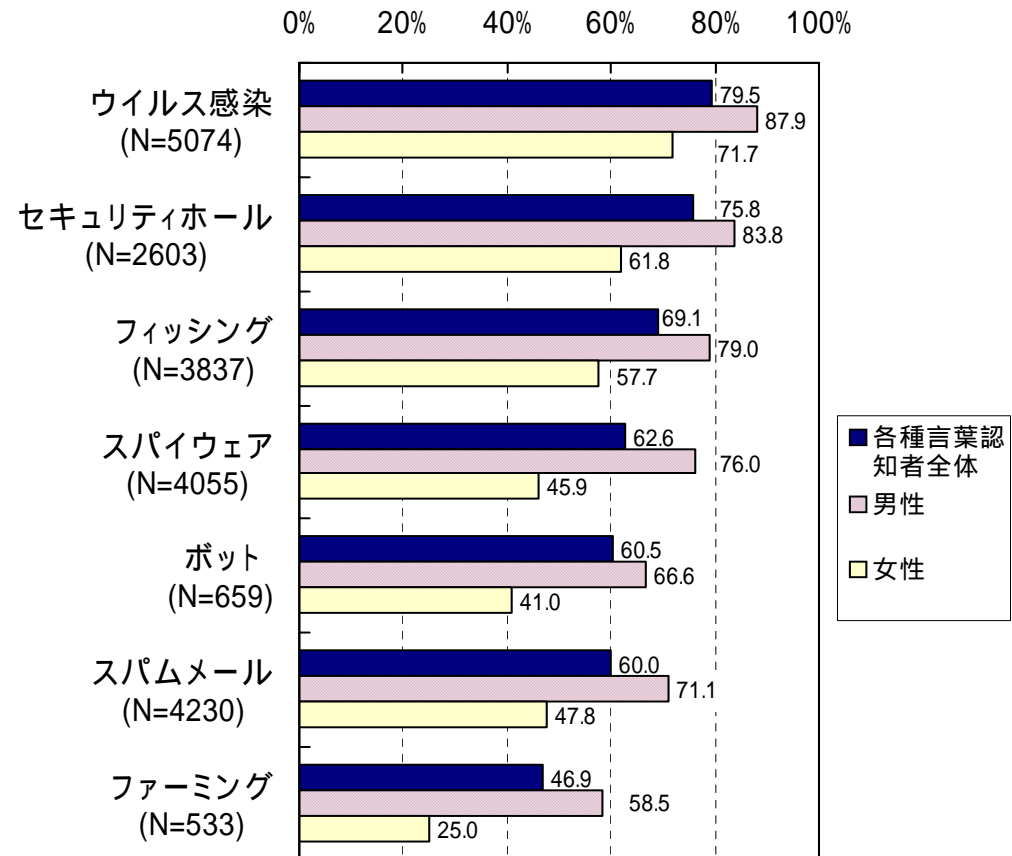
「ファームウェア」以外は、言葉を知っている人の6割以上が事象も「知っている」と答えた。

[性別]では「男性」のほうがどの事象の認知度も高い。[職業別]ではほとんどの事象について「会社員など(情報システム関係の技術者)」による認知度が最も高く、「経営者・役員」も比較的高い。

情報セキュリティに関する事象の認知度
[各種言葉認知者全体]



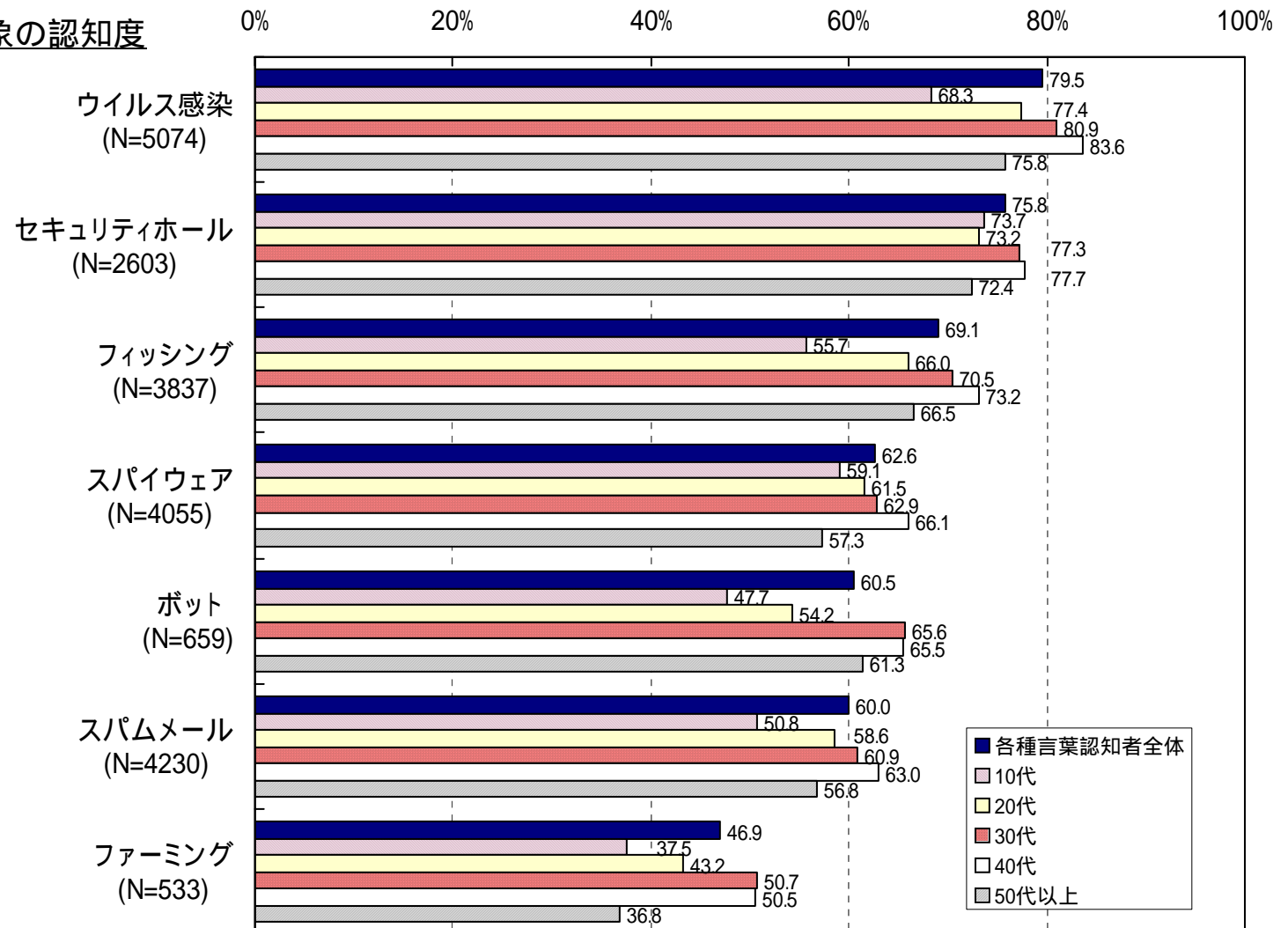
情報セキュリティに関する事象の認知度
[性別]



3.1.2. 情報セキュリティに関する事象の認知度(2)

[年代別]に見ると、どの言葉の事象についても20～40代による認知度が高く、言葉の認知度と似た傾向にある。ただし「ボット」に関しては、言葉の認知度は最も高かった「10代」が事象の認知度では最も低い。

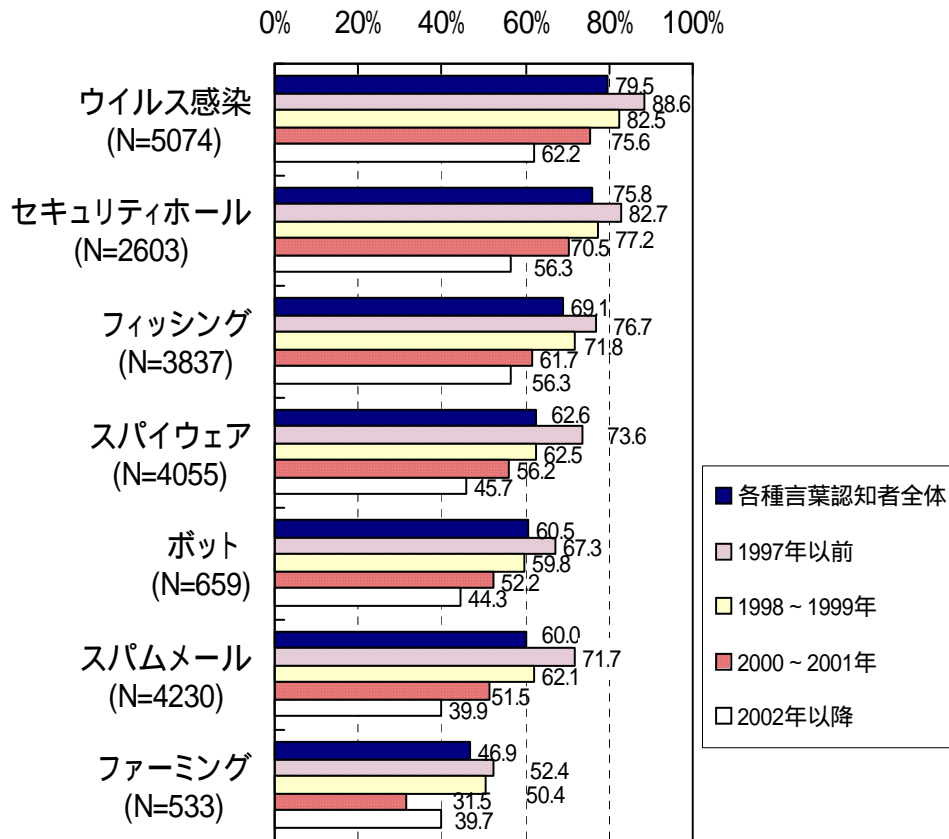
情報セキュリティに関する事象の認知度
[年代別]



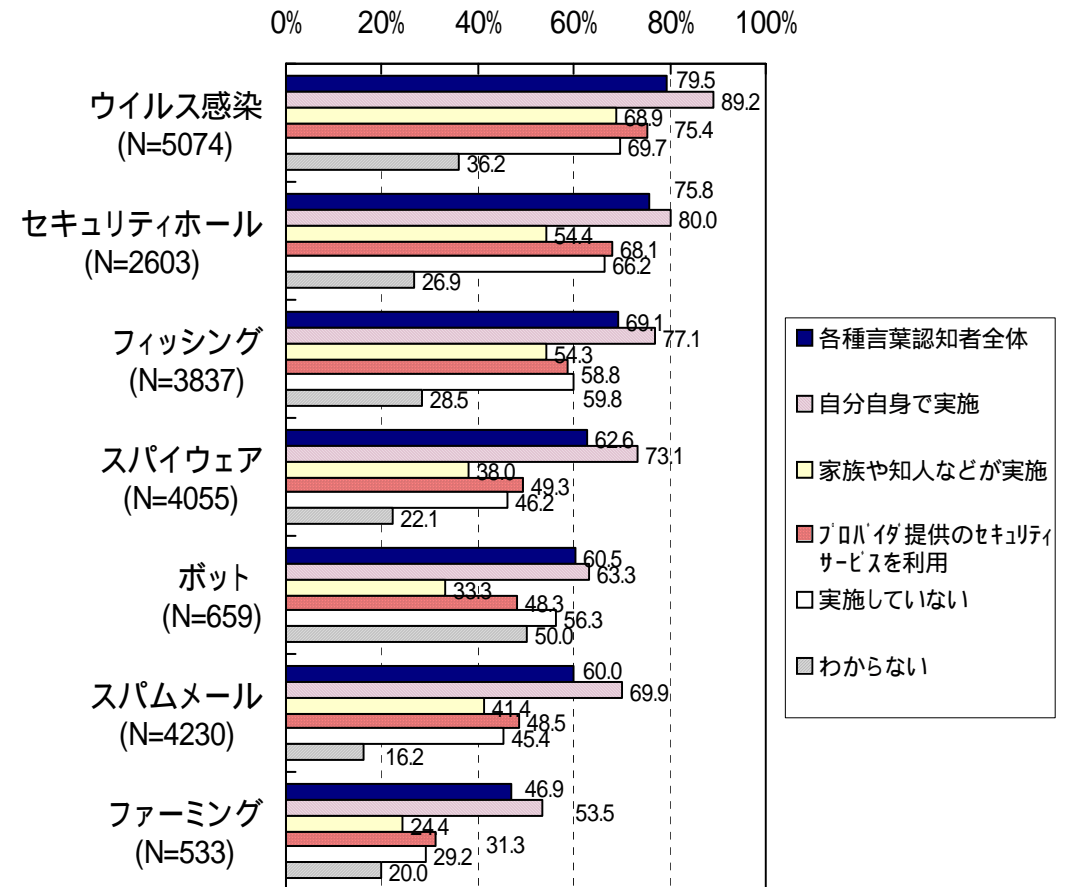
3.1.2. 情報セキュリティに関する事象の認知度(3)

[インターネット利用開始時期別]では、早くからネットを使う層ほど各事象の認知度が高い。[インターネット利用目的の回答数別]や[インターネット利用時間別]を見ても、ネット利用の目的や時間が多い層ほど事象の認知度が高い。セキュリティ関連事象の認知度は、ネット利用度と強い相関があるといえる。
 [セキュリティ対策ソフトの導入状況別]では、各事象の認知度は「自分自身で実施」する層で顕著に高く、「わからない」と答えた層では低い。他の層の中では「プロバイダ提供のサービスを利用」する層は事象認知度がやや高い。

情報セキュリティに関する事象の認知度
 [インターネット利用開始時期別]



情報セキュリティに関する事象の認知度
 [セキュリティ対策ソフトの導入状況別]

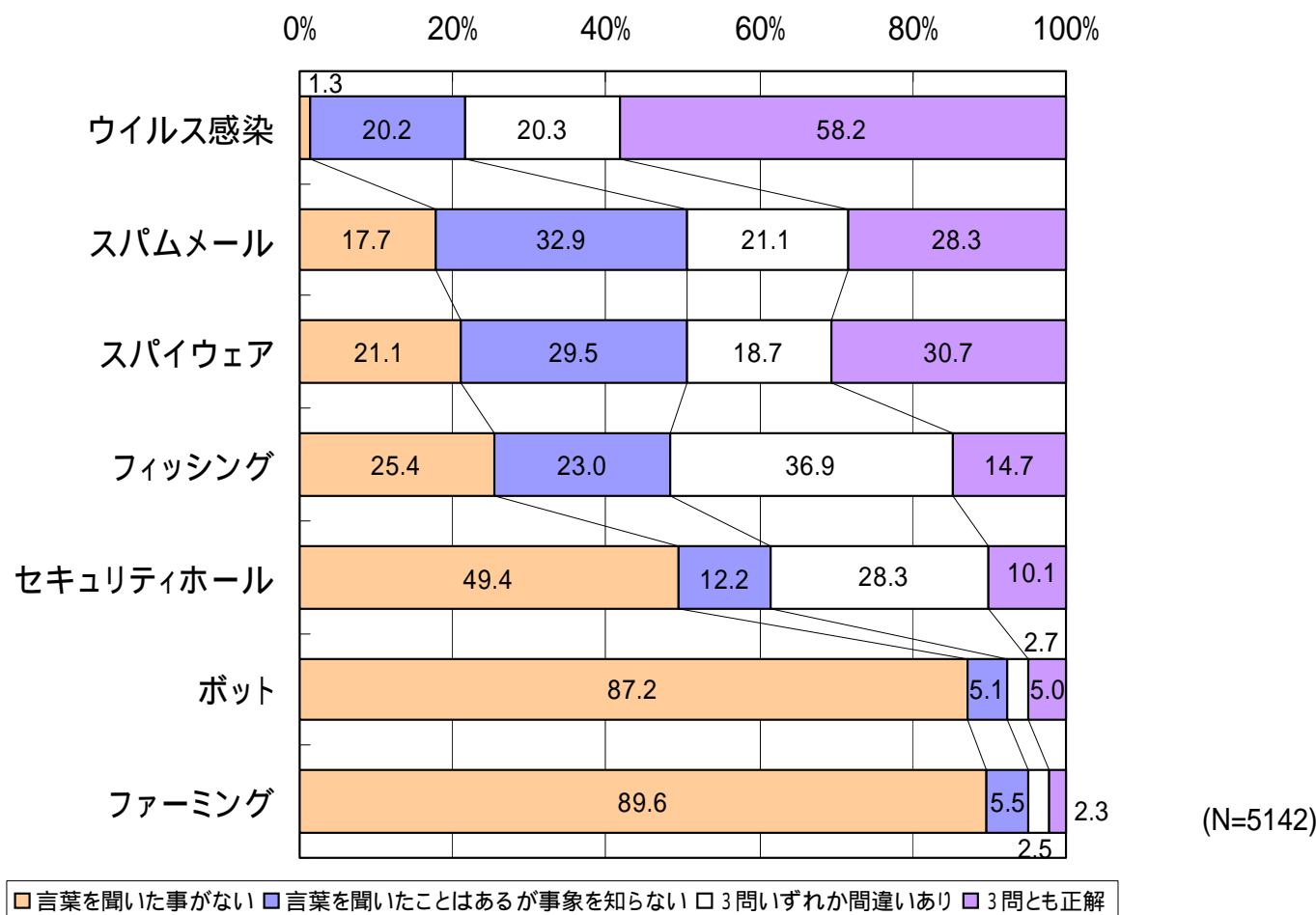


3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(1)

情報セキュリティに関する7つの事象それぞれについて、言葉の認知、事象の認知、および正誤問題(項3.1.3(5)～(7)を参照)の正答数に基づいて全回答者の理解度を4分類した。

理解度が最も高いのは「ウイルス感染」で、次いで「スパムメール」と「スパイウェア」が同程度理解されている。「ボット」と「ファーミング」は事象を少しでも理解している人の割合が数パーセントにとどまる。

情報セキュリティに関する事象の理解度 [回答者全体]

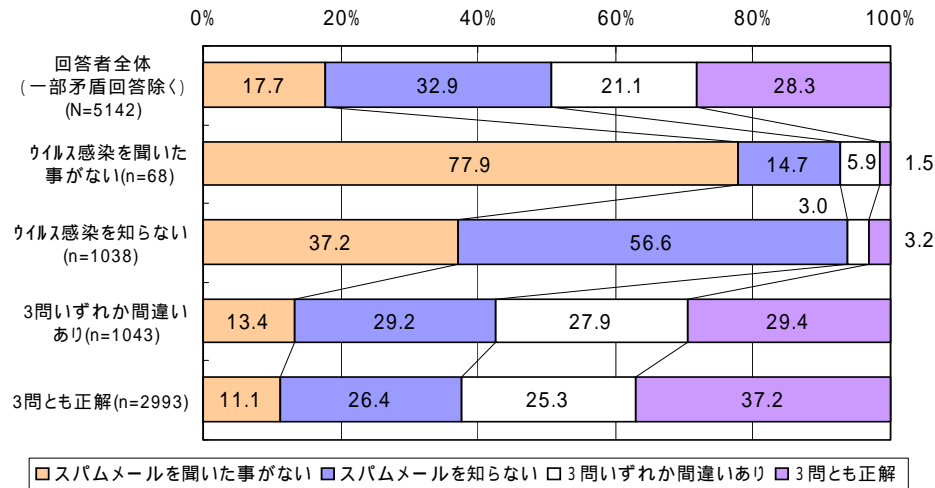


3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(2)

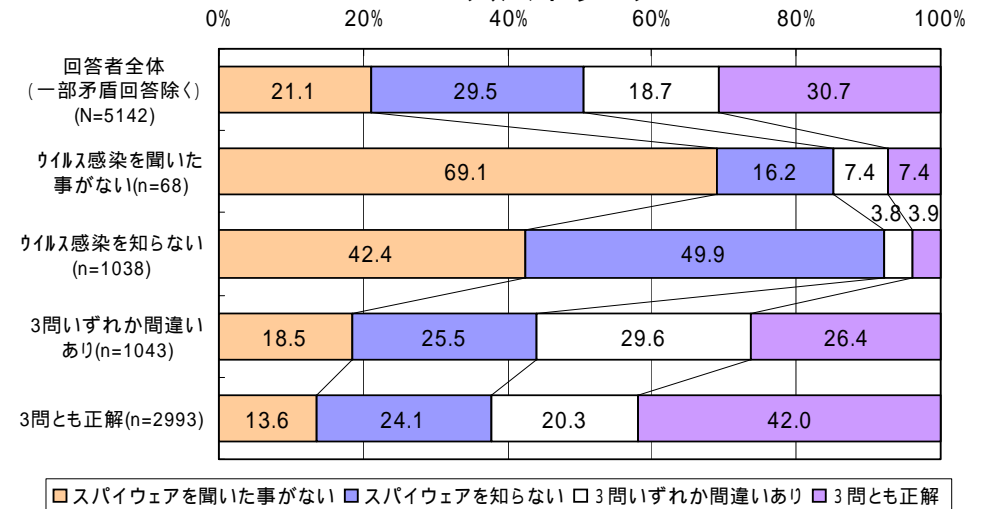
「ウイルス感染」の理解度が高い層ほど、「スパムメール」、「スパイウェア」、「ボット」、「セキュリティホール」の理解度もそれぞれ高い。

情報セキュリティに関する事象の理解度 [ウイルス感染の理解度別]

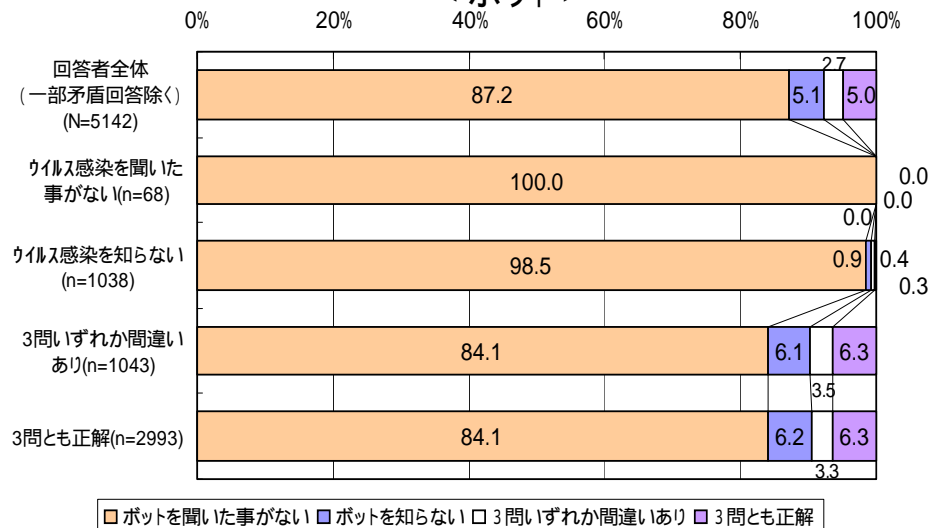
< スパムメール >



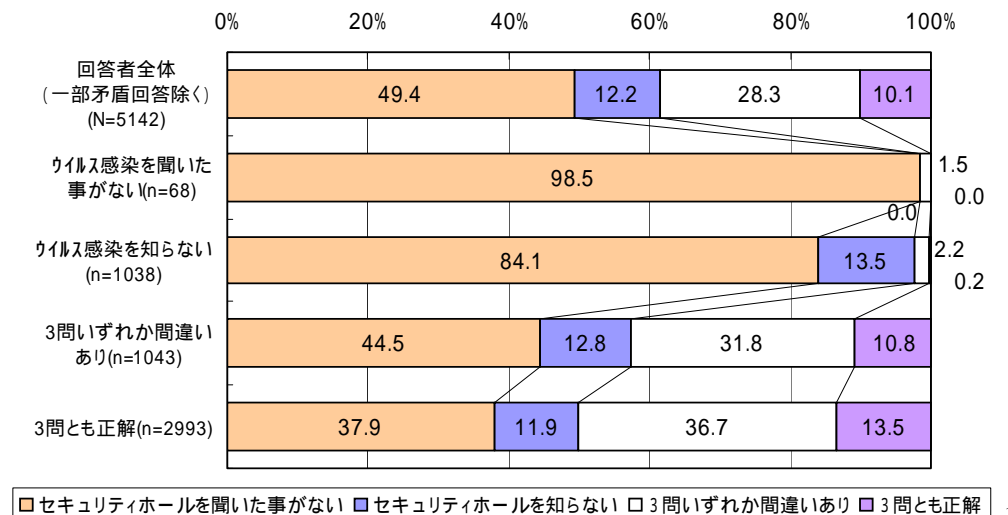
< スパイウェア >



< ボット >



< セキュリティホール >

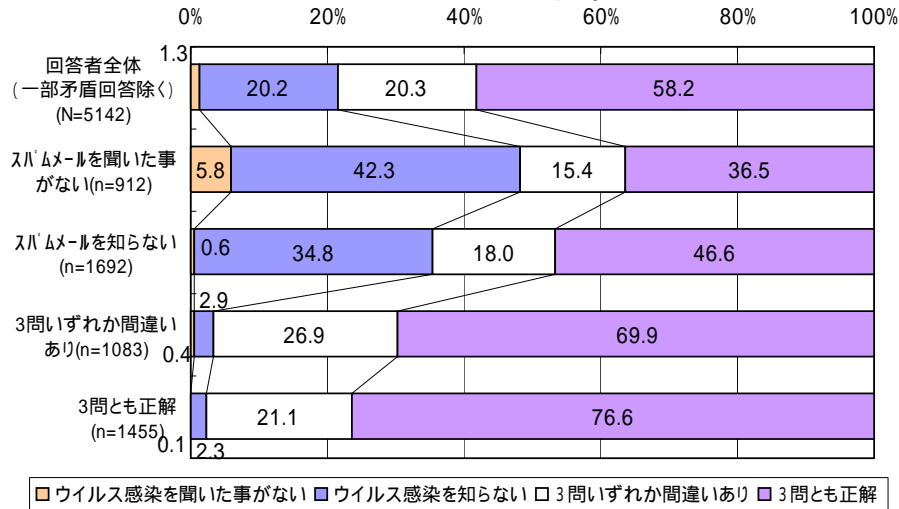


3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(3)

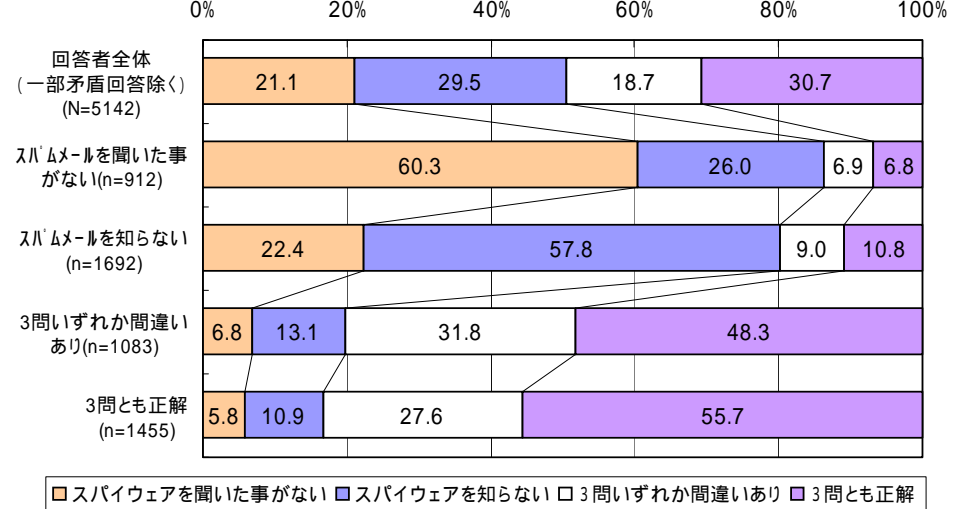
「スパムメール」の理解度が高い層ほど、「ウイルス感染」、「スパイウェア」、「ボット」、「セキュリティホール」の理解度もそれぞれ高い。

情報セキュリティに関する事象の理解度 [スパムメールの理解度別]

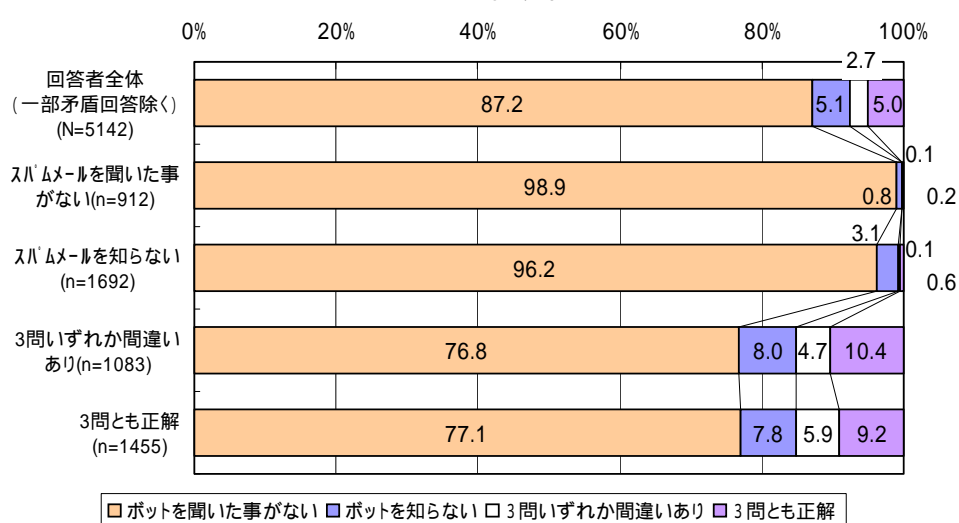
< ウイルス感染 >



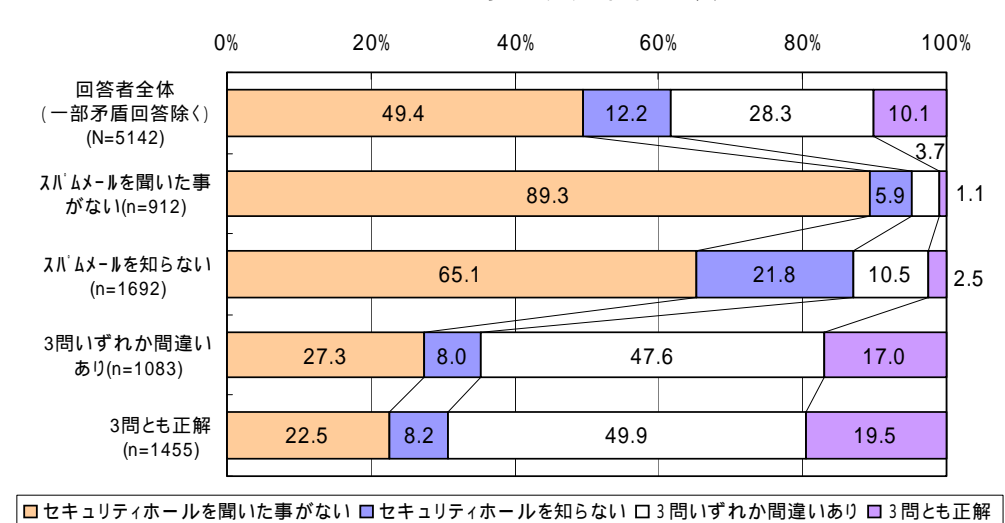
< スパイウェア >



< ボット >



< セキュリティホール >

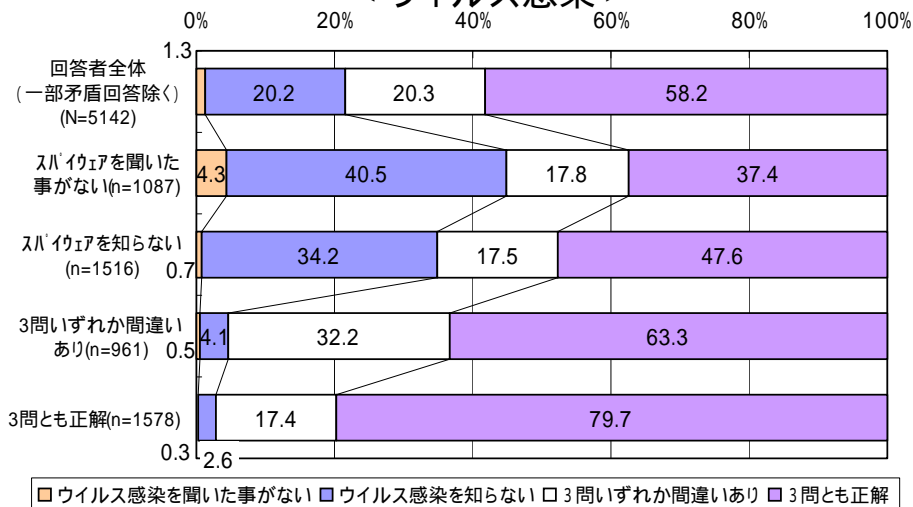


3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(4)

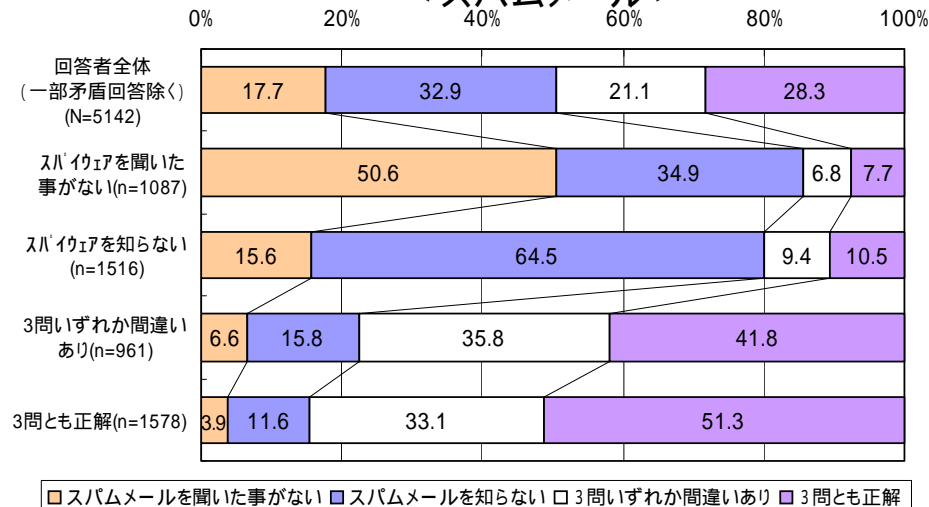
「スパイウェア」の理解度が高い層ほど、「ウイルス感染」、「スパムメール」、「フィッシング」、「セキュリティホール」の理解度もそれぞれ高い。以上のことから、ある事象を理解している人は他の事象も理解しているケースが多い。これは、各種事象をよく理解している層と、セキュリティ全般の知識が欠ける層とに分かれていることを示唆する。

情報セキュリティに関する事象の理解度 [スパイウェアの理解度別]

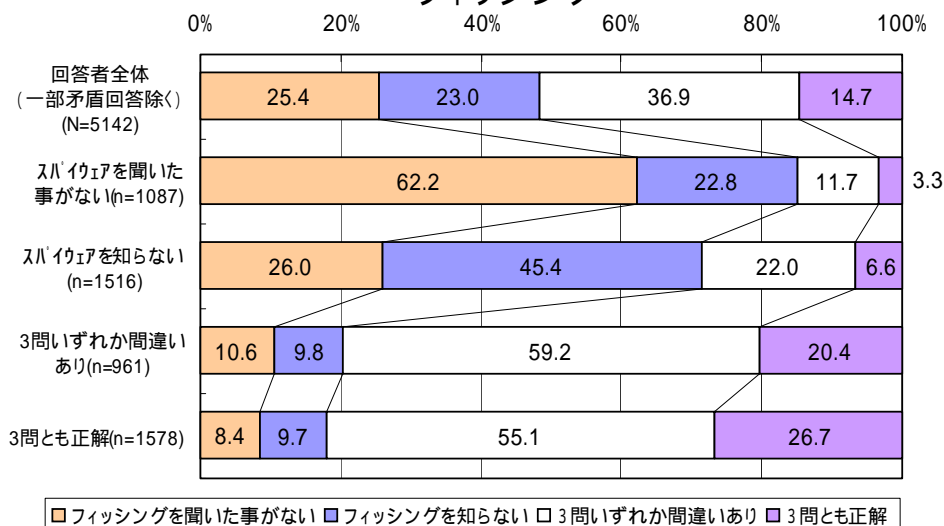
< ウイルス感染 >



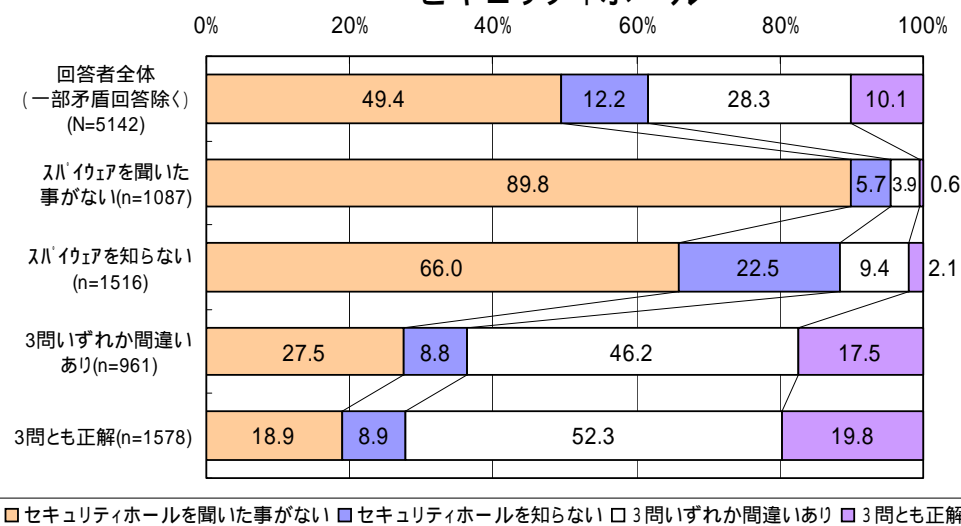
< スパムメール >



< フィッシング >



< セキュリティホール >



3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(5)

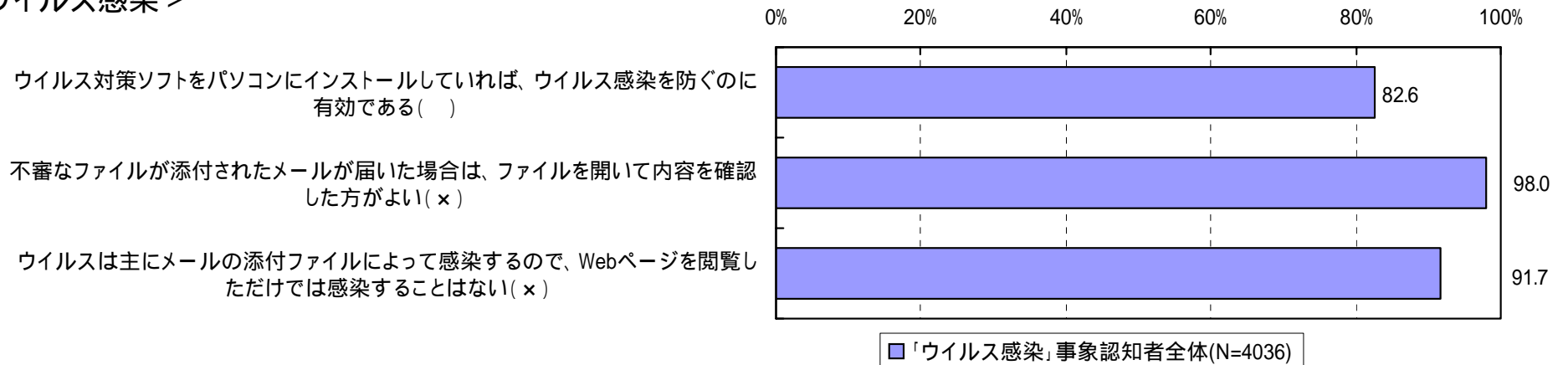
情報セキュリティに関する各事象について、「知っている」と答えた人にその事象に関連する記述を3つ示して正誤判定をしてもらった。各記述の正答率は以下のとおり。文末の() (×)は正誤の解答を示す。

「ウイルス感染」は3問とも正答率が高く、感染の経路や防止法について広く理解されている。

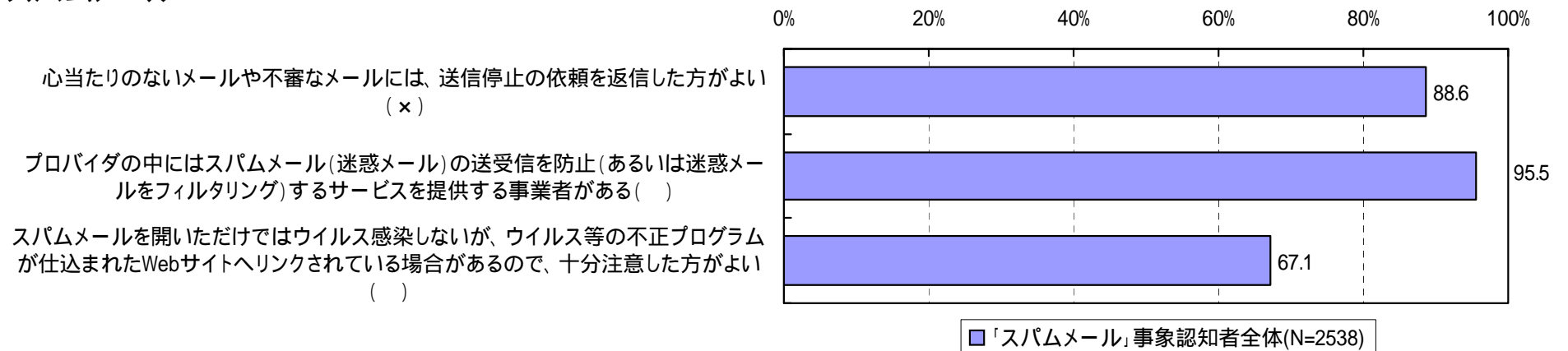
「スパムメール」については、感染方法についての理解度が比較的低い。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

< ウイルス感染 >



< スパムメール >



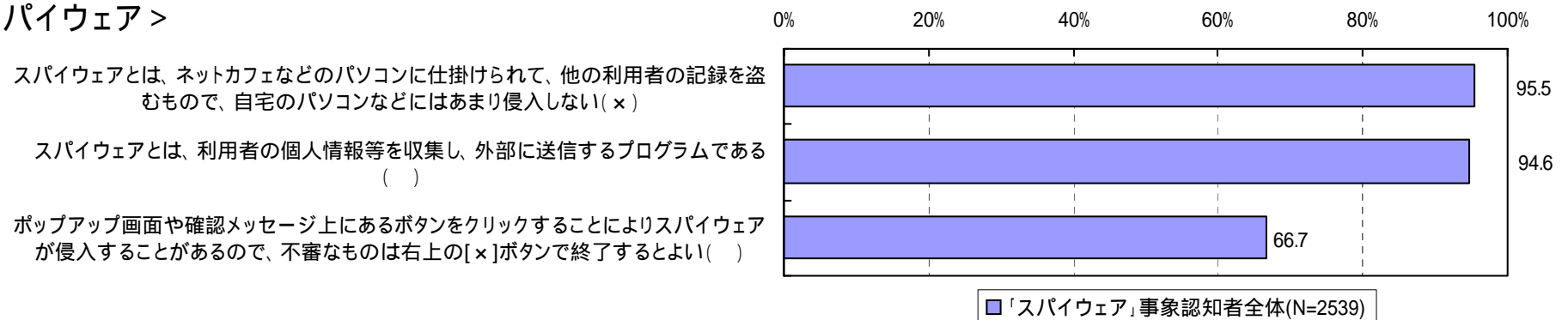
3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(6)

「スパイウェア」については、その内容や侵入対象に関しては理解度が高いが、侵入防止のための操作に関して理解度がやや低い。

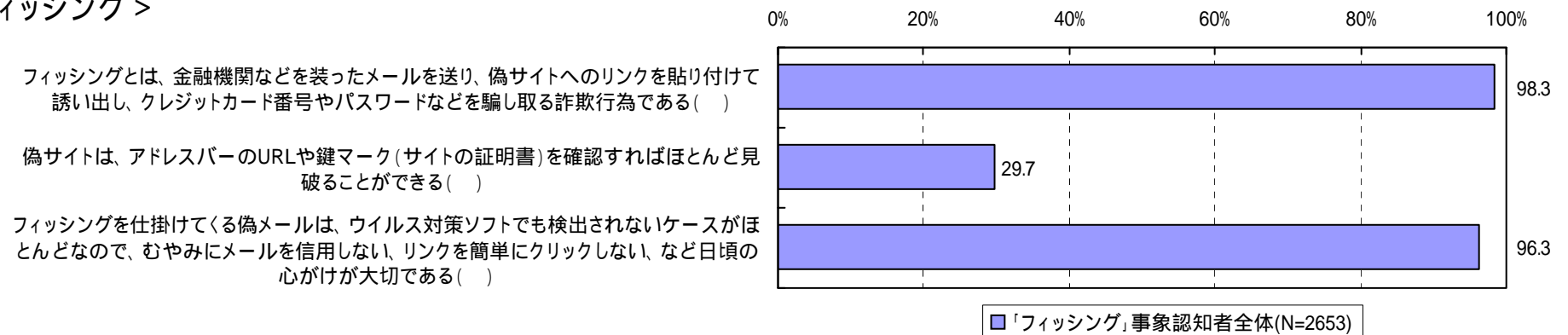
「フィッシング」は偽サイトの見破り方について正答率が非常に低いが、これは記述内容がややあいまいで正誤どちらにも解釈しうるためであり、実際の理解度はこれよりも高いと推測される。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

< スパイウェア >



< フィッシング >



3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(7)

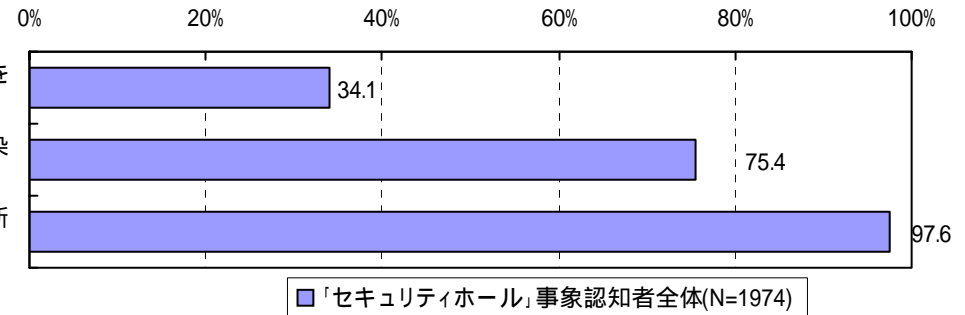
「セキュリティホール」の仕組みを理解しているのは34.1%と低いが、OSなどを最新状態に保つことの必要性は広く理解されている。

「ボット」は、言葉の認知度は低いが(項3.1.1.(1)を参照)、事象を知っている人はおおむね内容も正しく理解している。「ファームウェア」は、利用者側での対策について理解度が比較的低い。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

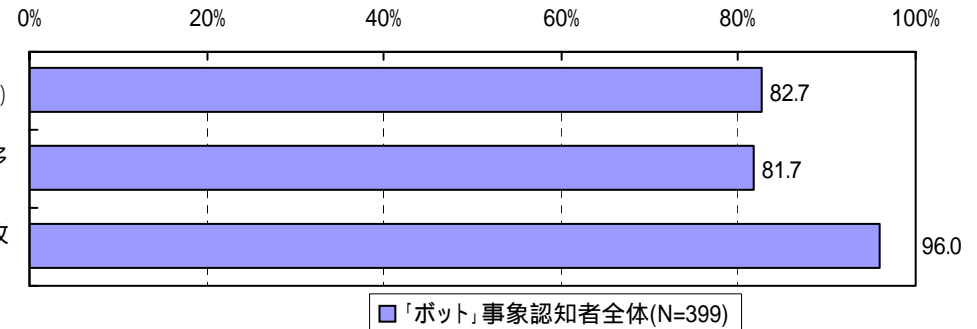
< セキュリティホール >

- セキュリティホールとは、パソコンへの不正アクセスを目的に仕掛けられ、特定のポートを開いて外部からインターネットを通じてパソコンに侵入する仕組みである(×)
- セキュリティホールがあると、メールを開いただけ、ネットにつないただけでウイルスに感染する可能性がある()
- セキュリティホールを解消するには、Windows Updateなどを利用して常にパソコンを最新の状態にしておく必要がある()



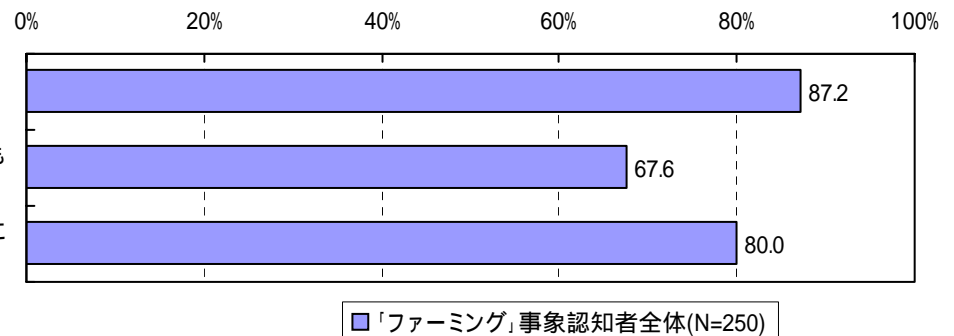
< ボット >

- ボットに感染したら、パソコン自体が勝手に動くのですぐに感染したことがわかる(×)
- ボットは、ファイル交換ソフトやインスタントメッセージなどの利用で感染することが多く、メールなどでは感染することは少ない(×)
- ボットに感染すると、自分のパソコンが操られて、迷惑メールを勝手に送信したり、DoS攻撃(特定のサイトへのサービス妨害)などを行ってしまうことがある()



< ファーミング >

- 正しいURLを入力してアクセスしても、偽サイトに誘導して個人情報を盗もうとするものを、ファームウェアという()
- 企業側のサイトに侵入し、そこにアクセスする人を悪意のあるWebサイトへ自動的に導くものなので、利用者側では対策のとりようがない(×)
- サイトの正しいURLを自分のパソコンのお気に入り等に入れてそこからアクセスするようになれば、偽サイトに誘導されることはない(×)



3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(8) - ウイルス感染

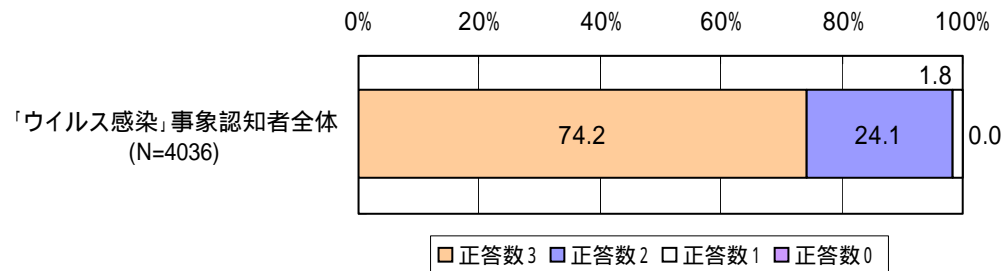
「ウイルス感染」に関する3つの正誤問題の正答数を見ると、「[ウイルス感染]事象認知者全体」では「正答数3」が74.2%、「正答数2」が24.1%で、理解度は全事象の中で最も高い。

[性別]ではほとんど差がなく、[職業別]でも差が見られなかった。

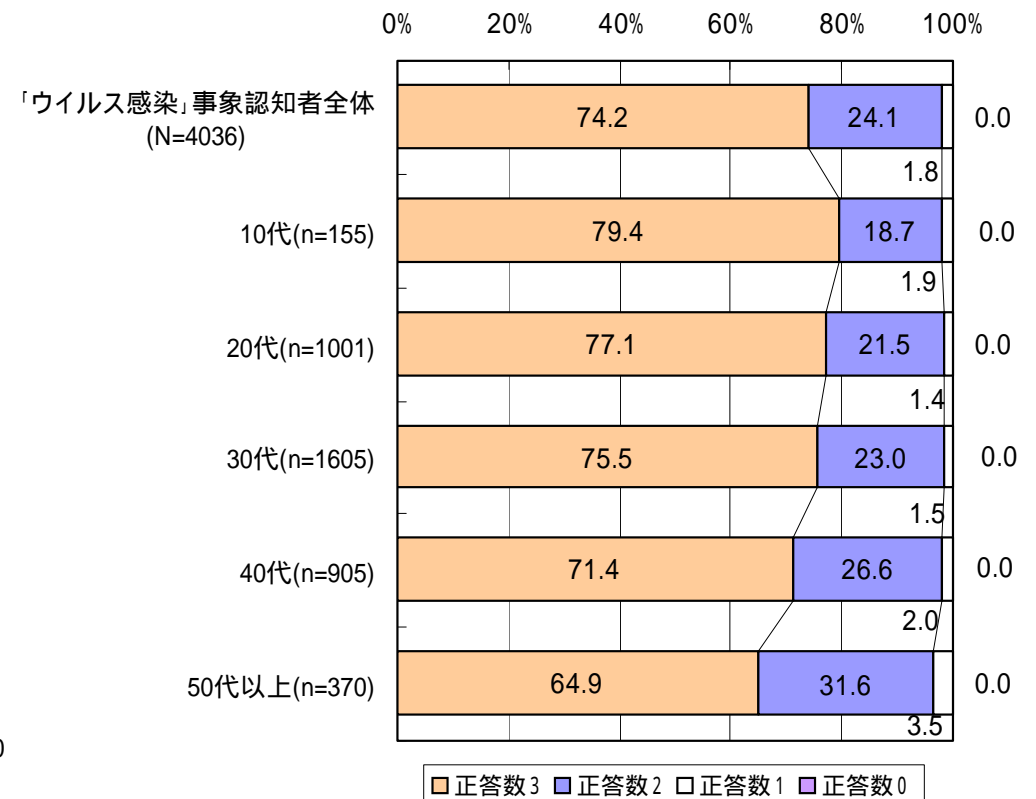
[年代別]では正答数が「10代」で最も多く、年齢が上がるにつれ緩やかに減少している。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <ウイルス感染>

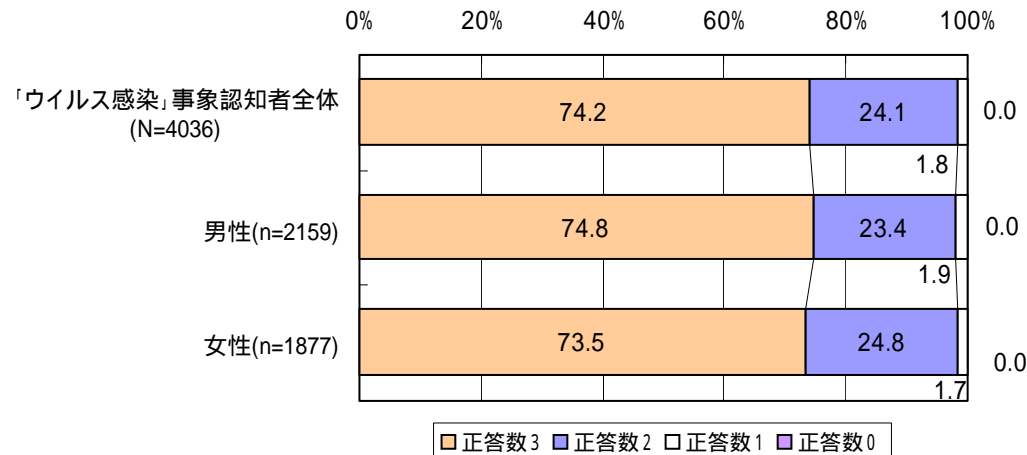
[「ウイルス感染」事象認知者全体]



[年代別]



[性別]



3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(9) - スпамメール

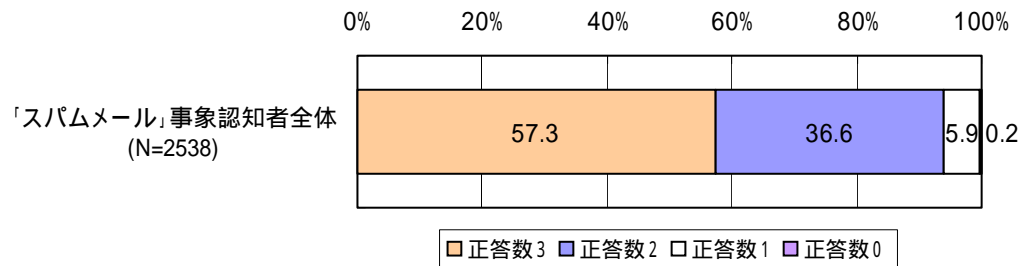
「スパムメール」に関する3つの正誤問題の正答数を見ると、[「スパムメール」事象認知者全体]では「正答数3」が57.3%、「正答数2」が36.6%で、事象認知者の大半は内容もある程度理解している。

[性別]、[年代別]ではほとんど差がない。[職業別]では「経営者・役員」で正答数が若干少ない。

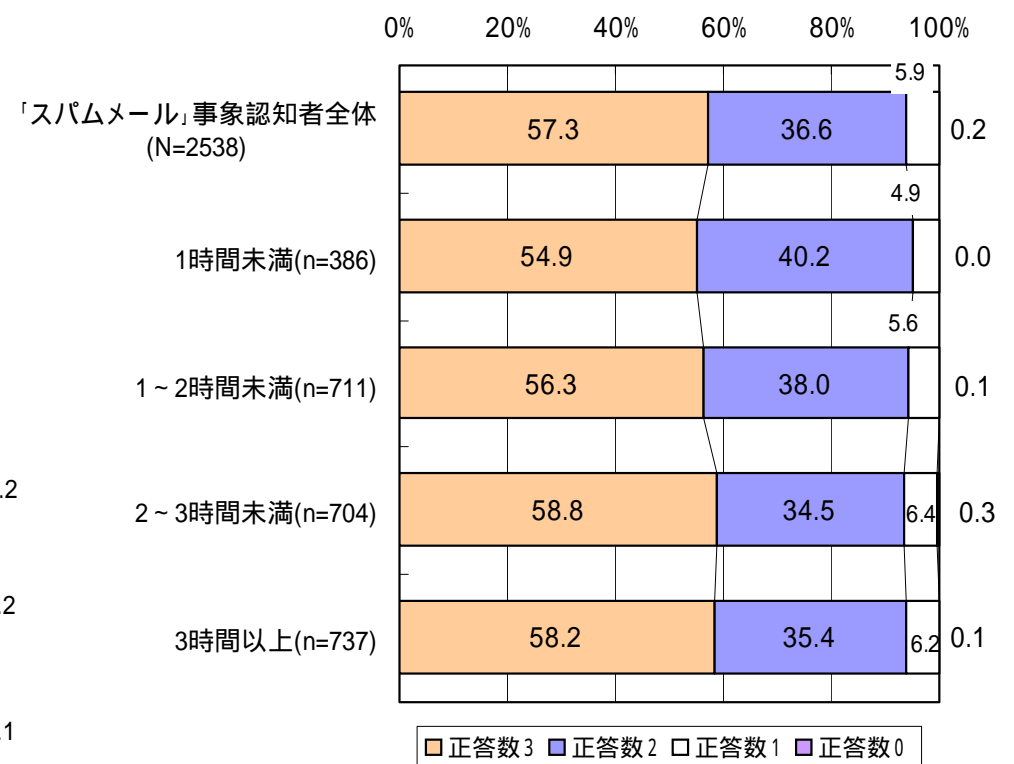
[インターネット利用時間別]などのネット利用度で見ても、理解度に明らかな差はない。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <スパムメール>

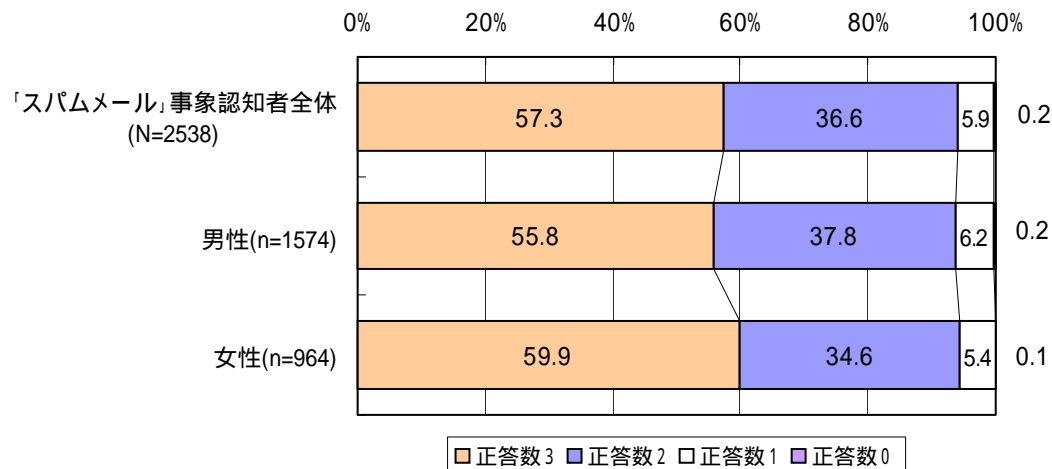
[「スパムメール」事象認知者全体]



[インターネット利用時間別]



[性別]

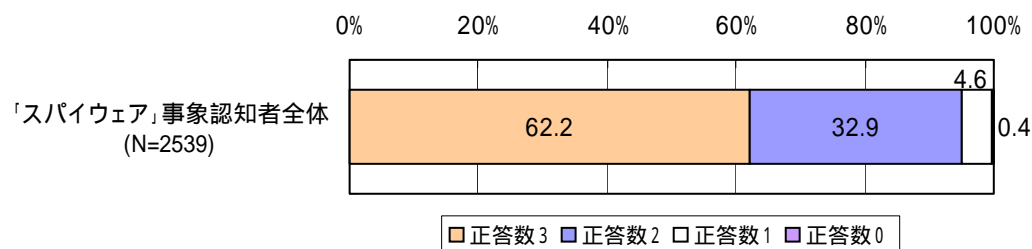


3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(10) - スパイウェア

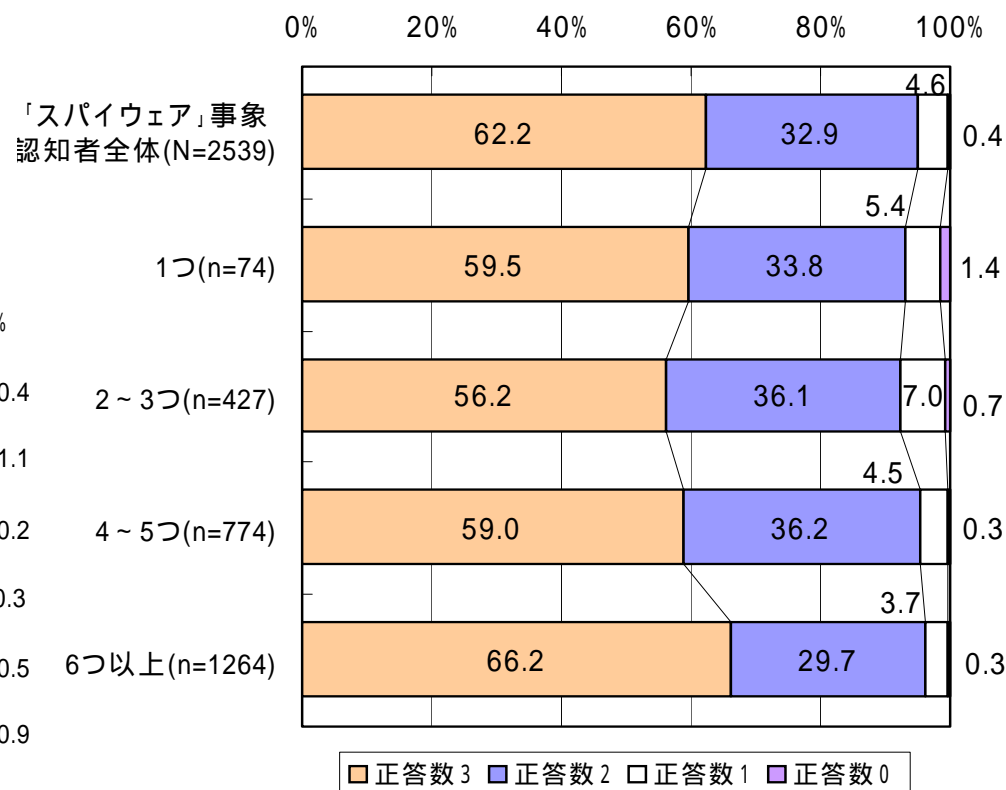
「スパイウェア」に関する3つの正誤問題の正答数を見ると、「スパイウェア」事象認知者全体では「正答数3」が62.2%、「正答数2」が32.9%で、事象認知者の大半は内容もある程度理解している。
 [性別]、[年代別]、[職業別]などの基本属性による差はほとんどないが、「10代」では「正答数3」の割合が若干低い。
 [インターネット利用目的の回答数別]では、目的が「6つ以上」の層で「正答数3」がやや多いが顕著な差はない。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <スパイウェア>

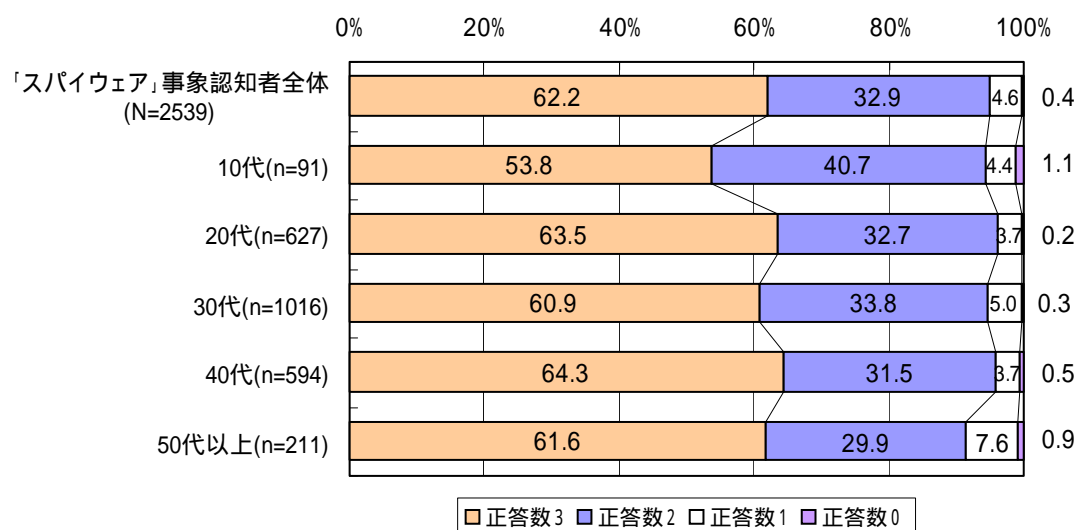
「スパイウェア」事象認知者全体



「インターネット利用目的の回答数別」



「年代別」



3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(11) - フィッシング

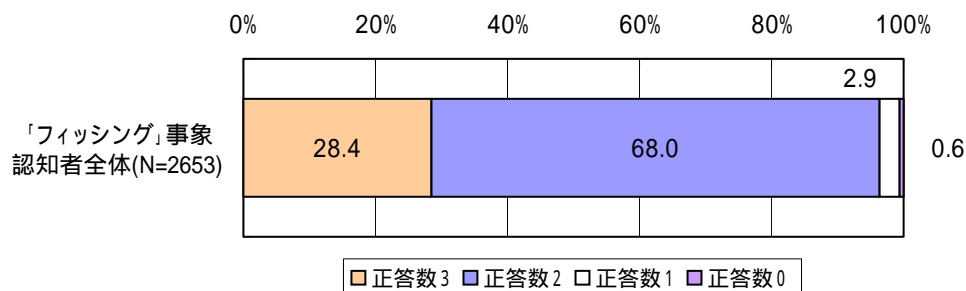
「フィッシング」に関する3つの正誤問題の正答数を見ると、「フィッシング」事象認知者全体]では「正答数3」と「正答数2」の合計が96.4%。記述内容のあいまいさの問題を考慮すると(項3.1.3.(6)を参照)、理解度は高いといえる。

[職業別]では、「会社員など(情報システム関係の技術者)」および「学生」は「正答数3」の割合が比較的高い。[性別]による差は少なく、[年代別]では40代以上でやや正答率が低い。

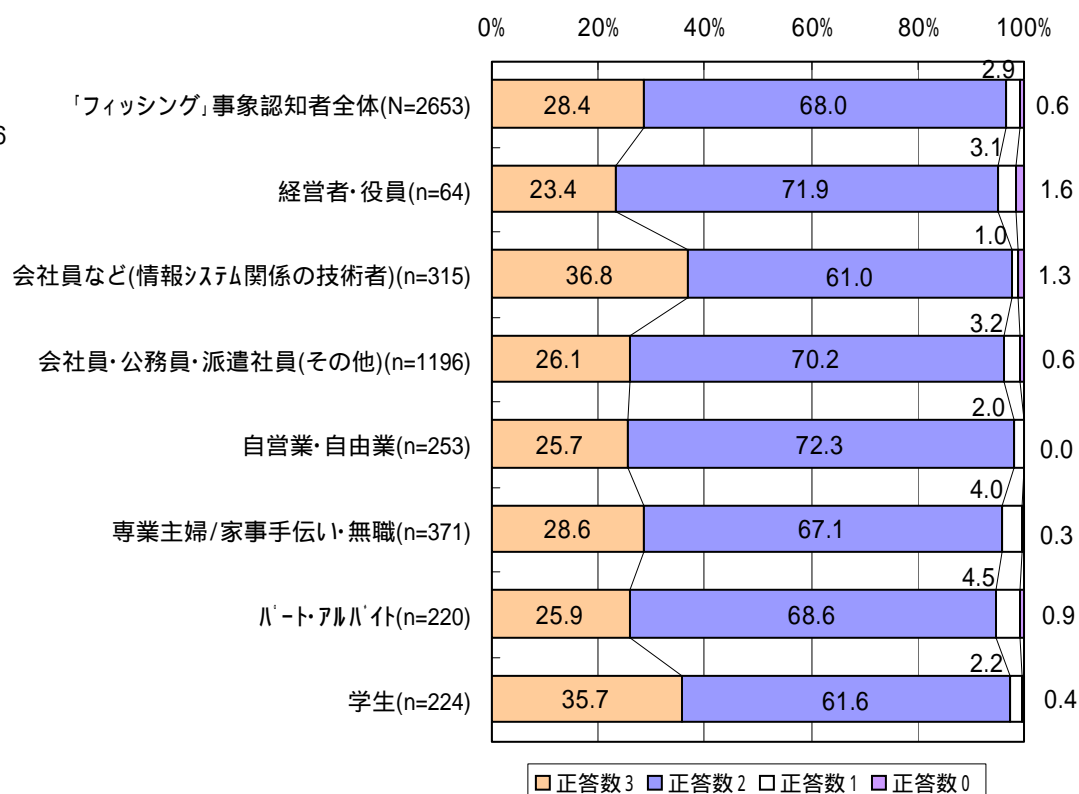
[インターネット利用目的の回答数別]では、目的数が多い層ほど正答数がやや多い。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <フィッシング>

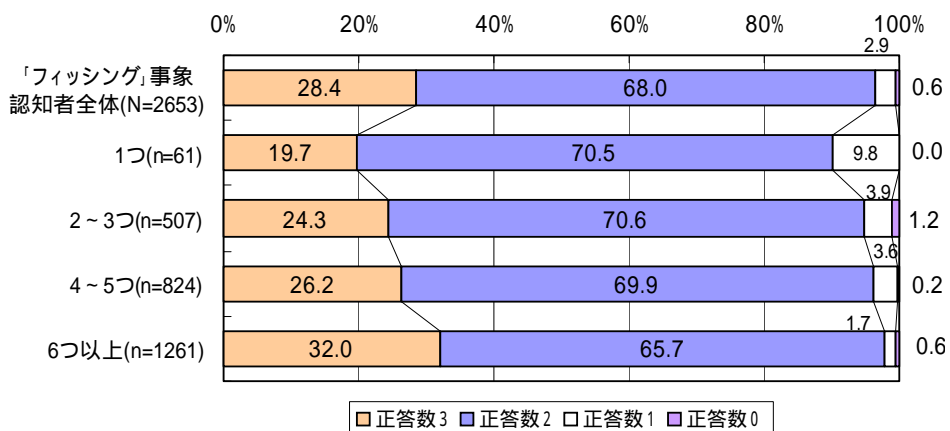
「フィッシング」事象認知者全体



「職業別」



「インターネット利用目的の回答数別」



3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(12) - セキュリティホール

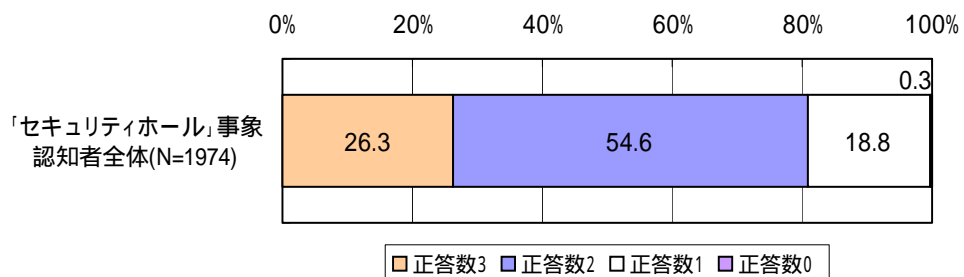
「セキュリティホール」に関する3つの正誤問題の正答数を見ると、「セキュリティホール」事象認知者全体では「正答数3」が26.3%と低い。これは、事象の仕組みがあまり理解されていないためである(項3.1.3.(7)を参照)。

[性別]による差はほとんどない。

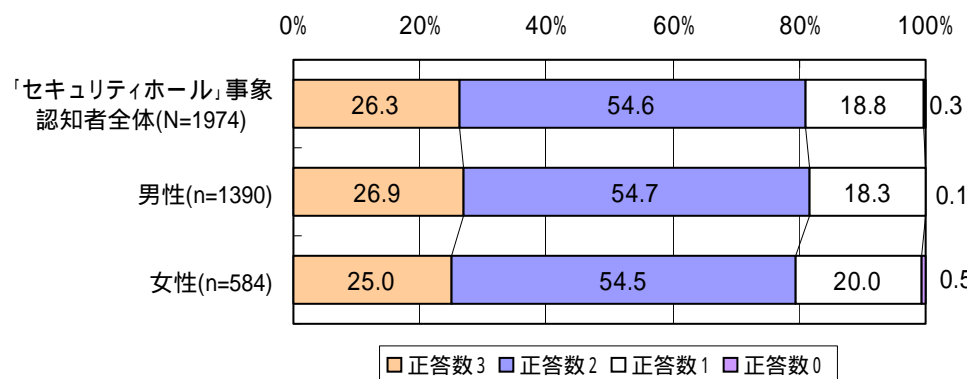
[職業別]では、「フィッシング」と同様に、「会社員など(情報システム関係の技術者)」および「学生」は「正答数3」の割合が比較的高い。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <セキュリティホール>

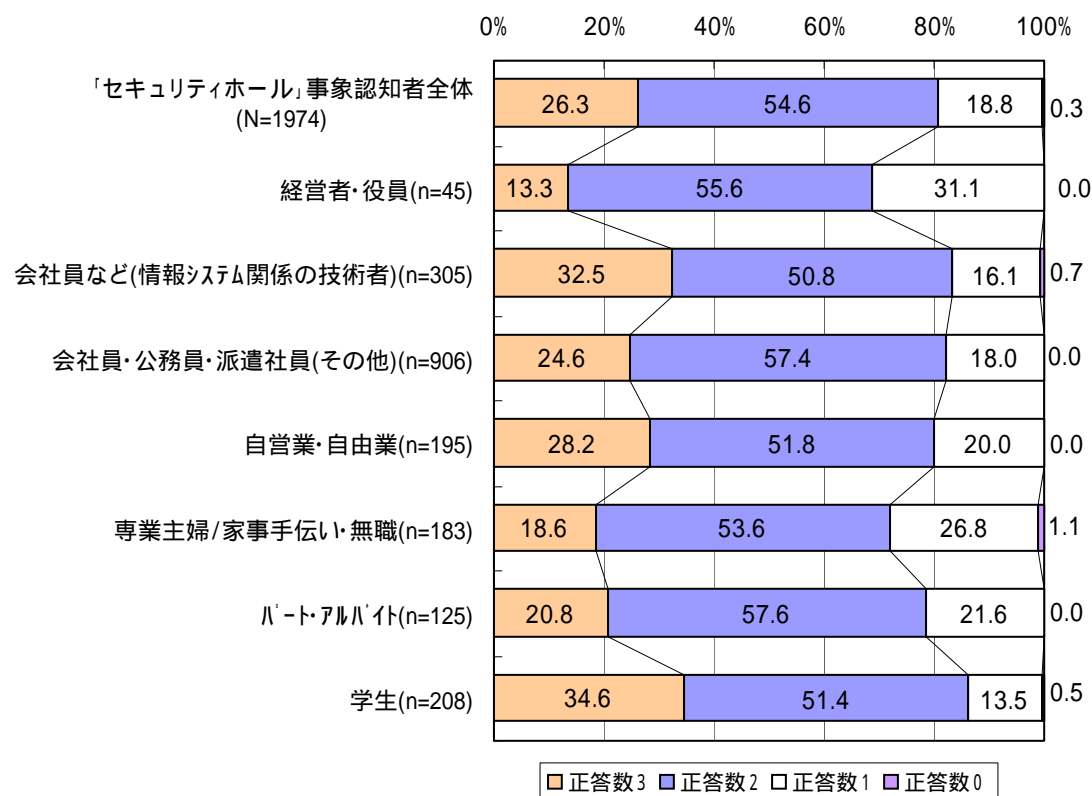
「セキュリティホール」事象認知者全体



[性別]



[職業別]

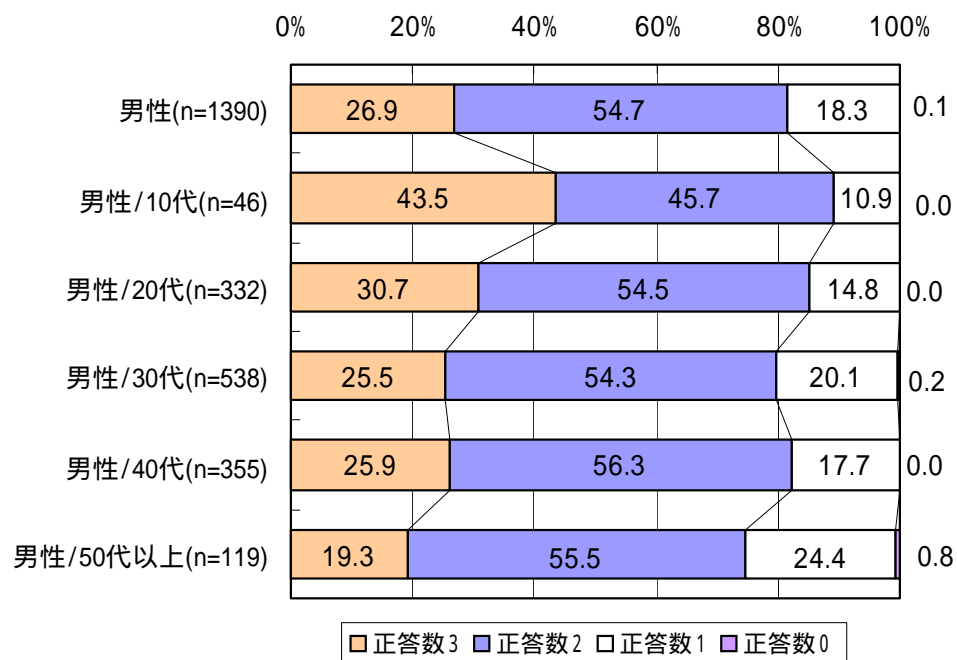


3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(13) - セキュリティホール

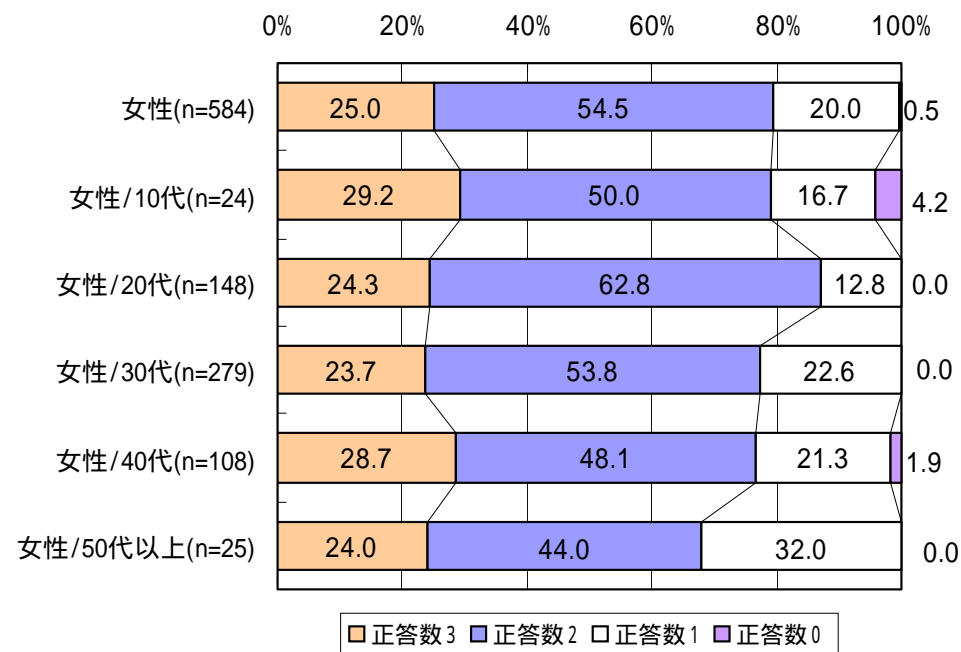
[男性年代別]ではおおむね若い層ほど正答数が多いが、[女性年代別]では年齢と正答数との相関はない。
[インターネット利用時間別]など、インターネット利用度による分析では目立った差はなかった。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <キュリティホール>

[男性年代別]



[女性年代別]



3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(14) - ボット

「ボット」に関する3つの正誤問題の正答数を見ると、「ボット」事象認知者全体]では「正答数3」が64.9%、「正答数2」が31.1%。事象認知者の大半は内容もある程度理解している。

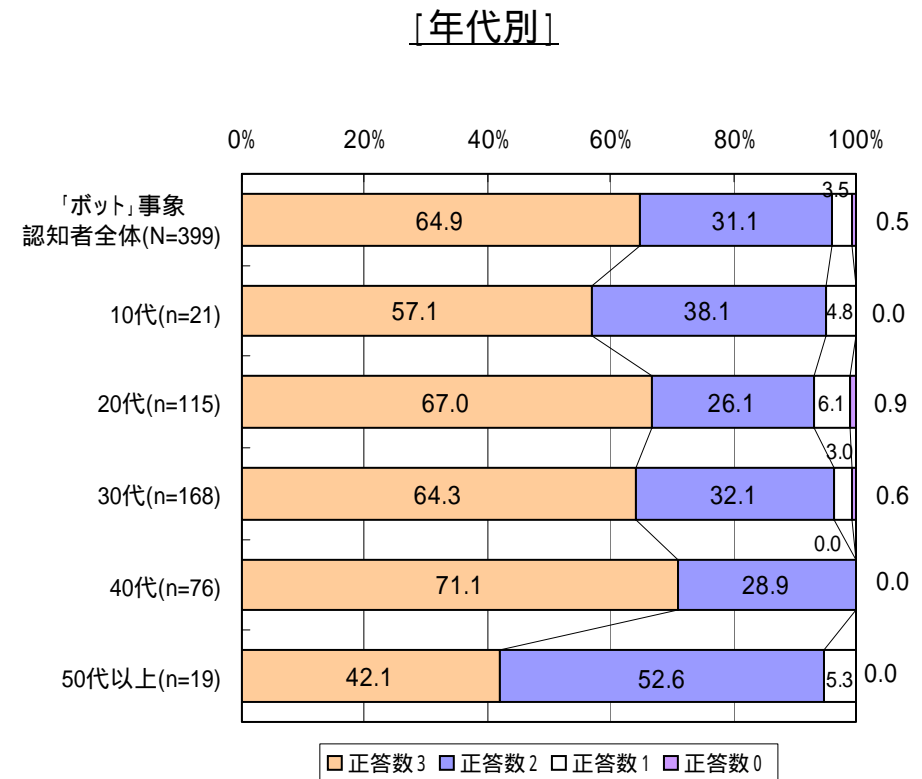
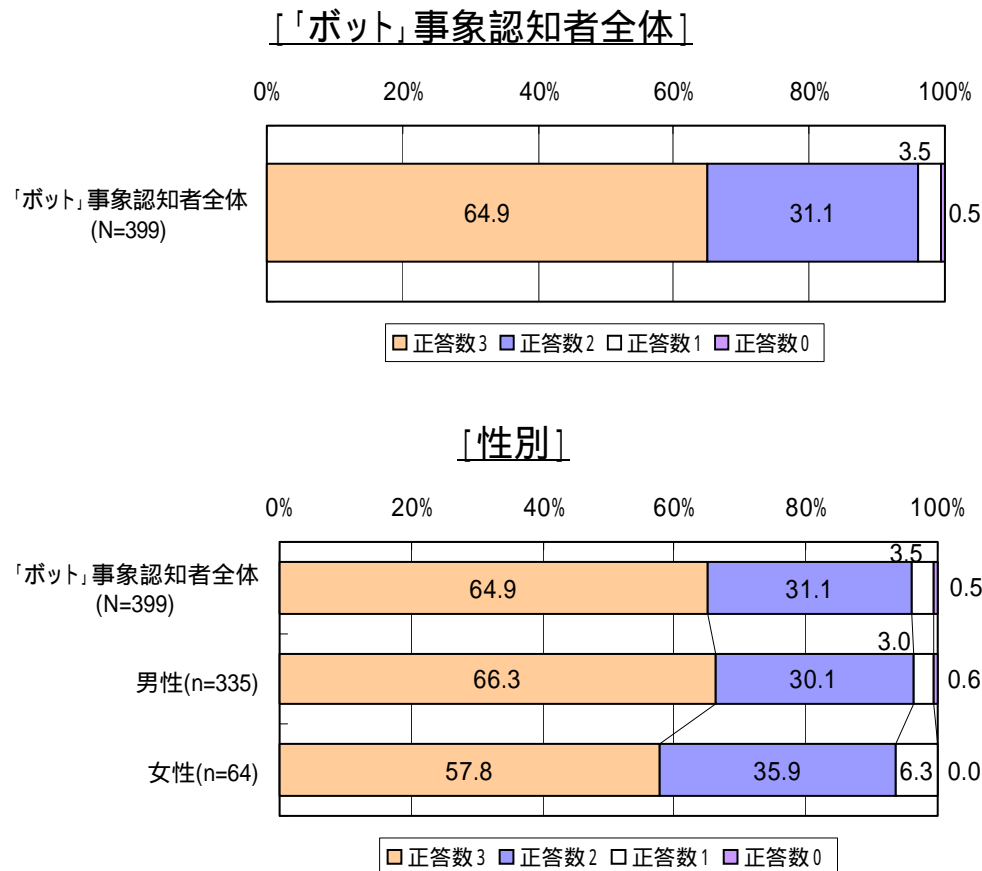
[性別]では「男性」のほうが正答率がやや高い。

[年代別]では、「50代以上」で「正答数3」の割合が顕著に低い(ただしサンプル数が少ない)。

[職業別]では「専業主婦/家事手伝い・無職」の正答率が大幅に低い、その他の職業では差がない。

[インターネット利用時間別]など、インターネット利用度による分析では特に差はない。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <ボット>

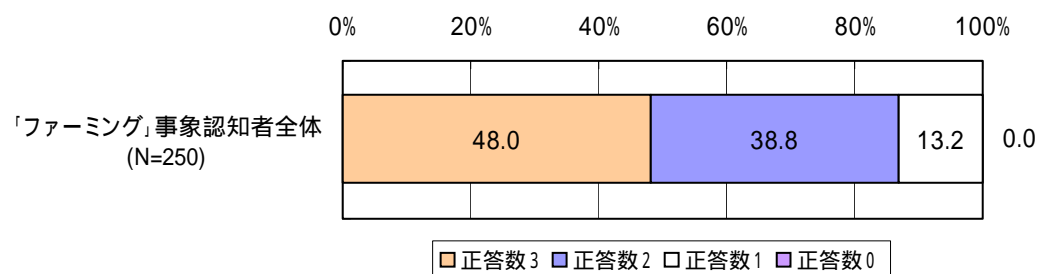


3.1.3. 情報セキュリティに関する事象の理解度(15) - ファーミング

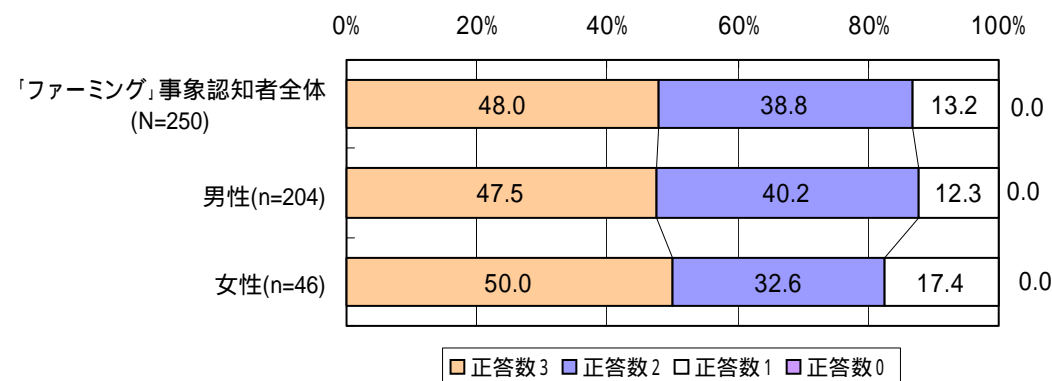
「ファーミング」に関する3つの正誤問題の正答数を見ると、「ファーミング」事象認知者全体では「正答数3」が48.0%、「正答数2」が38.8%。事象認知者の大半は内容もある程度理解している。
 [性別]、[年代別]では顕著な差はない。
 [メール受発信数別]では、「50通以上」の層で「正答数3」がやや少ないが目立った傾向はない。

情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答数 <ファーミング>

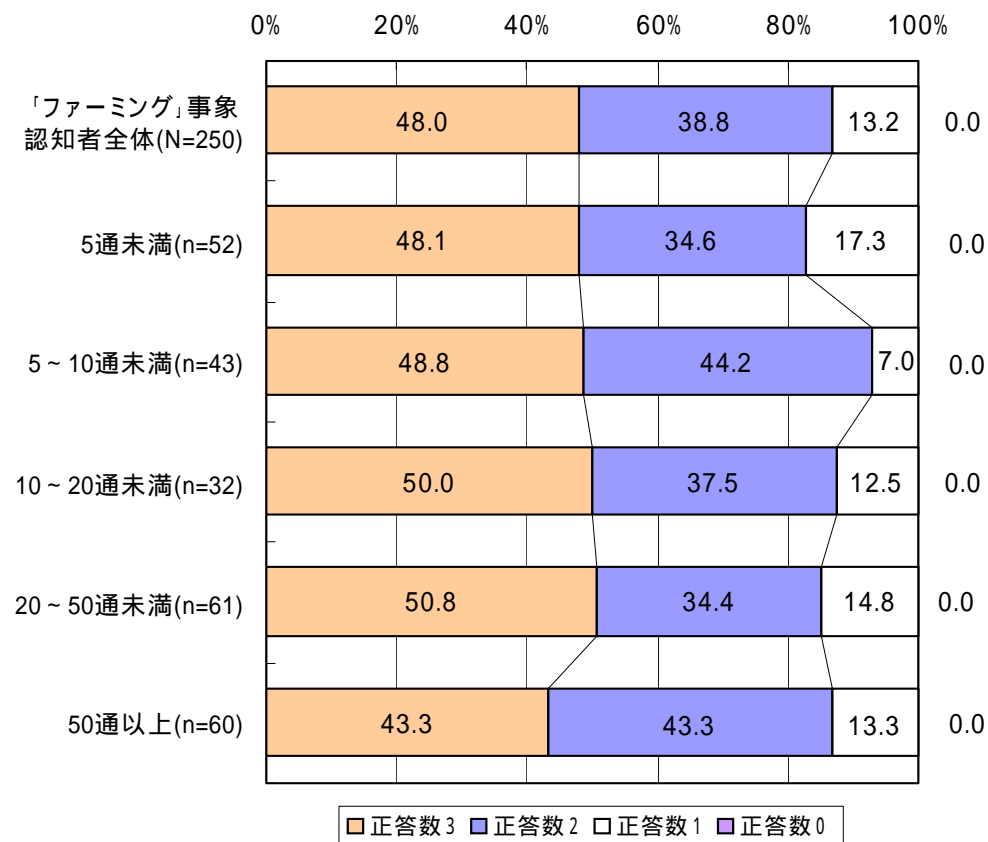
[「ファーミング」事象認知者全体]



[性別]



[メール受発信数別]

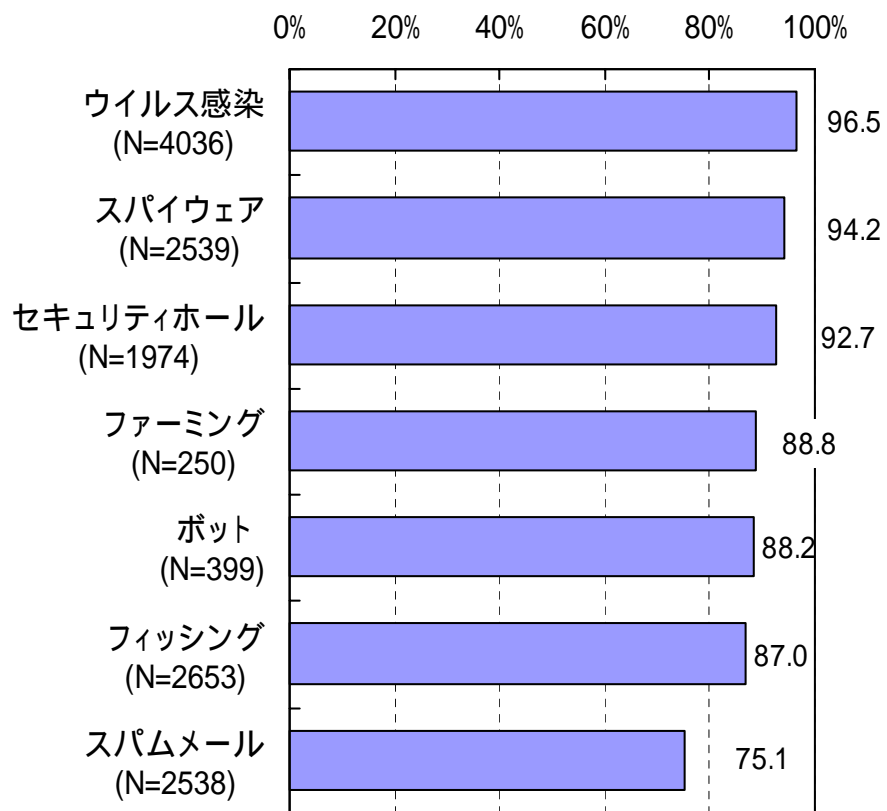


3.1.4. 情報セキュリティに関する事象への脅威(1)

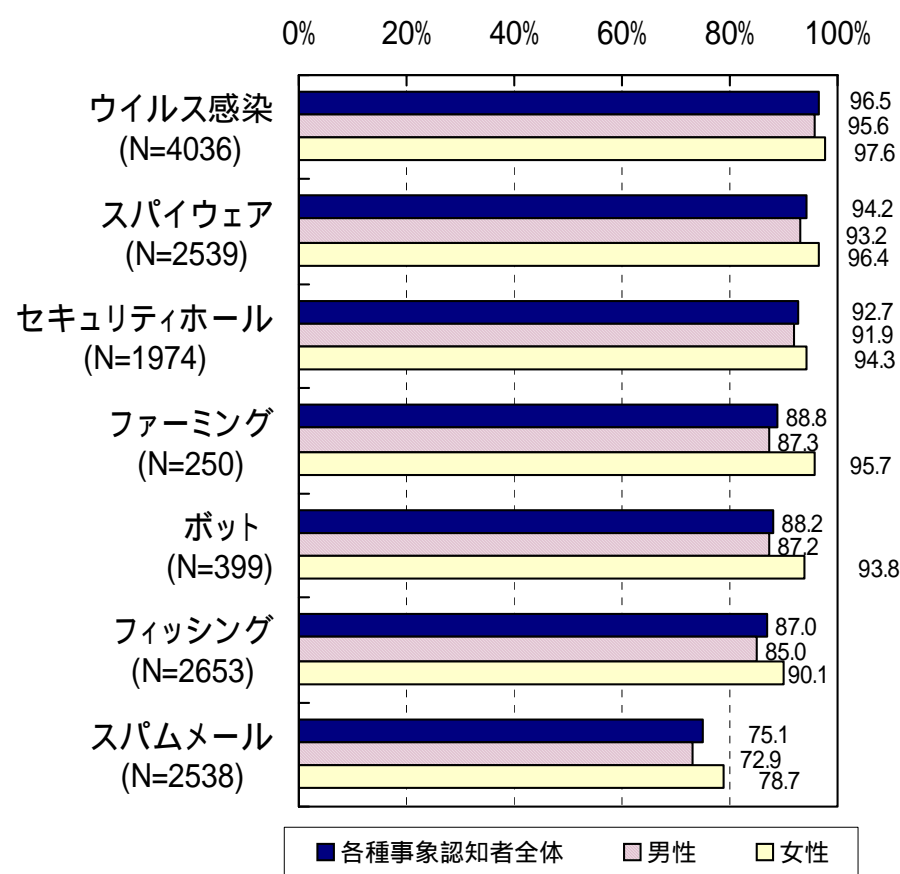
情報セキュリティに関する7種類の事象それぞれについて、「知っている」と答えた人にそれを脅威と思うかどうか尋ねた。ほとんどの事象は9割近くまたはそれ以上の方が脅威に感じているが、「スパムメール」を脅威と思うのは75.1%と比較的低い。

[性別]では、すべての事象に関して「女性」の方が脅威に思う割合がやや高い。

情報セキュリティに関する事象への脅威
[各種事象認知者全体]

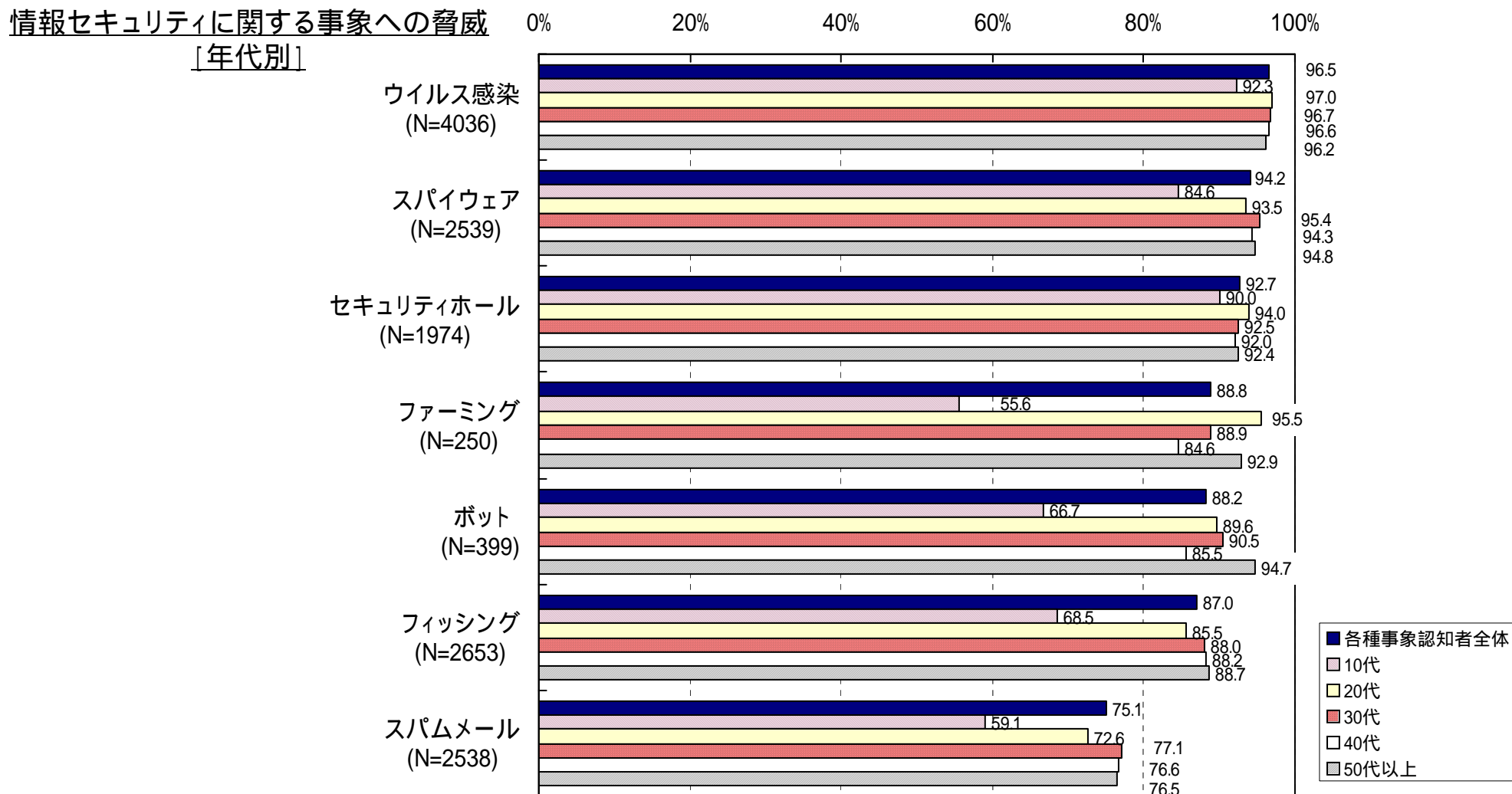


情報セキュリティに関する事象への脅威
[性別]



3.1.4. 情報セキュリティに関する事象への脅威(2)

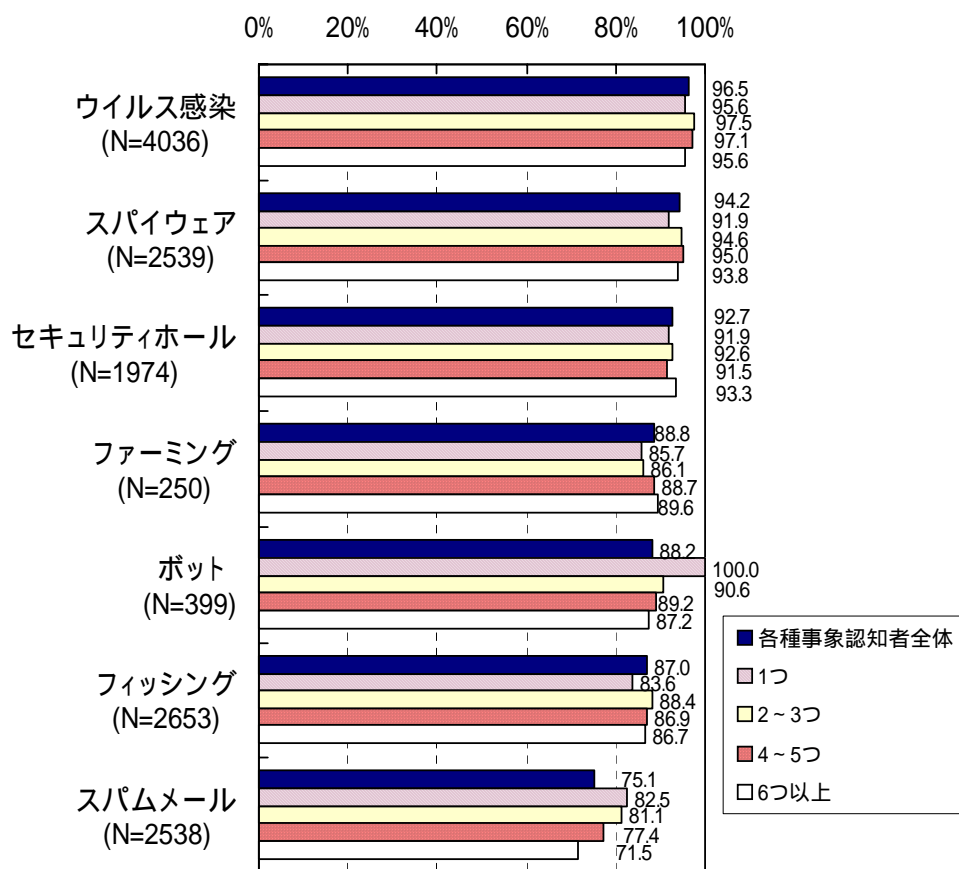
[年代別]ではどの事象に関しても、脅威と思う人の割合が「10代」で最も低く、特に「ファームング」、「ボット」、「フィッシング」、「スパムメール」でそれが顕著である。この設問は各事象を知っている人のみが対象であり、またこの年代で各事象の理解度が特に低くはない(3.1.3.(8)～(15)を参照)。したがって「10代」は、どのような現象が起こるかを知っていてもそれを怖がらない人の割合が多いといえる。



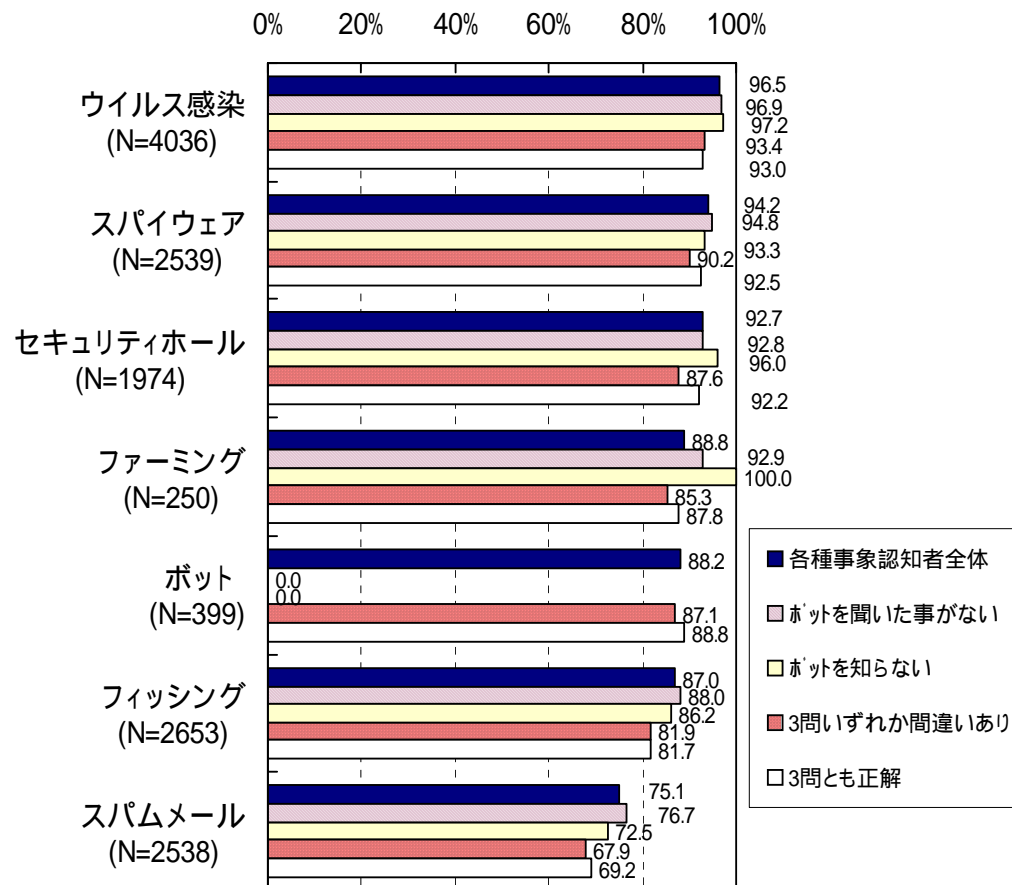
3.1.4. 情報セキュリティに関する事象への脅威(3)

[インターネット利用目的の回答数別]では、「スパムメール」を脅威に感じる人の割合は利用目的が多い層ほど若干低いが、ほとんどの事象については利用目的の数に関わらず大半の人が脅威に感じている。[インターネット利用時間別]や[メール受発信数別]でも各層間で大差はなく、脅威に感じるかどうかはインターネットの利用度に左右されないようだ。[ボットの理解度別]でも、脅威に感じる人の割合と理解度との相関はほとんどない。この点は、「ウイルス感染」、「セキュリティホール」など他の事象の理解度別でも同様であり、理解度と脅威感との間に相関はない。

情報セキュリティに関する事象への脅威
[インターネット利用目的の回答数別]



情報セキュリティに関する事象への脅威
[ボットの理解度別]



3.1.5. 情報セキュリティに関する事象への対策(1)

情報セキュリティに関する7種類の事象それぞれについて、「知っている」と答えた人に実施している対策をすべて選んでもらった。全体として、主に行われている対策は既存ソフトの活用および運用管理であった。

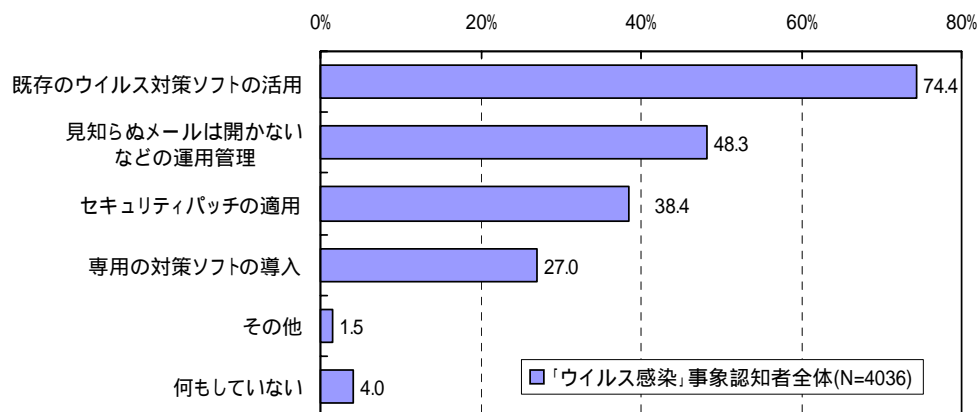
個別に見ると、「ウイルス感染」に対しては「既存のウイルス対策ソフトの活用」(74.4%)が圧倒的に多い。

「スパイウェア」に対しても「既存のウイルス対策ソフトの活用」が1位だが、「専用の対策ソフトの導入」(40.7%)も比較的多く、全事象の中で最多。

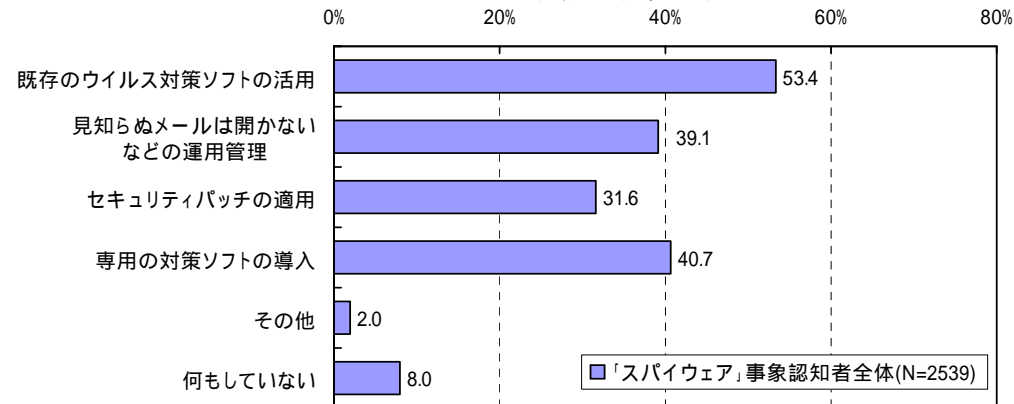
「スパムメール」、「フィッシング」、「ファームウェア」(次ページ参照)に対しては、「見知らぬメールは開かないなどの運用管理」、「既存のウイルス対策ソフトの活用」の順に多い。

情報セキュリティに関する事象への対策[各事象の認知者全体] (複数回答)

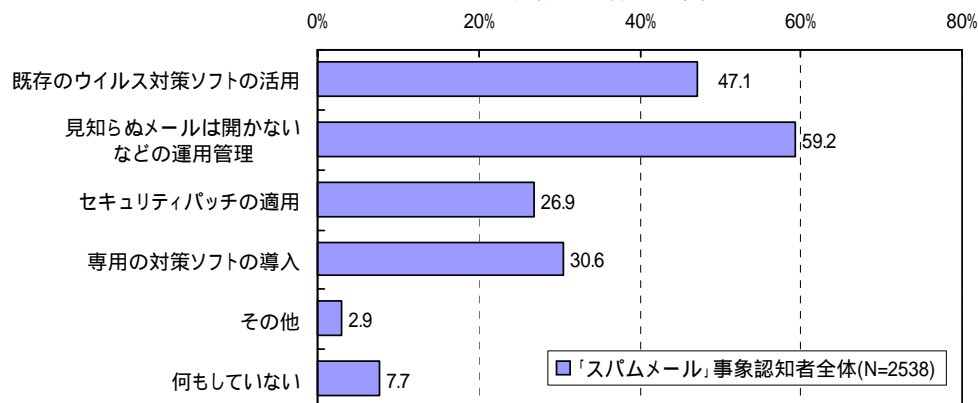
<ウイルス感染>



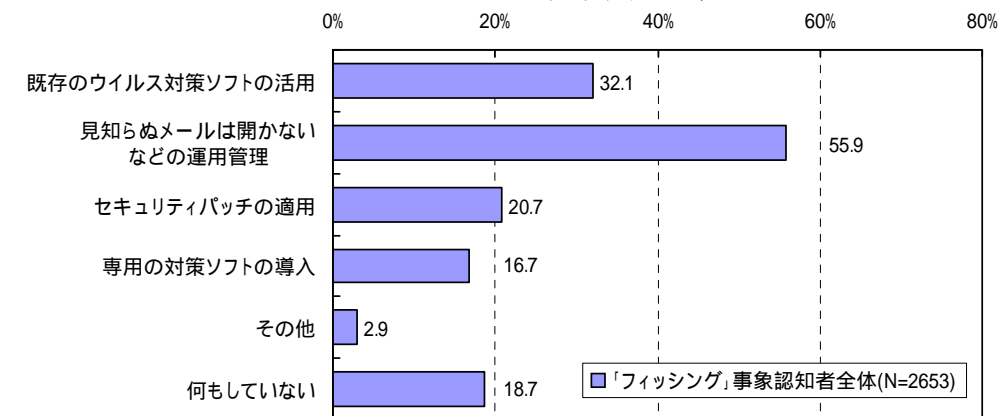
<スパイウェア>



<スパムメール>



<フィッシング>



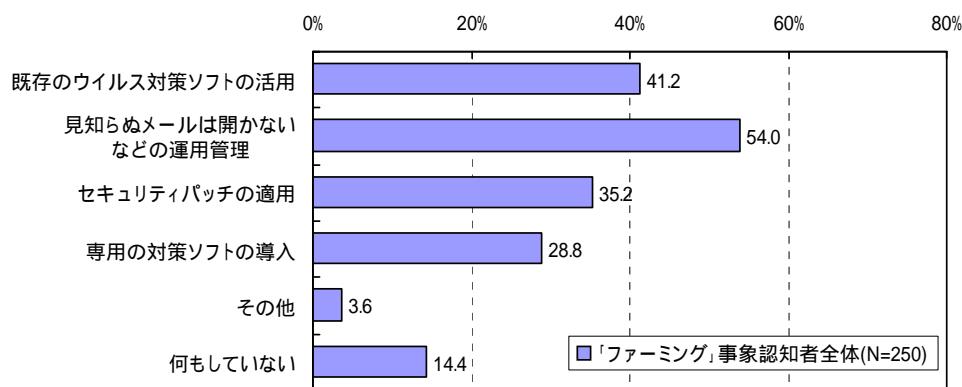
3.1.5. 情報セキュリティに関する事象への対策(2)

「セキュリティホール」に対しては「セキュリティパッチの適用」(78.3%)が突出し、次いで「既存のウイルス対策ソフトの活用」(32.5%)。

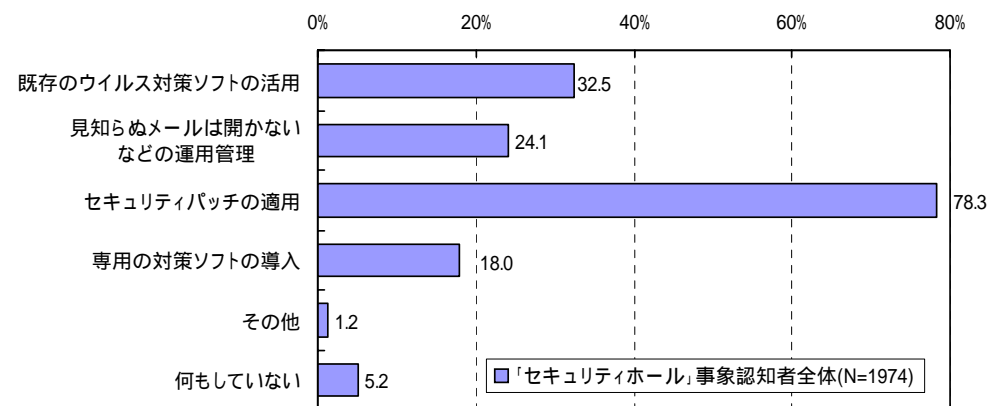
「ボット」に対しては特に目立つ対策はなく、各対策が3～4割程度の人によって実施されている。

情報セキュリティに関する事象への対策[各事象の認知者全体] (複数回答)

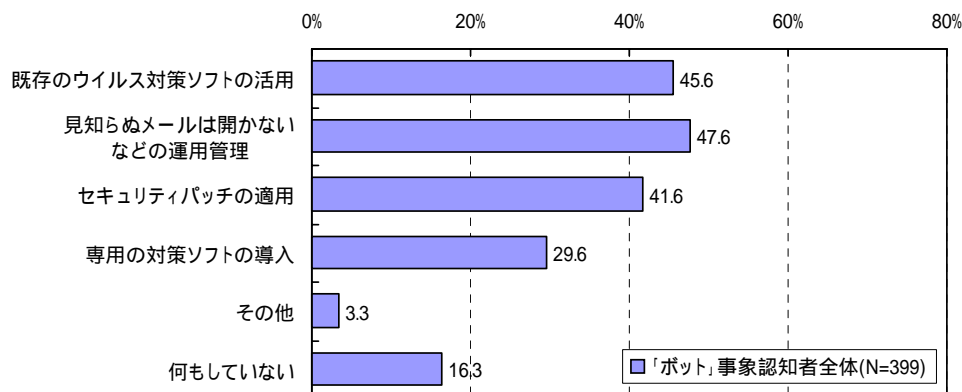
<ファームウェア>



<セキュリティホール>



<ボット>



自由回答から

「その他」と答えた人に具体的な対策を記入してもらった。主なものを以下に示す。

- ・「ウイルス感染」に対しては、大半の人が「プロバイダのセキュリティサービスの利用」を挙げ、数人は「マイクロソフト社製以外のOS/メーカー/パソコンを使う」と答えた。
- ・「スパムメール」に対しても「プロバイダのセキュリティサービスの利用」が最も多く、次いで「メーカーでのフィルタリング」が多い。「公共機関やプロバイダへの通報」も数件あった。
- ・「スパイウェア」、「フィッシング」、「ファームウェア」、「ボット」、「セキュリティホール」については、「常に最新情報を得ておく」との回答が目立った。

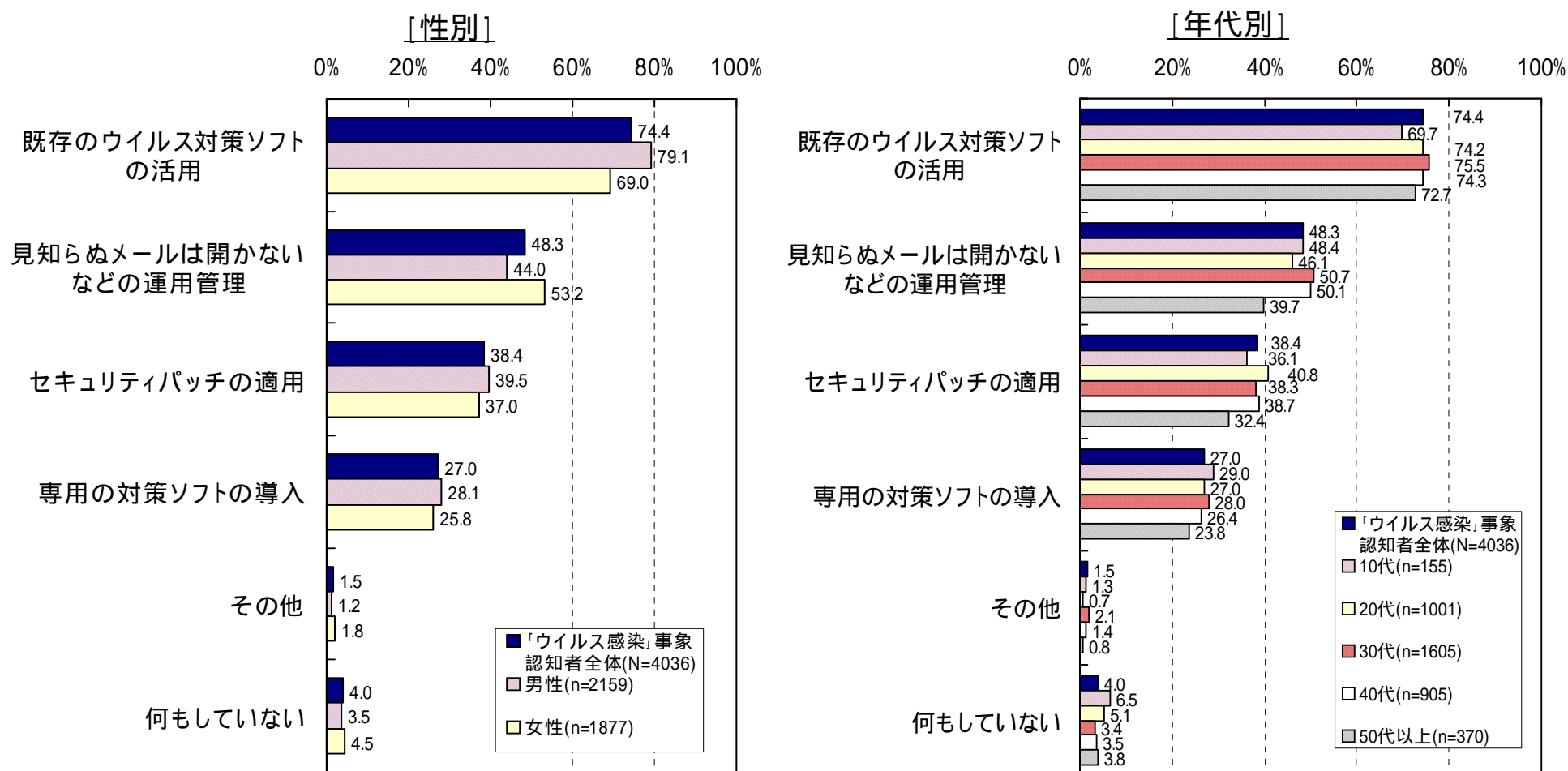
3.1.5. 情報セキュリティに関する事象への対策(3)

「ウイルス感染」の事象を知っている人による対策実施状況を[性別]に見ると、「既存のウイルス対策ソフトの活用」は「男性」のほうが、また「見知らぬメールは開かないなどの運用管理」は「女性」のほうが実施率が高い。

[年代別]では実施状況に顕著な差はない。

なお、[性別]、[年代別]でのこのような傾向は、「ウイルス感染」以外の事象への対策実施状況においてもおおむね同様であった。

情報セキュリティに関する事象への対策<ウイルス感染> (複数回答)

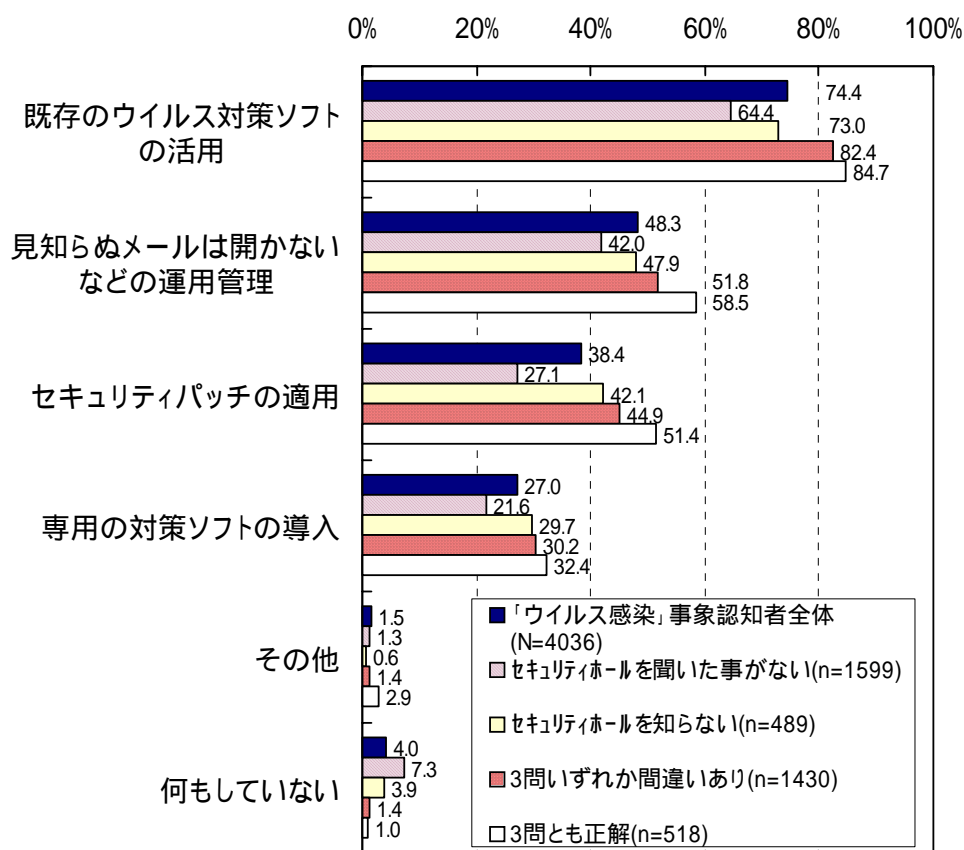


3.1.5. 情報セキュリティに関する事象への対策(4)

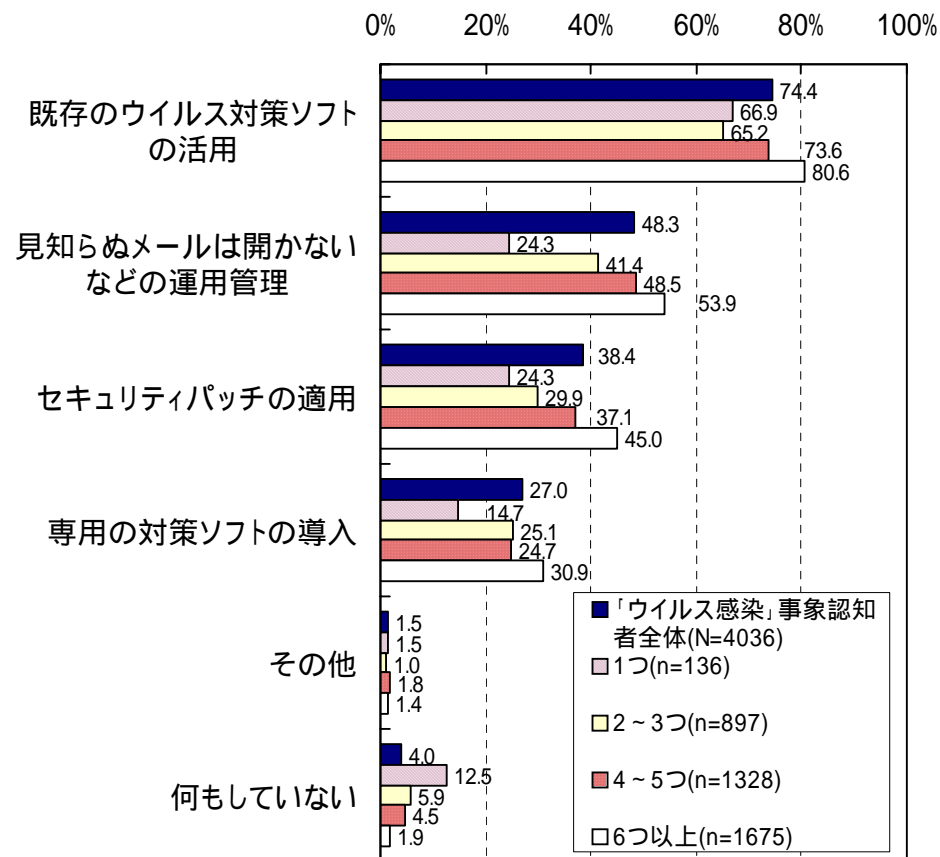
「ウイルス感染」の事象を知っている人による対策実施状況を[セキュリティホールの理解度別]に見ると、理解度の高い層はどの対策も実施率が高い。「スパムメール」など他の事象の理解度別に見ても同じ特徴があった。セキュリティについてよく理解している層は、各種の対策を併用するケースが多いといえる。
 [インターネット利用目的の回答数別]に見ると、利用目的の多い層はどの対策も実施率が高い。「ウイルス感染」以外の事象への対策実施状況においても同じ傾向があった。

情報セキュリティに関する事象への対策<ウイルス感染> (複数回答)

[セキュリティホールの理解度別]



[インターネット利用目的の回答数別]

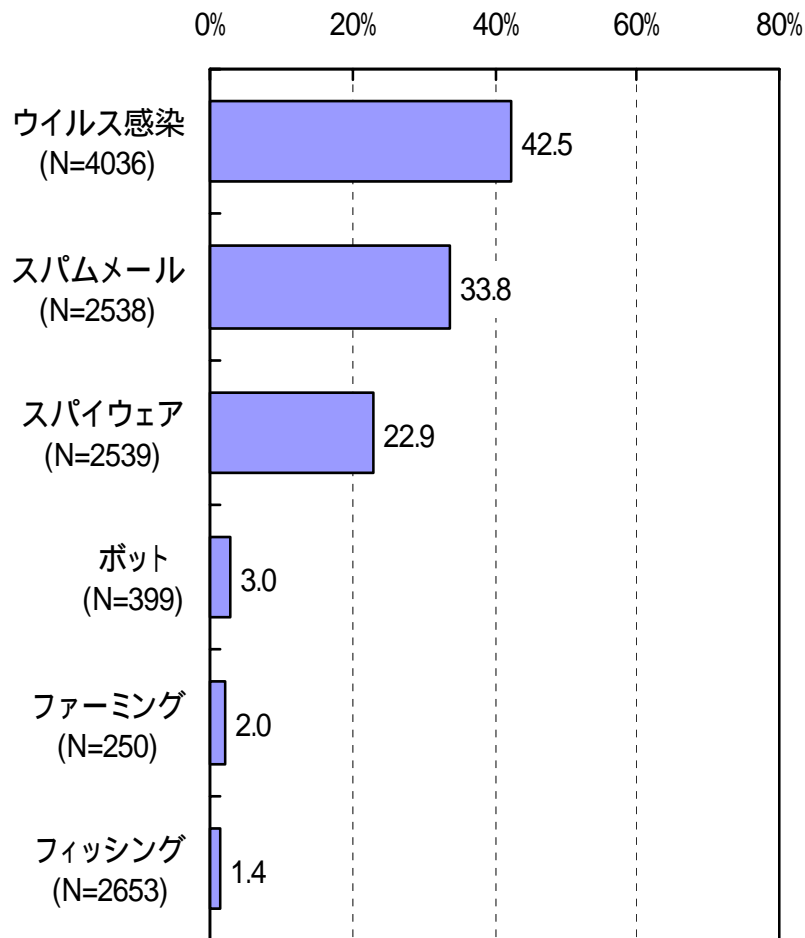


3.1.6. 情報セキュリティに関する被害経験(1-1)

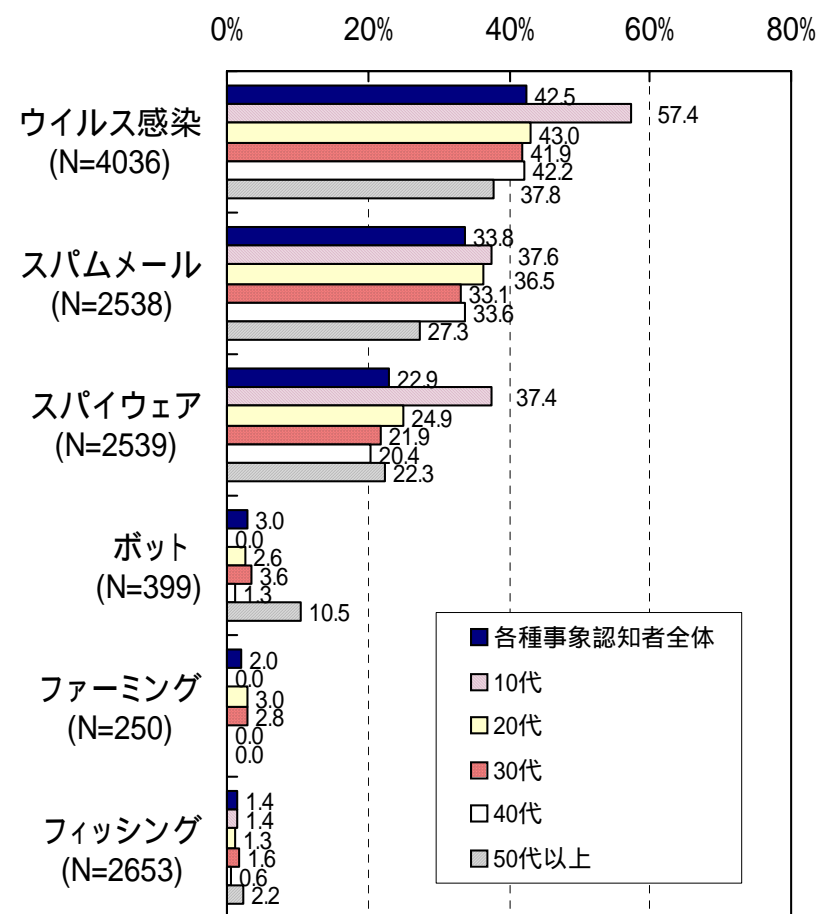
事象を知っている人に、セキュリティに関する各被害について経験の有無を尋ねた。経験率が多い順に「ウイルス感染」(42.5%)、「スパムメール」(33.8%)、「スパイウェア」(22.9%)となり、「ボット」(3.0%)、「ファーミング」(2.0%)、「フィッシング」(1.4%)の経験者はわずかであった。

[年代別]では、上位3種類の被害を見るとおおむね若い層ほど経験率が高く、特に「ウイルス感染」と「スパイウェア」は「10代」が突出している。[性別]ではほとんどの事象で「男性」のほうが経験率がやや高い。

情報セキュリティに関する被害経験
[各種事象認知者全体]

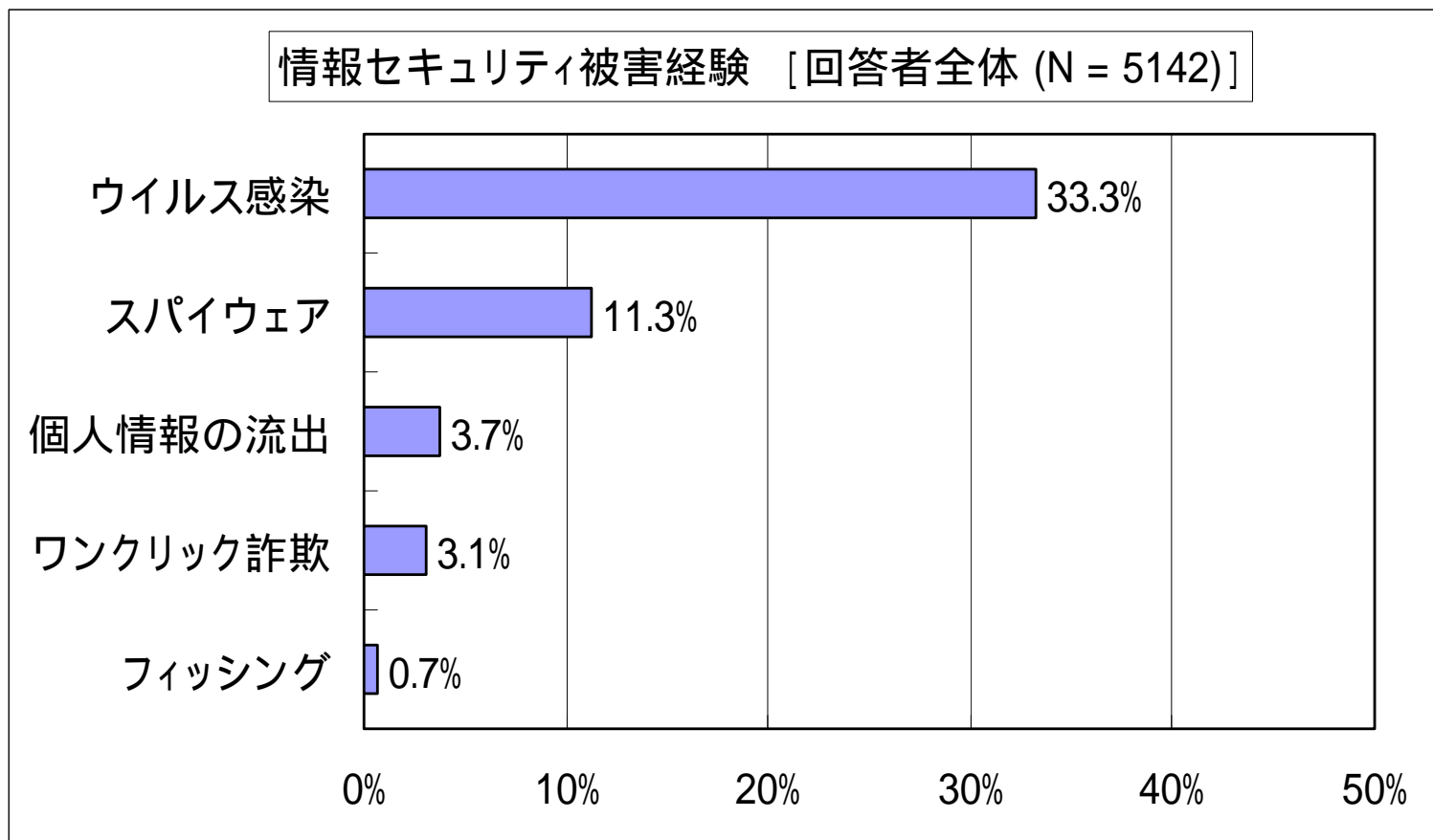


情報セキュリティに関する被害経験
[年代別]



3.1.6. 情報セキュリティに関する被害経験(1-2)

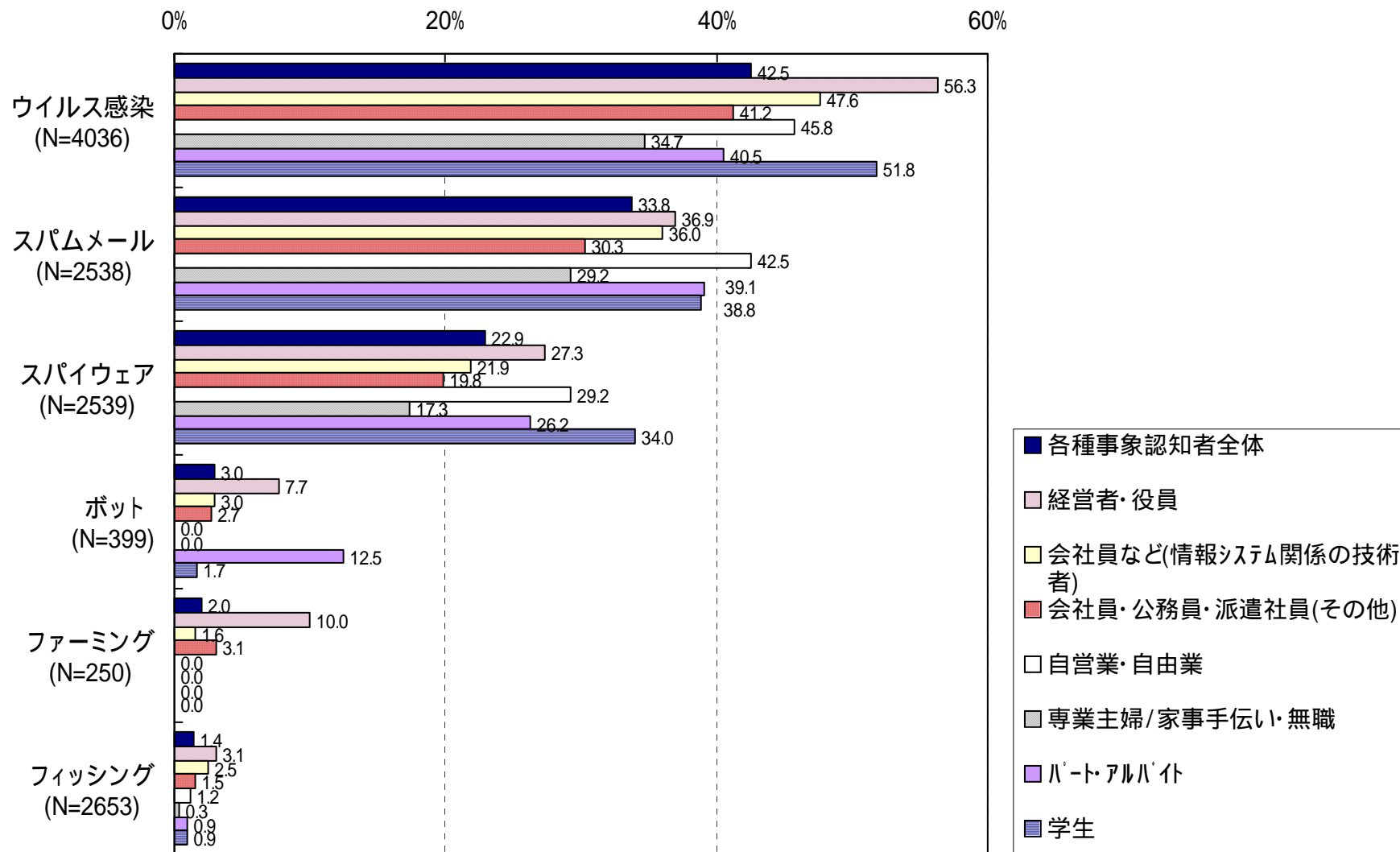
情報セキュリティ関連の被害経験について聞いた結果を回答者全員(N=5142)の比率で示すと、「ウイルス感染」が33.3%、「スパイウェア」が11.3%、「個人情報の流出」が3.7%、「ワンクリック詐欺」が3.1%、「フィッシング」0.7%であった。



3.1.6. 情報セキュリティに関する被害経験(2)

[職業別]に上位3種類の被害について見ると、「経営者・役員」、「自営業・自由業」、「学生」で経験率が比較的高く、「会社員・公務員・派遣社員(その他)」および「専業主婦/家事手伝い・無職」は低い。

情報セキュリティに関する被害経験 [職業別]



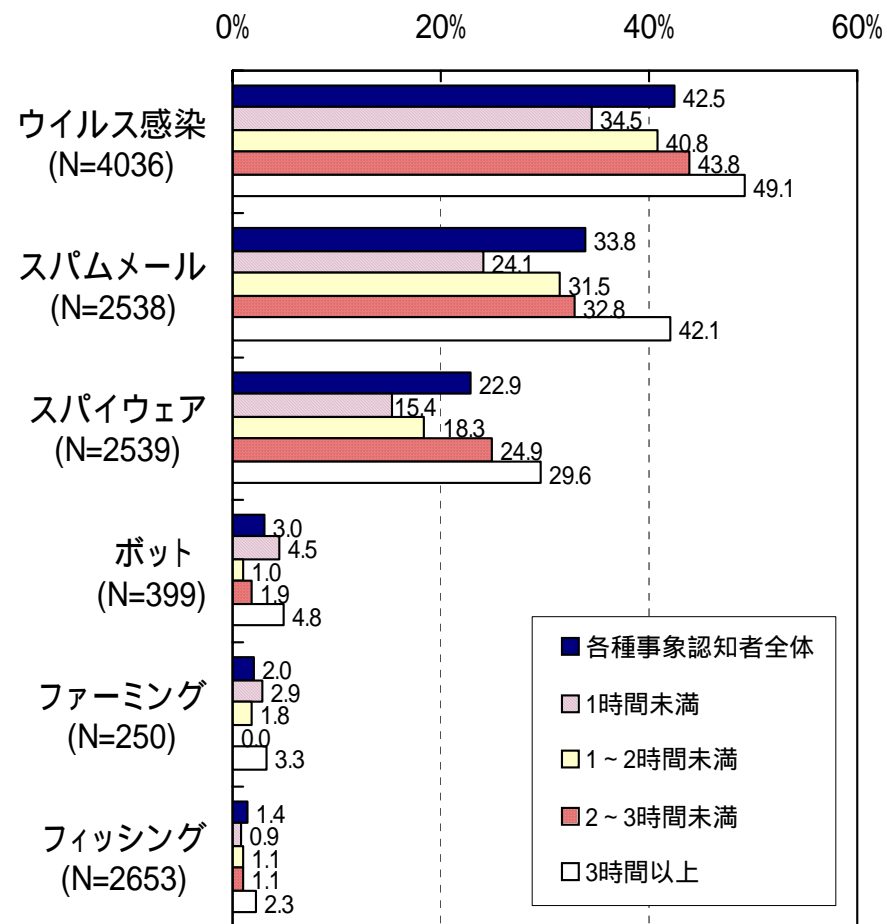
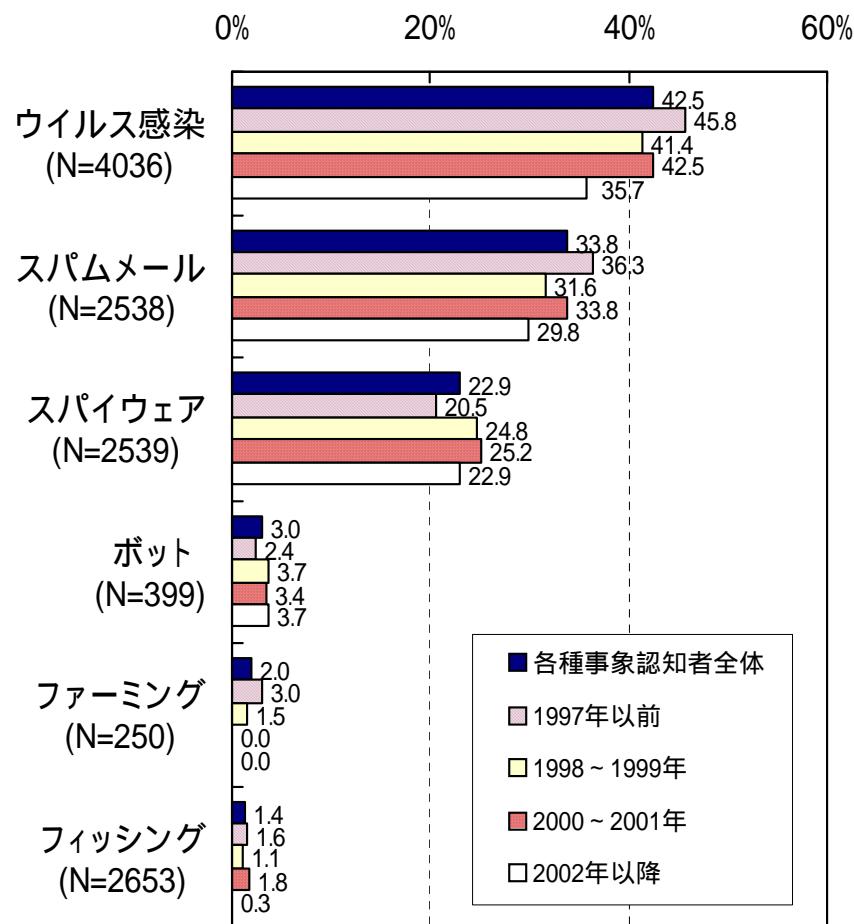
3.1.6. 情報セキュリティに関する被害経験(3)

[インターネット利用開始時期別]では、「ウイルス感染」と「スパムメール」については早くからネットを利用する層で被害経験がやや多いものの、利用開始時期と被害経験率との間に一貫した相関はない。ネット利用期間に比例して被害が増えるわけではないようだ。

一方、[インターネット利用時間別]では、一日平均の利用時間が長いほど被害経験者の割合も顕著に高い。被害経験の有無に影響するのは、利用歴よりも日頃の利用時間と考えられる。

情報セキュリティに関する被害経験
[インターネット利用開始時期別]

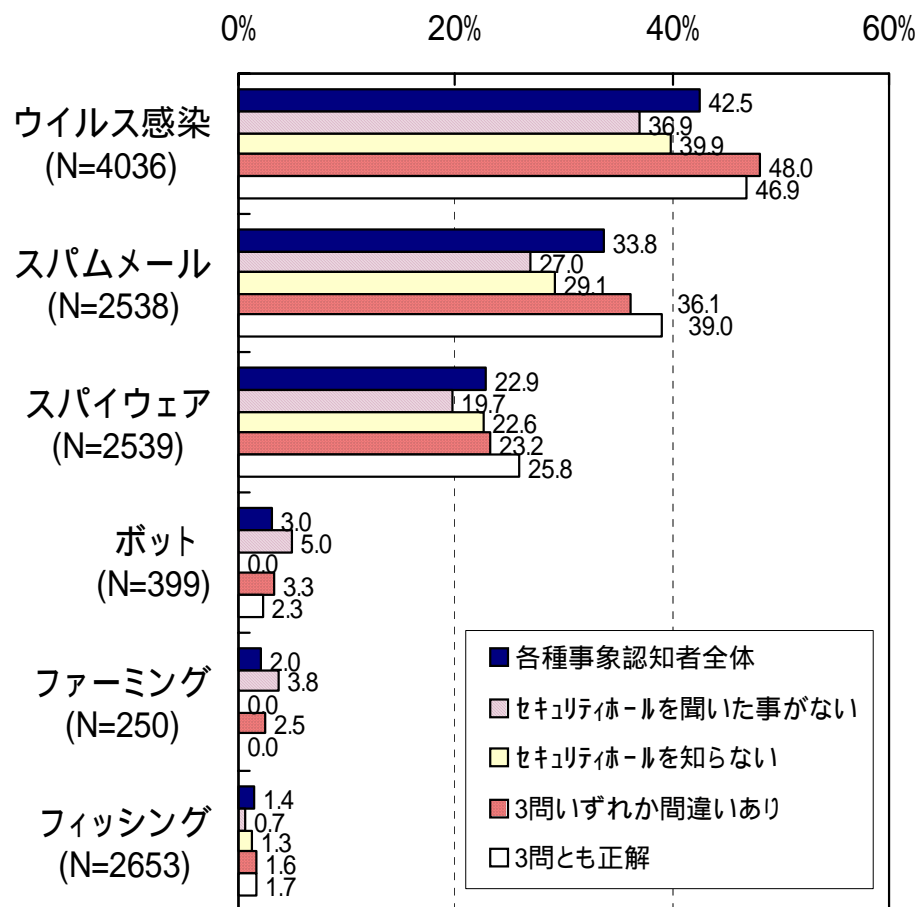
情報セキュリティに関する被害経験
[インターネット利用時間別]



3.1.6. 情報セキュリティに関する被害経験(4)

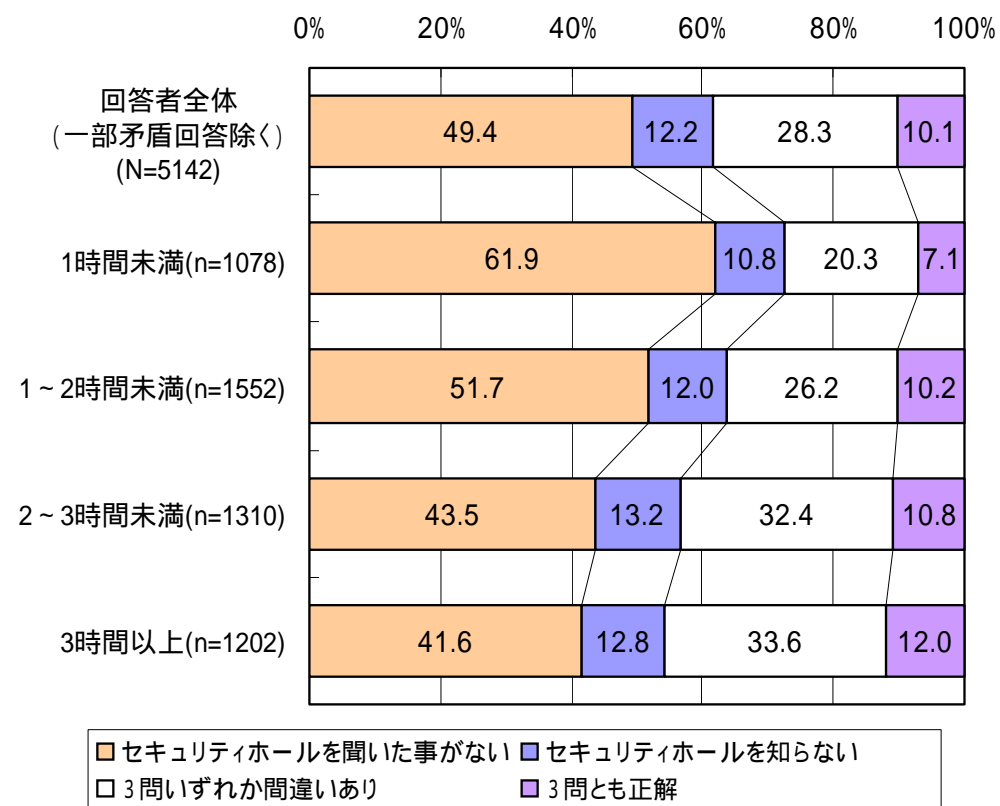
情報セキュリティに関する事象の理解度に基づいて分析すると、「セキュリティホール」などの各種事象を理解している層ほど被害経験率もおおむね高い。これは、セキュリティ関連の理解度が高い層は一日平均のインターネット利用時間が長いため、結果的に被害経験者が多いと思われる。

情報セキュリティに関する被害経験
[セキュリティホールの理解度別]



参考:

「セキュリティホール」理解度 [インターネット利用時間別]



3.1.7. 情報セキュリティに関する相談先(1)

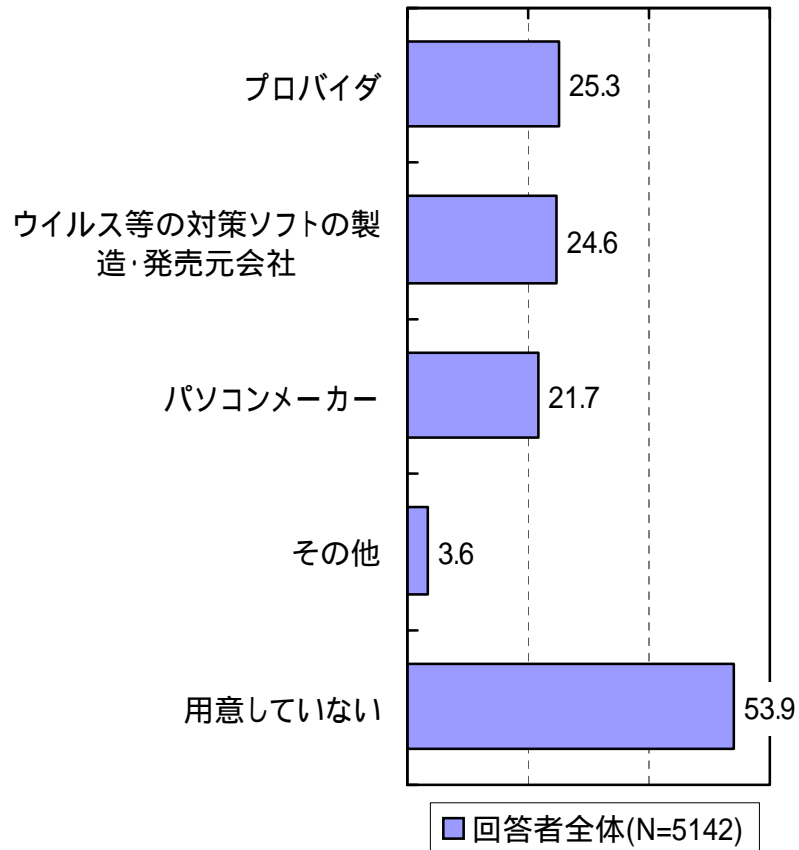
「ウイルス感染」、「スパムメール」、「スパイウェア」などセキュリティ関連の被害にあったときのために用意している相談先(電話番号など)をすべて選んでもらった。「用意していない」が53.9%で最も多く、次いで「プロバイダ」と「ウイルス等の対策ソフトの製造・発売元会社」がそれぞれ25%前後。

[年代別]では、どの相談先も若い層ほど用意している割合が低いが、「パソコンメーカー」は年代による差が比較的小さい。また、相談先を用意していない人が「10代」で65.9%、他の年代で約5～6割。[性別]では、「ウイルス等の対策ソフトの製造・発売元会社」を挙げた人は「男性」のほうがやや多い。

情報セキュリティに関する相談先 [回答者全体]

(複数回答)

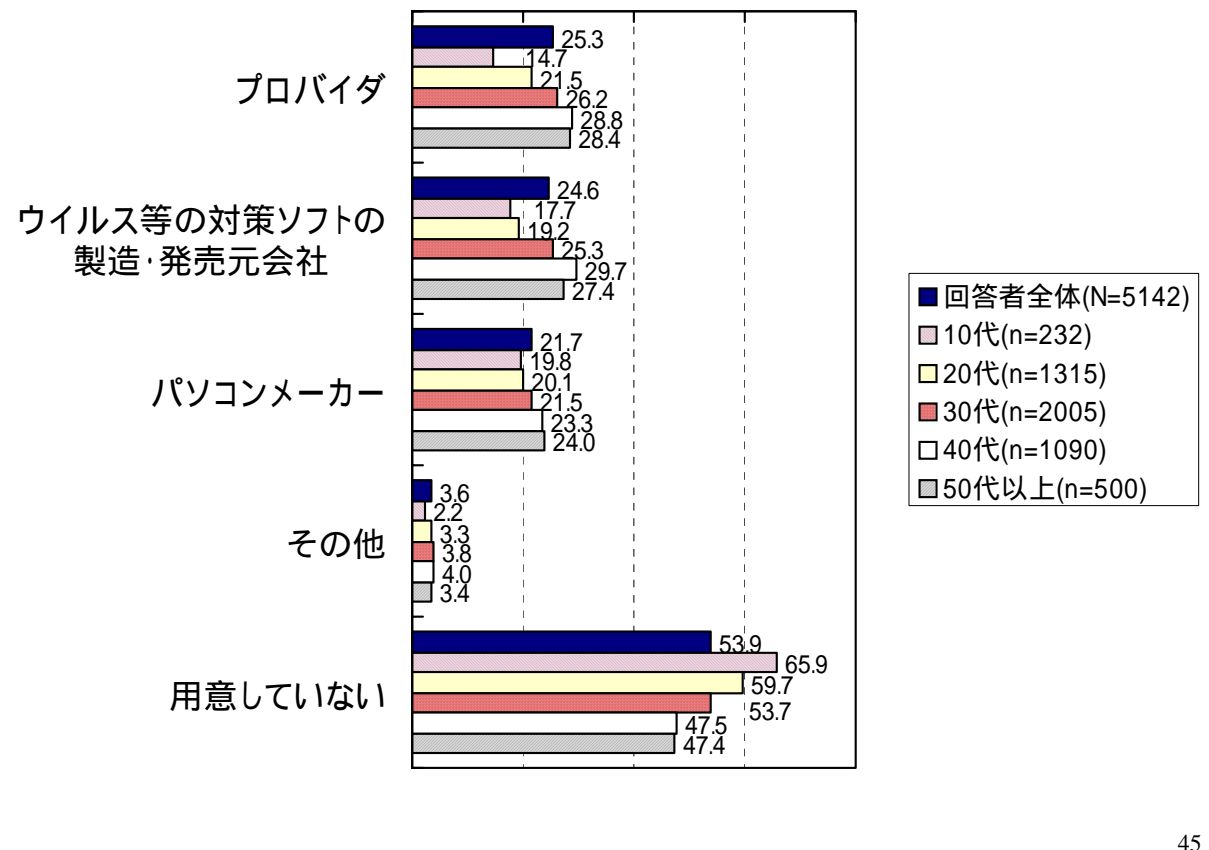
0% 20% 40% 60%



情報セキュリティに関する相談先 [年代別]

(複数回答)

0% 20% 40% 60% 80%

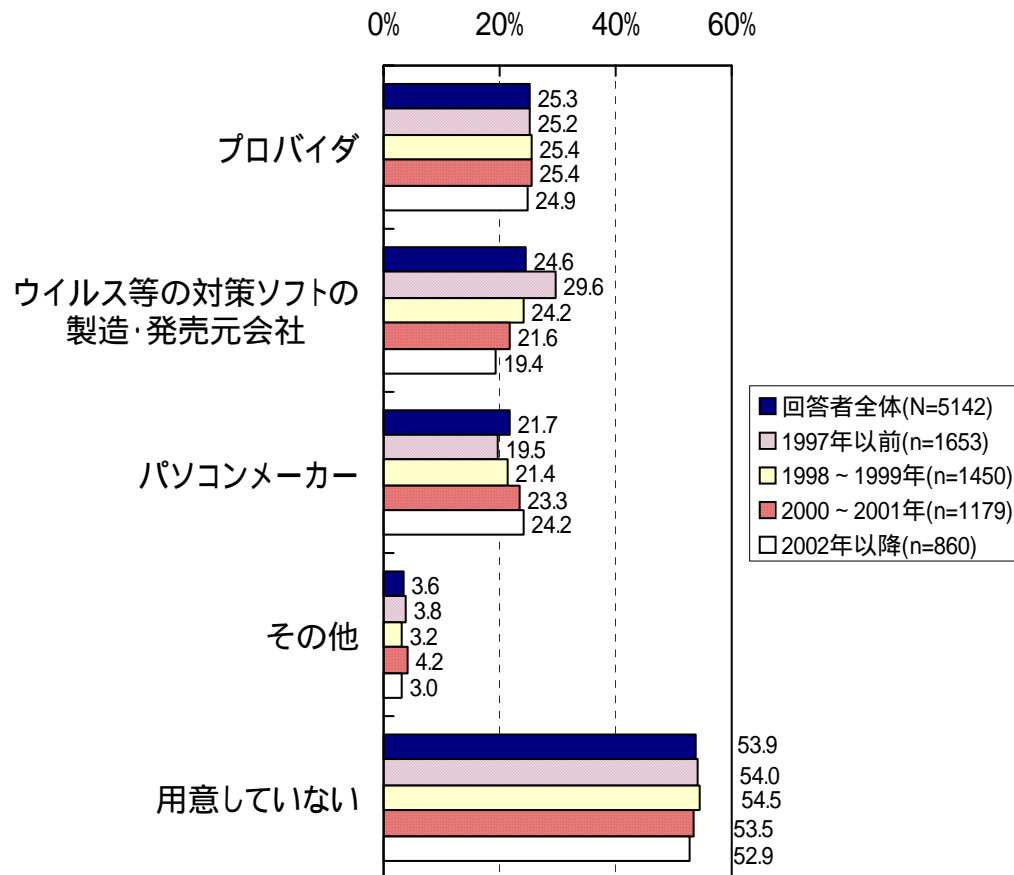


3.1.7. 情報セキュリティに関する相談先(2)

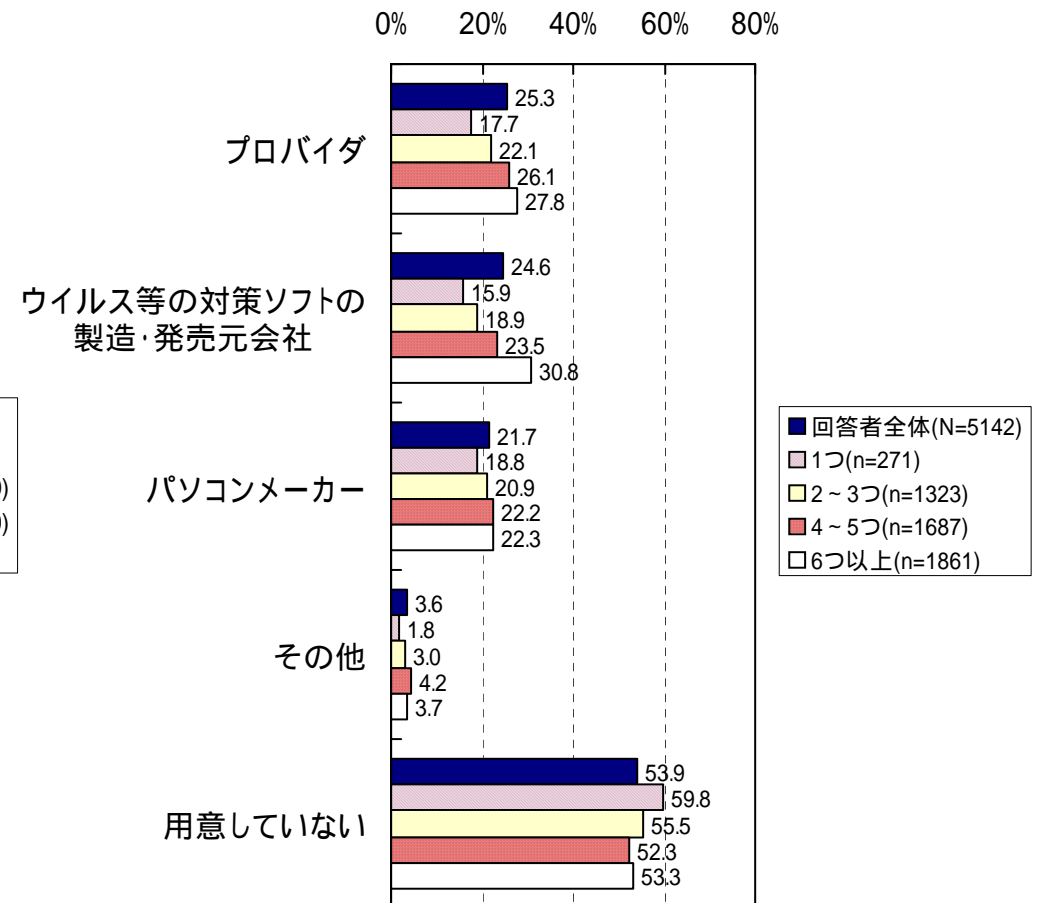
[インターネット利用開始時期別]では、「ウイルス等の対策ソフトの製造・発売元会社」を相談先として用意している割合はネット利用歴が長い層ほど高く、「パソコンメーカー」はこれと逆の傾向にある。

[インターネット利用目的の回答数別]に見ると、どの相談先に関しても、インターネットを多目的に利用する層ほど用意している割合が高く、特に「ウイルス等の対策ソフトの製造・発売元会社」でそれが顕著である。

情報セキュリティに関する相談先
[インターネット利用開始時期別] (複数回答)



情報セキュリティに関する相談先
[インターネット利用目的の回答数別] (複数回答)

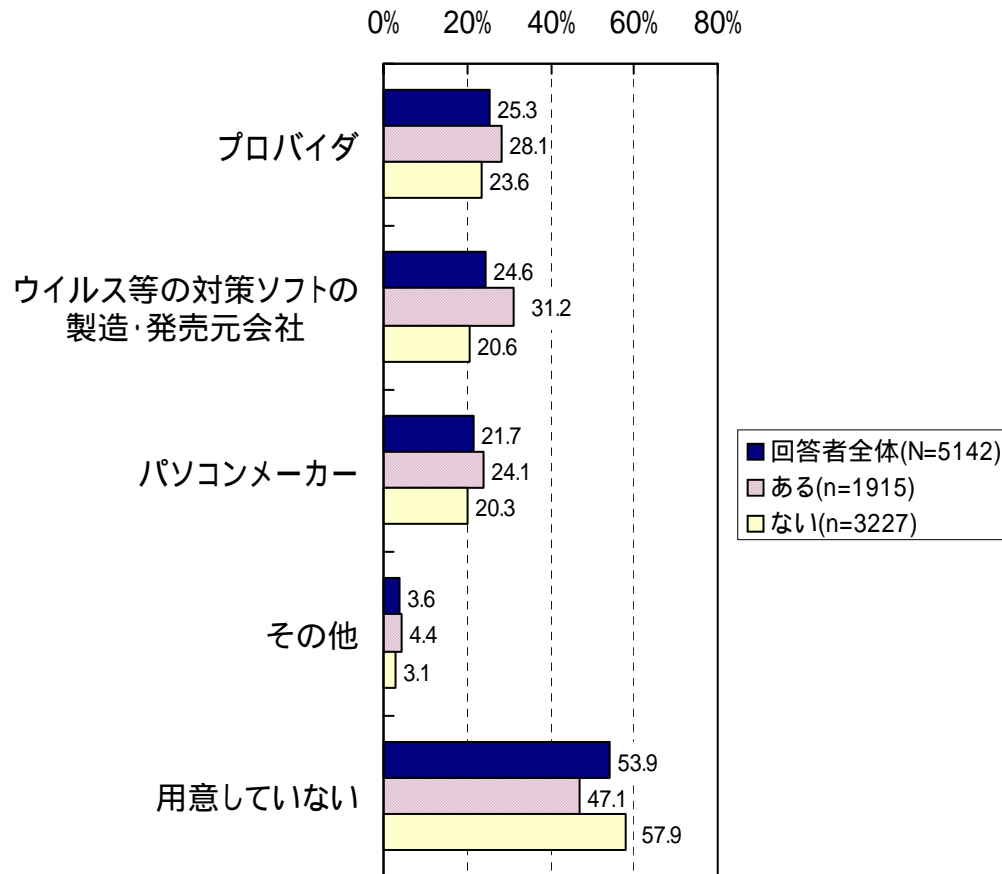


3.1.7. 情報セキュリティに関する相談先(3)

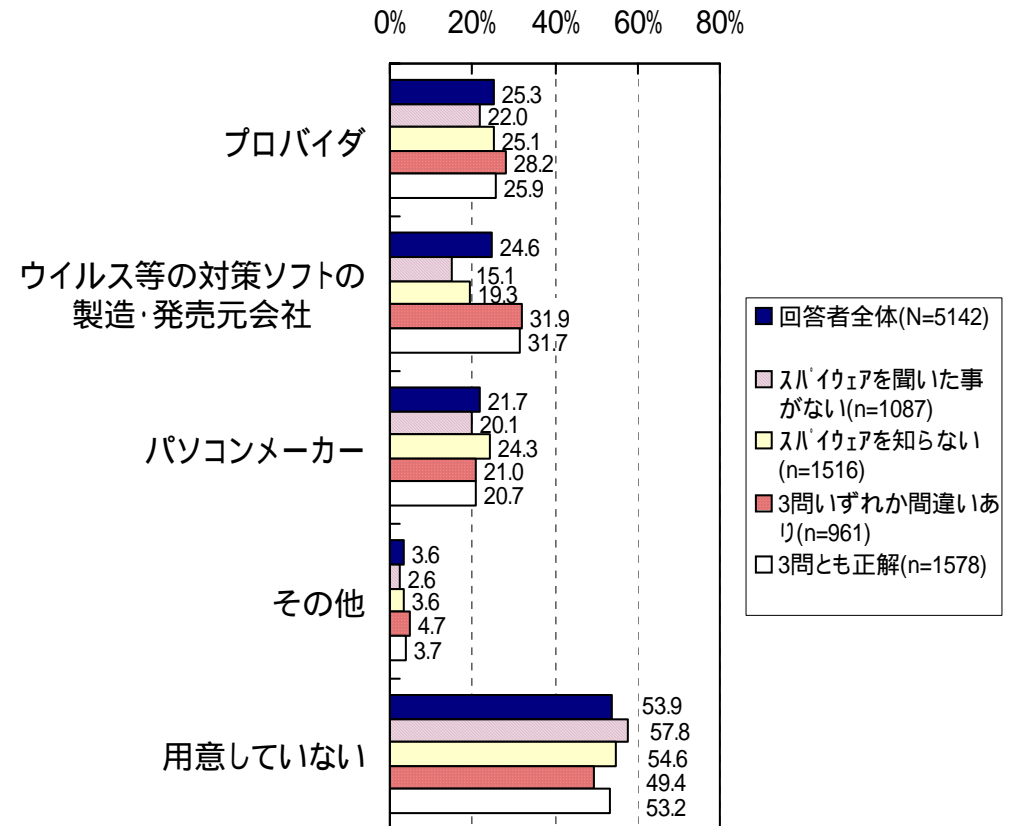
[被害の有無別]では、相談先を用意していない人の割合は被害経験のない層のほうが10.8ポイント高い。また、どの相談先についてもそれを用意している人の割合は被害経験者のほうが高く、特に「ウイルス等の対策ソフトの製造・発売元会社」でそれが目立つ。被害に遭遇して対策ソフトを導入したことがきっかけになったと推測される。

[スパイウェアの理解度別]では、理解度が高い層は「ウイルス等の対策ソフトの製造・発売元会社」を挙げる割合が高い。「フィッシング」、「ファームウェア」、「セキュリティホール」の理解度別でも同様の特徴がある。

情報セキュリティに関する相談先
[被害の有無別] (複数回答)



情報セキュリティに関する相談先
[スパイウェアの理解度別] (複数回答)



3.2. 情報セキュリティに対する行動実態

3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 1.Windows Update等による更新(1)

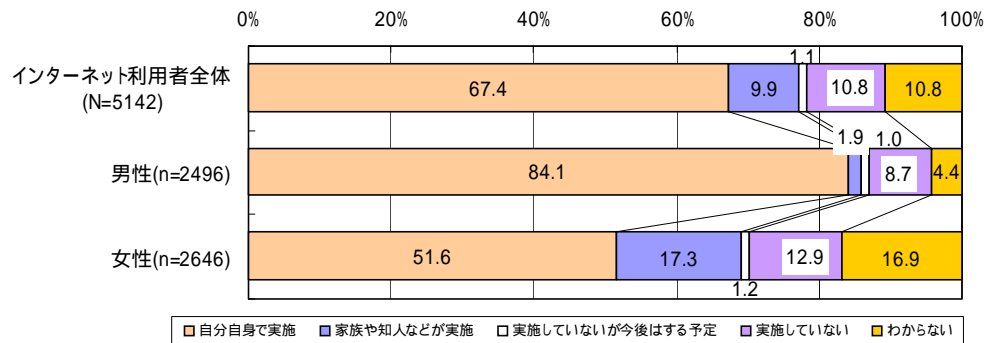
回答者全員に、具体的な情報セキュリティ対策を示し、それぞれの実施状況を尋ねた。「Windows Update等による更新」については、圧倒的に多いのは「自分自身で実施」で67.4%、次いで「家族や知人などが実施」が9.9%と、何らかの形で実施している人は8割近い。

[性別]では、「女性」は「家族や知人などが実施」が17.3%で、「男性」より顕著に高い。

[年代別]では、「10代」で2割強、「20代」で1割と、若年層に「わからない」という回答が目立つ。

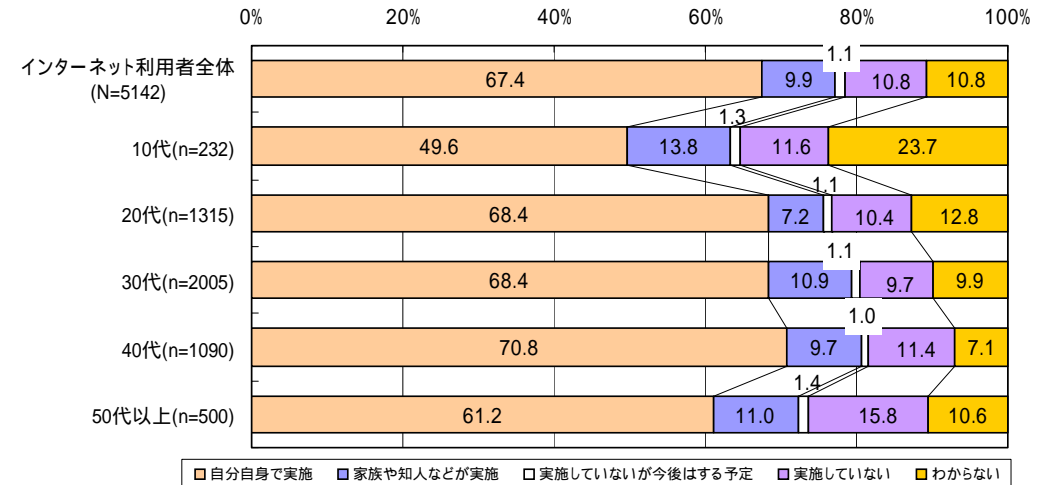
情報セキュリティ対策の実施状況

1.Windows Update等による更新 [回答者全体 / 性別]



情報セキュリティ対策の実施状況

1.Windows Update等による更新 [年代別]



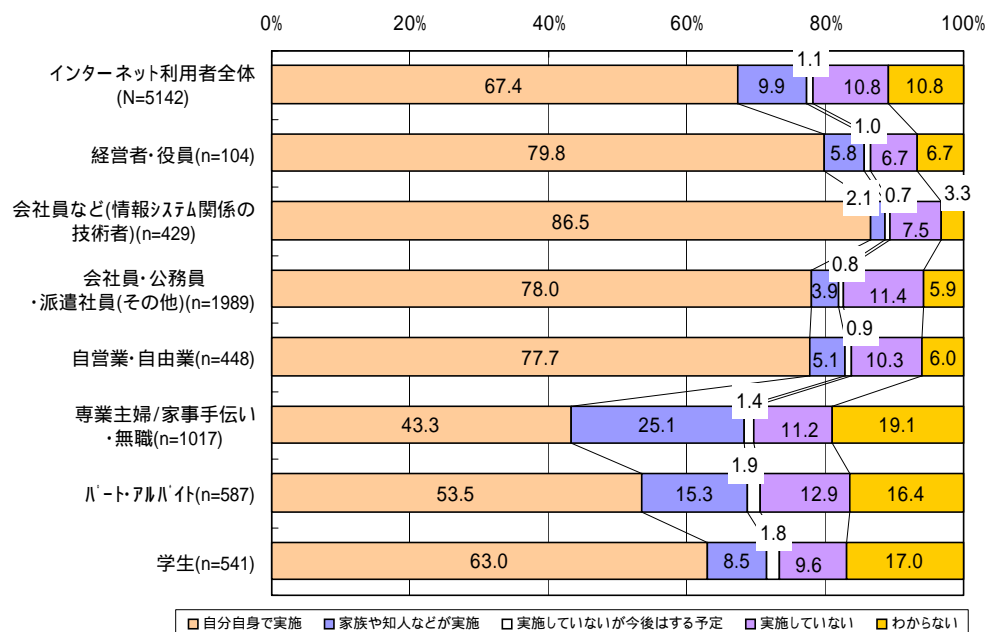
3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 1.Windows Update等による更新(2)

[職業別]では、「自分自身で実施」する人が最も多いのは「会社員(情報システム関係の技術者)」の86.5%、次いで「経営者・役員」で79.8%、僅差で「会社員・公務員・派遣社員(その他)」78.0%、「自営業・自由業」77.7%と続く。

[インターネット利用開始時期別]では、利用歴の長い層ほど「自分自身で実施」する率は高く、利用歴の浅い層ほど「わからない」との回答が増える。また利用歴にかかわらず、一定の割合で「実施しない」人がいる。

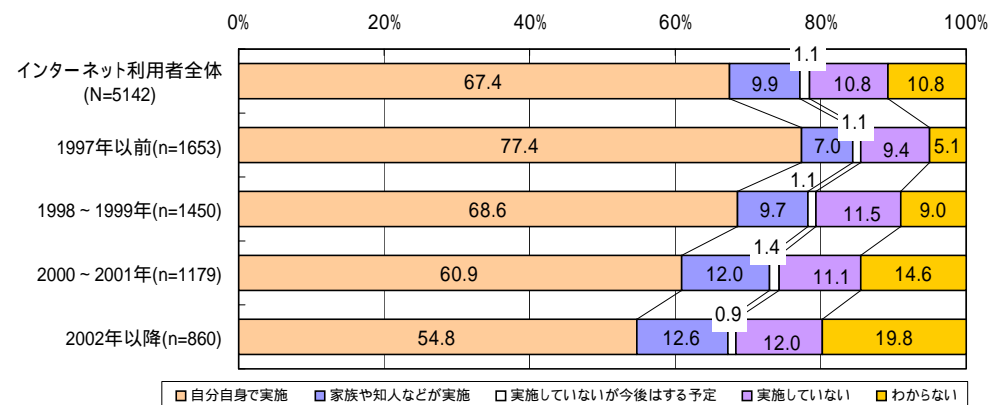
情報セキュリティ対策の実施状況

1.Windows Update等による更新 [職業別]



情報セキュリティ対策の実施状況

1.Windows Update等による更新 [インターネット利用開始時期別]



3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 2.セキュリティ対策ソフトの導入(1)

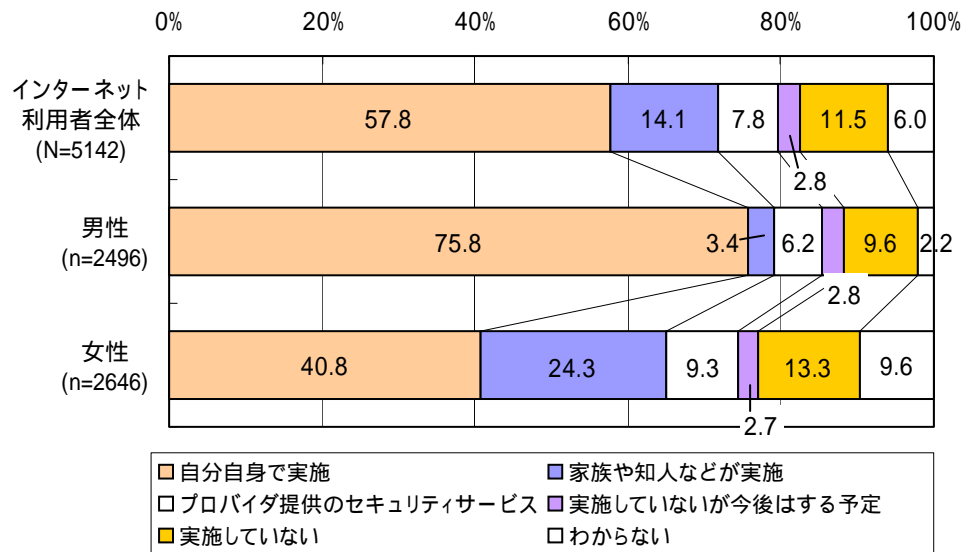
「セキュリティ対策ソフトの導入」については、最も多いのは「自分自身で実施」で57.8%、次いで「家族や知人などが実施」が14.1%、「プロバイダ提供のセキュリティサービス」が7.8%と、合わせて約8割の人が導入している。

[性別]では、「男性」は「自分自身で実施」が75.8%で「女性」より高い。「女性」は「家族や知人などが実施」が24.3%で「男性」より目立って高く、誰が実施するかは男女間で差がある。

[年代別]では、「10代」は「家族や知人が実施」が24.6%、「わからない」が18.5%、また「50代以上」は「プロバイダ等のセキュリティサービス」が12.4%で、それぞれ他の年代よりも高い。

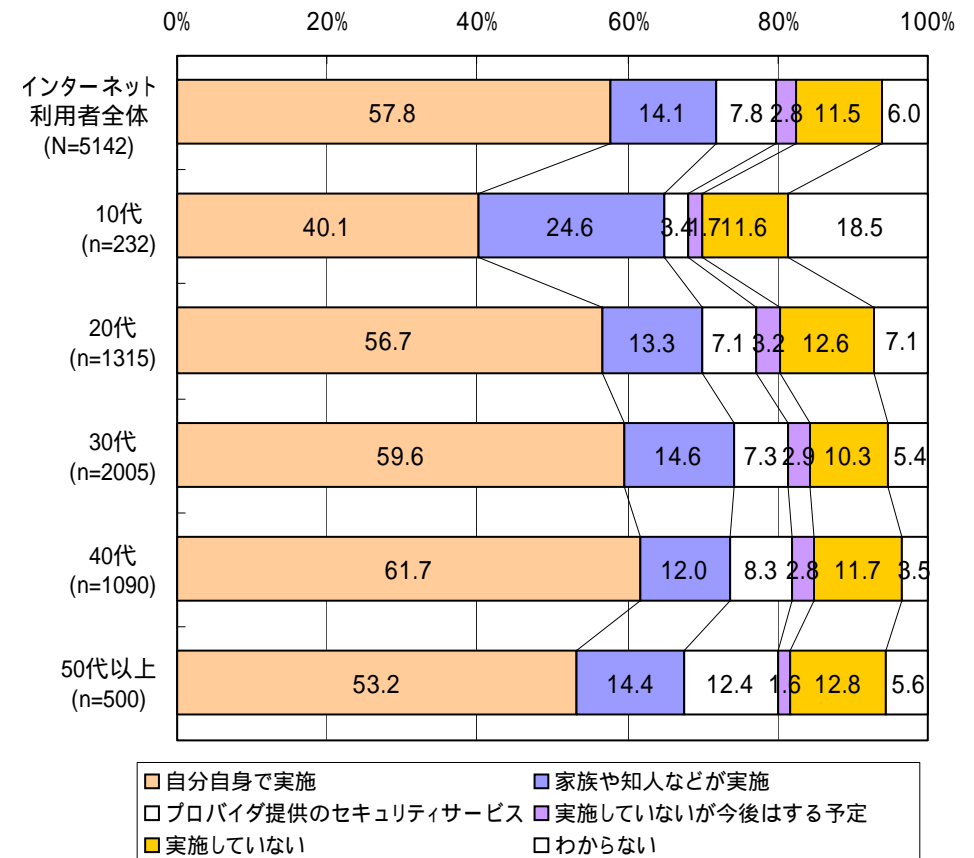
情報セキュリティ対策の実施状況

2.セキュリティ対策ソフトの導入 [回答者全体 / 性別]



情報セキュリティ対策の実施状況

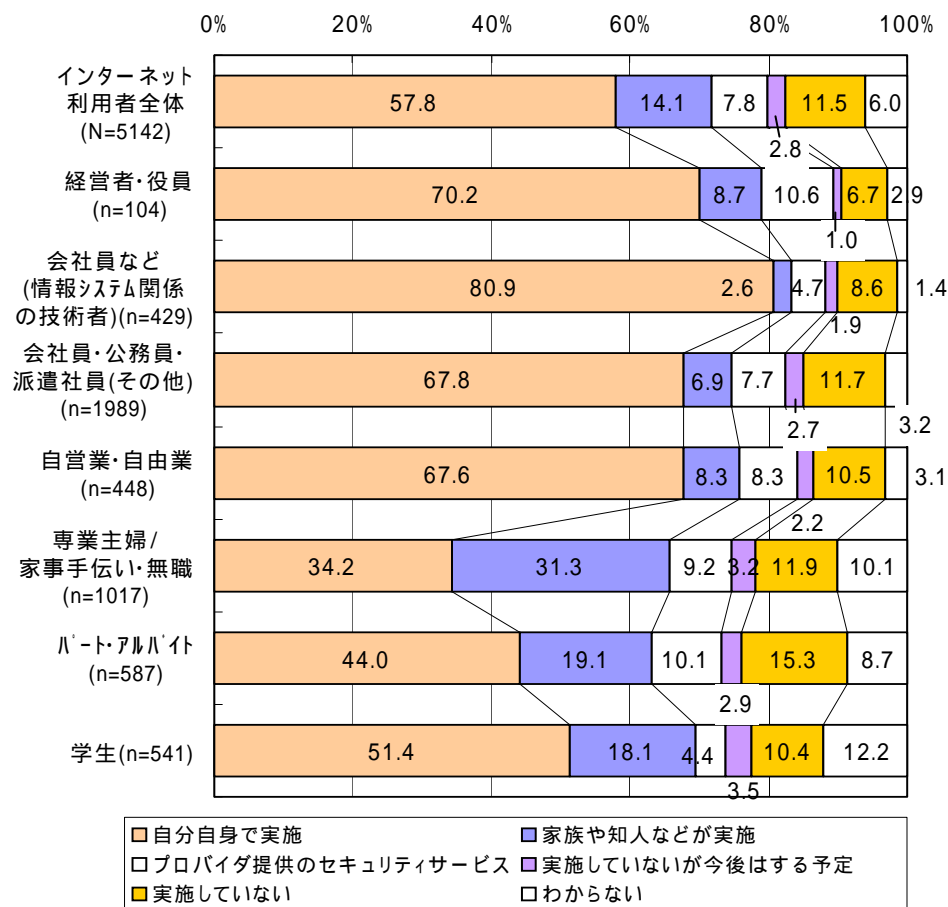
2.セキュリティ対策ソフトの導入 [年代別]



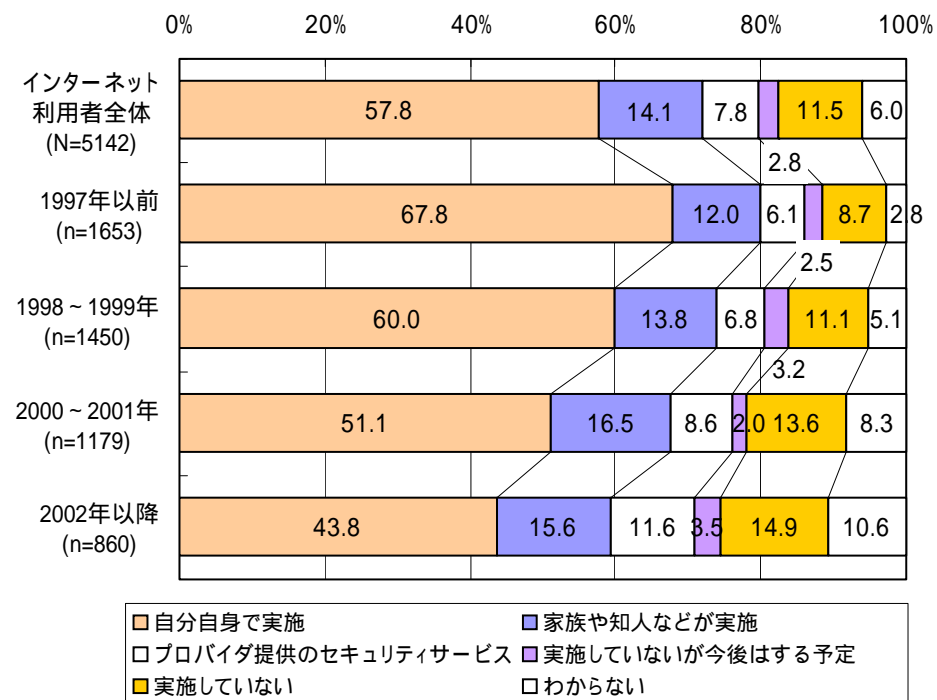
3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 2.セキュリティ対策ソフトの導入(2)

[職業別]では、経営者、会社員、自営業といったフルタイムワーカーの多い層では「自分自身で実施」する人が7割以上。何らかの形での実施率合計が最も高いのは「経営者・役員」、次いで「会社員(情報システム関係の技術者)」。
 [インターネット利用開始時期別]では、利用歴の浅い層ほど導入率が低く、特に「2002年以降」の層では14.9%、「2000～2001年」の層では13.6%が「実施していない」と回答している。

情報セキュリティ対策の実施状況
 2.セキュリティ対策ソフトの導入 [職業別]



情報セキュリティ対策の実施状況
 2.セキュリティ対策ソフトの導入 [インターネット利用開始時期別]



3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 3. パスワードの定期的な変更(1)

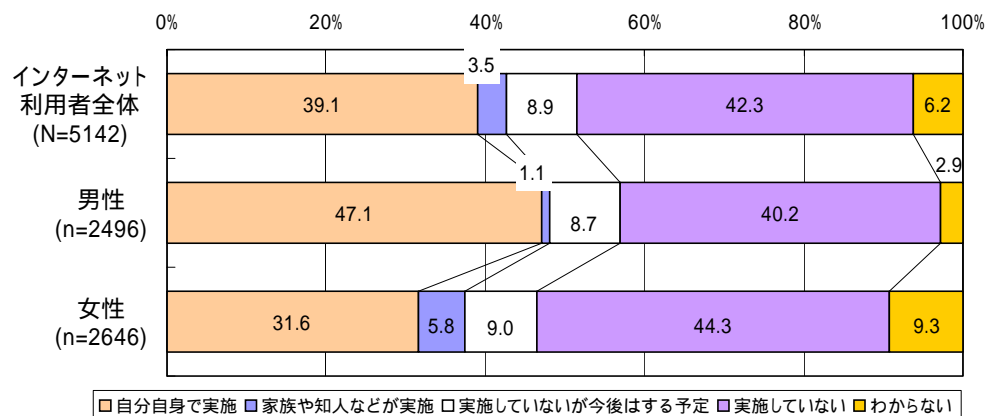
「パスワードの定期的な変更」については、最も多いのは「実施していない」の42.3%。何らかの形で実施しているのは計42.6%で、内訳は「自分自身で実施」(39.1%)、「家族や知人などが実施」(3.5%)。

[性別]では「女性」のほうが実施率が低く、半数以上が「実施していない」または「実施していないが今後はする予定」。

[年代別]では、「10代」は実施率が最低で、「わからない」も20.7%と目立つ。「50代以上」の実施率も比較的低い。

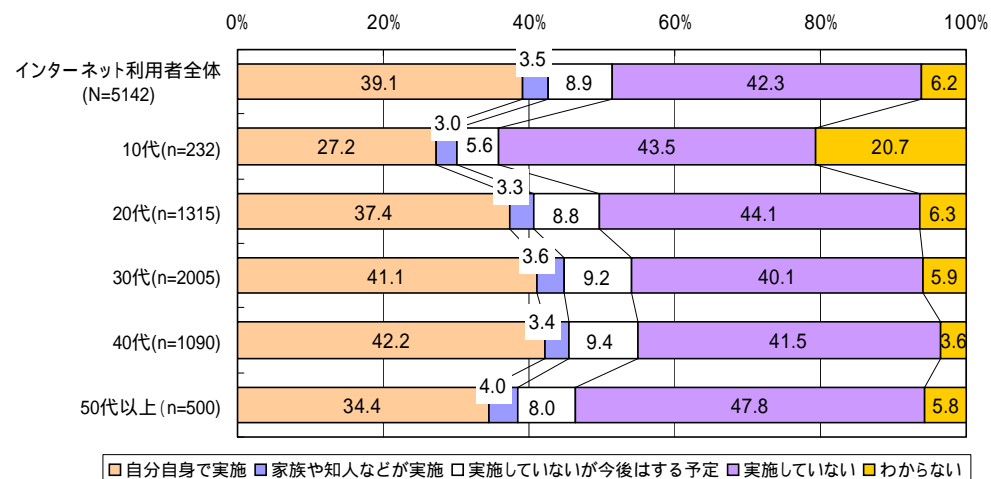
情報セキュリティ対策の実施状況

3.パスワードの定期的な変更 [回答者全体 / 性別]



情報セキュリティ対策の実施状況

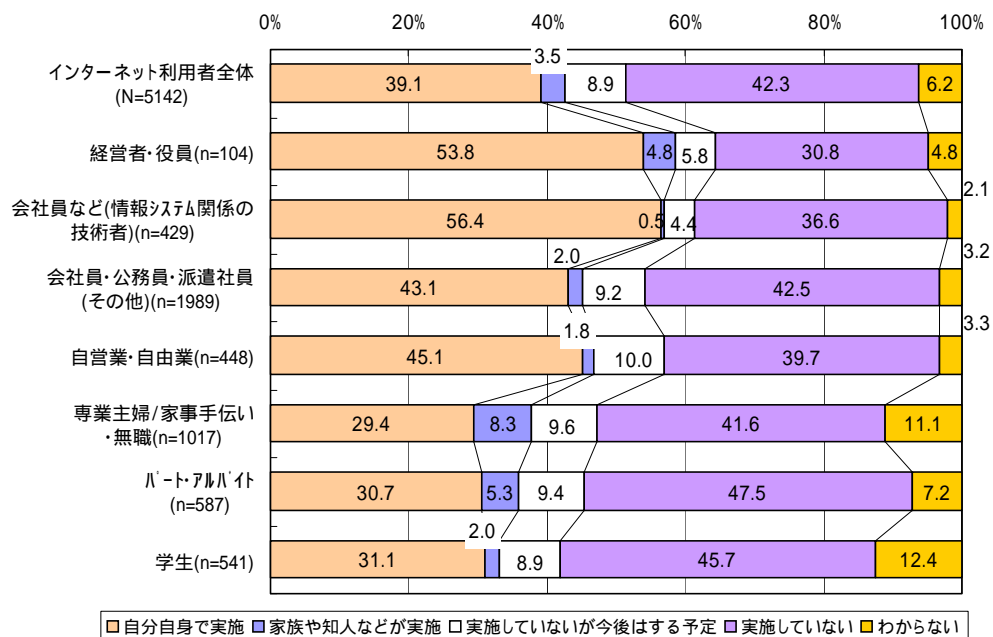
3.パスワードの定期的な変更 [年代別]



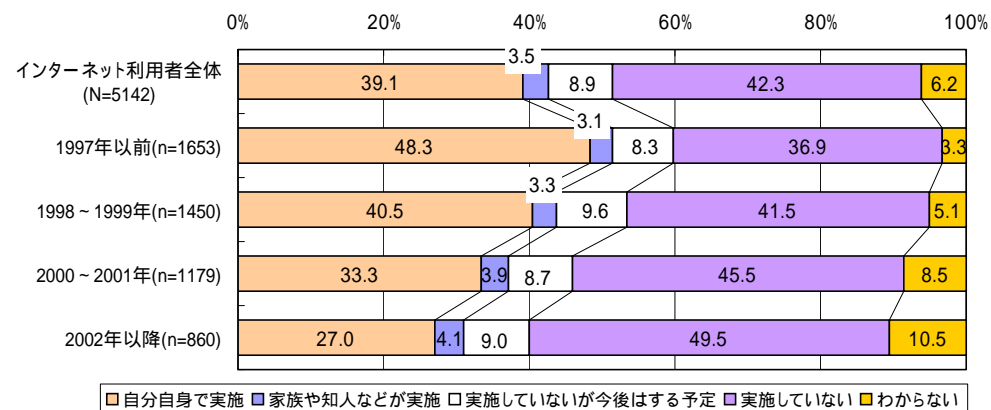
3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 3. パスワードの定期的な変更(2)

[職業別]では、実施率が高いのは「経営者・役員」で計58.6%、「会社員など(情報システム関係の技術者)」で計56.9%。実施率が低いのは「学生」で計33.1%、「パート・アルバイト」で計36.0%、「専業主婦/家事手伝い・無職」で計37.7%。
[インターネット利用開始時期別]では、利用歴の浅い層ほど実施率が低く、特に「2002年以降」の人は「自分自身で実施」が27.0%と低い。

情報セキュリティ対策の実施状況
3.パスワードの定期的な変更 [職業別]



情報セキュリティ対策の実施状況
3.パスワードの定期的な変更 [インターネット利用開始時期別]

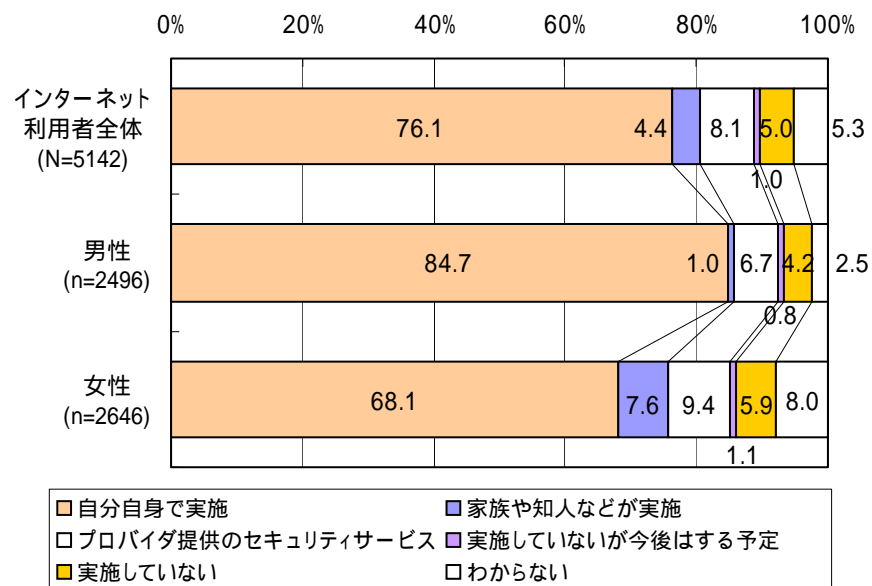


3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 4. 怪しい電子メール・添付ファイルの削除(1)

「怪しい電子メール・添付ファイルの削除」については、最も多いのは「自分自身で実施」で76.1%、「プロバイダ提供のセキュリティサービス」の利用が8.1%、「家族や知人などが実施」が4.4%と、何らかの形で実施している人は9割近く。
 [性別]では、何らかの形で実施している人は「男性」のほうが顕著に多い。
 [年代別]では、「10代」では「わからない」人が17.2%と、他の年代よりも目立って多い。

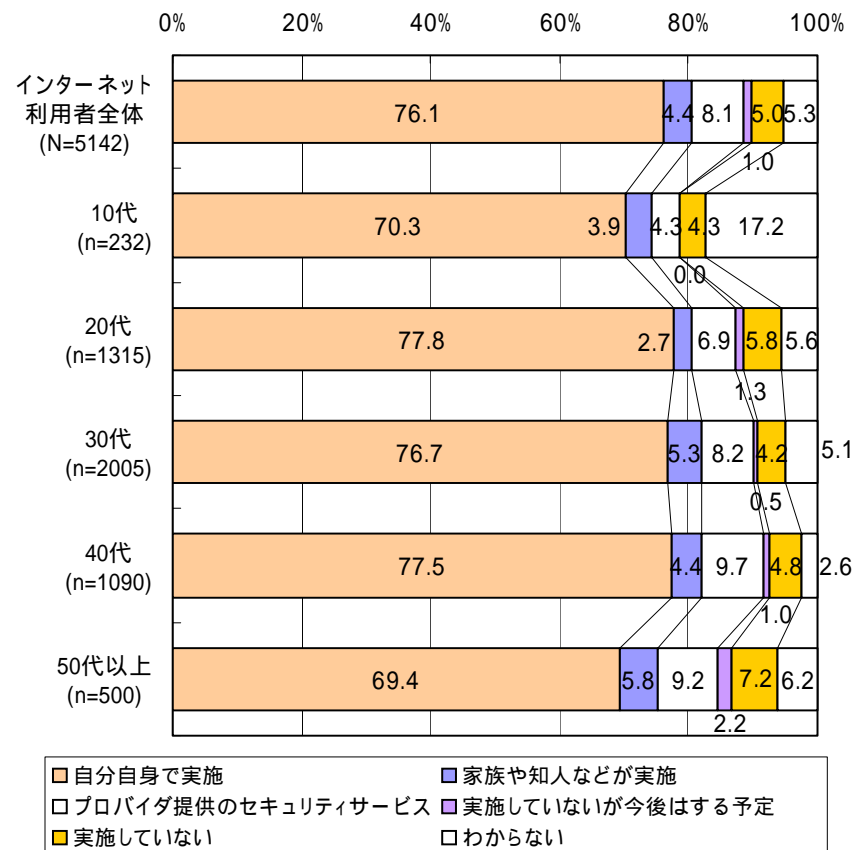
情報セキュリティ対策の実施状況

4. 怪しい電子メール・添付ファイルの削除 [回答者全体 / 性別]



情報セキュリティ対策の実施状況

4. 怪しい電子メール・添付ファイルの削除 [年代別]



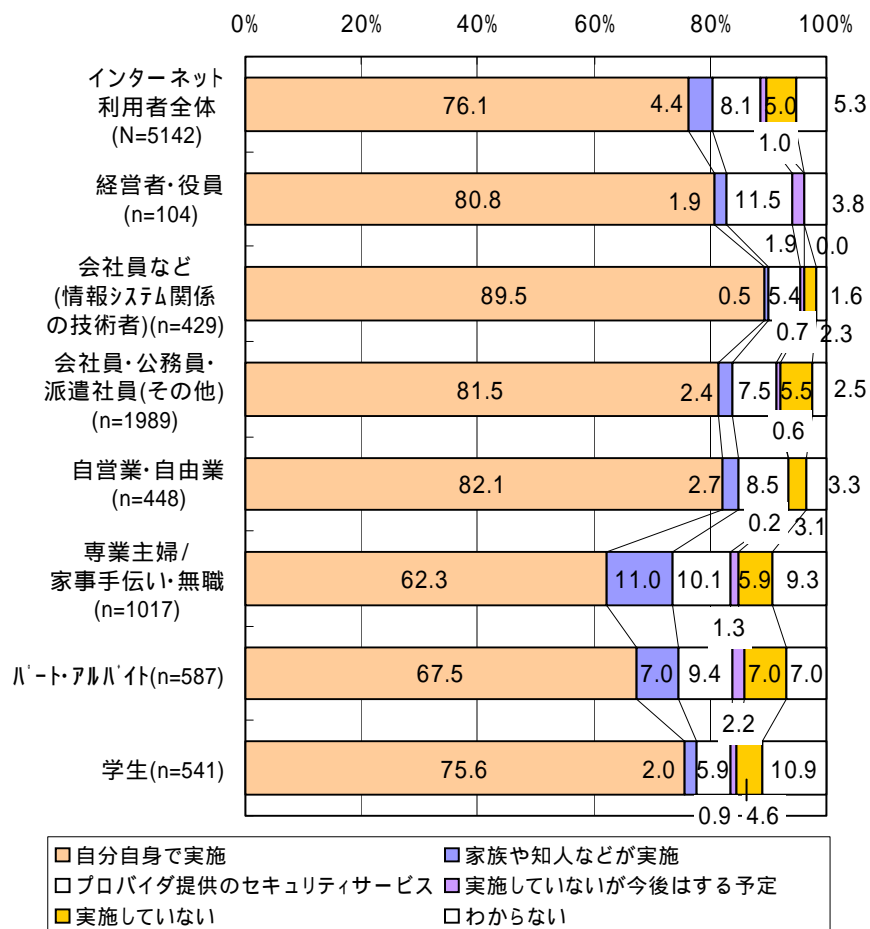
3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 4. 怪しい電子メール・添付ファイルの削除(2)

[職業別]では、「会社員(情報システム関係の技術者)」のほぼ9割が「自分自身で実施」。どの職業でも、計8割以上が何らかの形で実施している。

[インターネット利用開始時期別]では、利用歴の浅い層ほど実施率は低いが、「プロバイダ提供のセキュリティサービス」の利用率は利用歴の浅い層ほど高い。

情報セキュリティ対策の実施状況

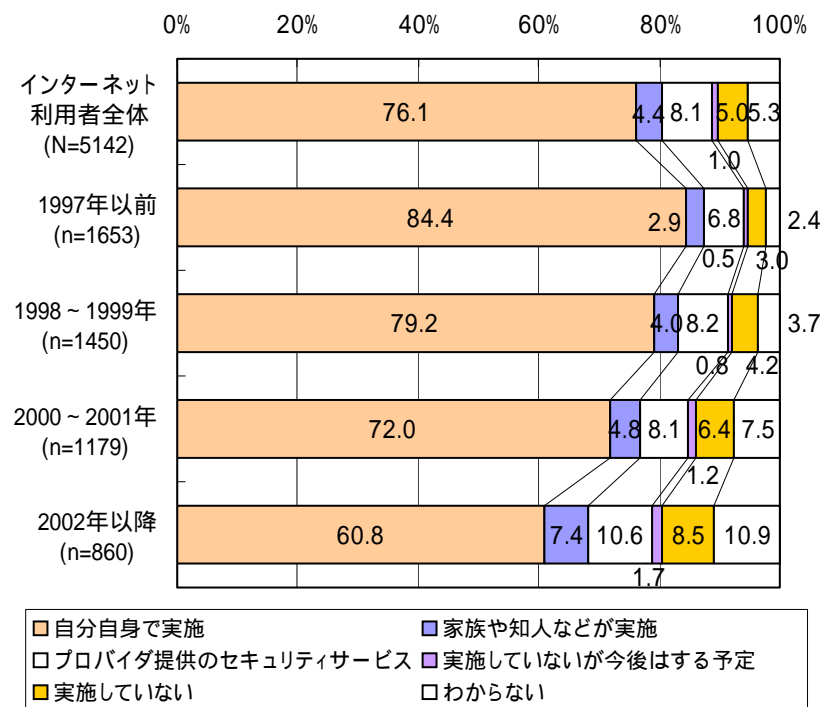
4. 怪しい電子メール・添付ファイルの削除 [職業別]



情報セキュリティ対策の実施状況

4. 怪しい電子メール・添付ファイルの削除

[インターネット利用開始時期別]

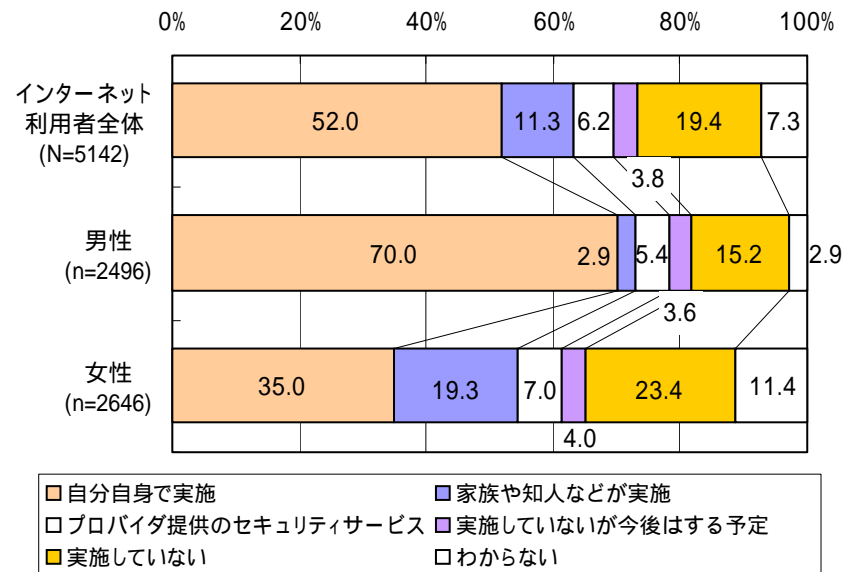


3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 5. セキュリティ関連情報の収集(1)

「セキュリティ情報の収集」については、最も多いのは「自分自身で実施」で52.0%、次いで「家族や知人などが実施」が11.3%、「プロバイダ提供のセキュリティサービス」の利用が6.2%と、何らかの形で実施している人は約7割。
 [性別]による差が大きく、「自分自身で実施」する人は「男性」が70.0%、「女性」が35.0%と、2倍の開きがある。
 [年代別]では、「40代」が最も積極的に情報収集を行っている。また「10代」は、他の年代と比べて「自分自身で実施」が少なく「わからない」が多い。

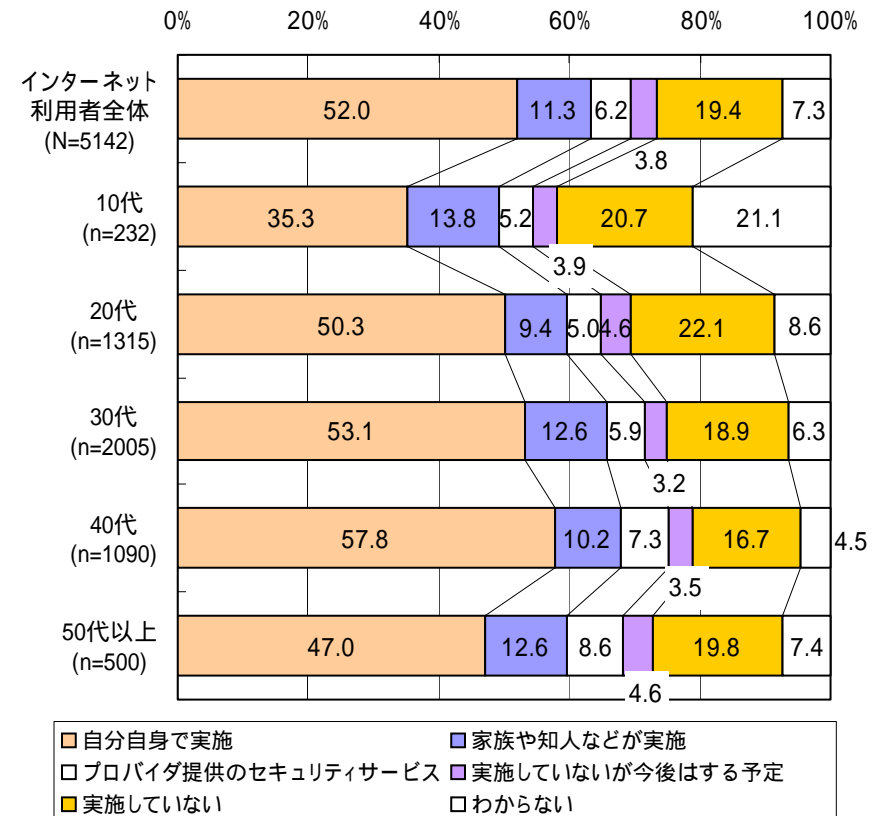
情報セキュリティ対策の実施状況

5.セキュリティ関連情報の収集 [回答者全体 / 性別]



情報セキュリティ対策の実施状況

5.セキュリティ関連情報の収集 [年代別]

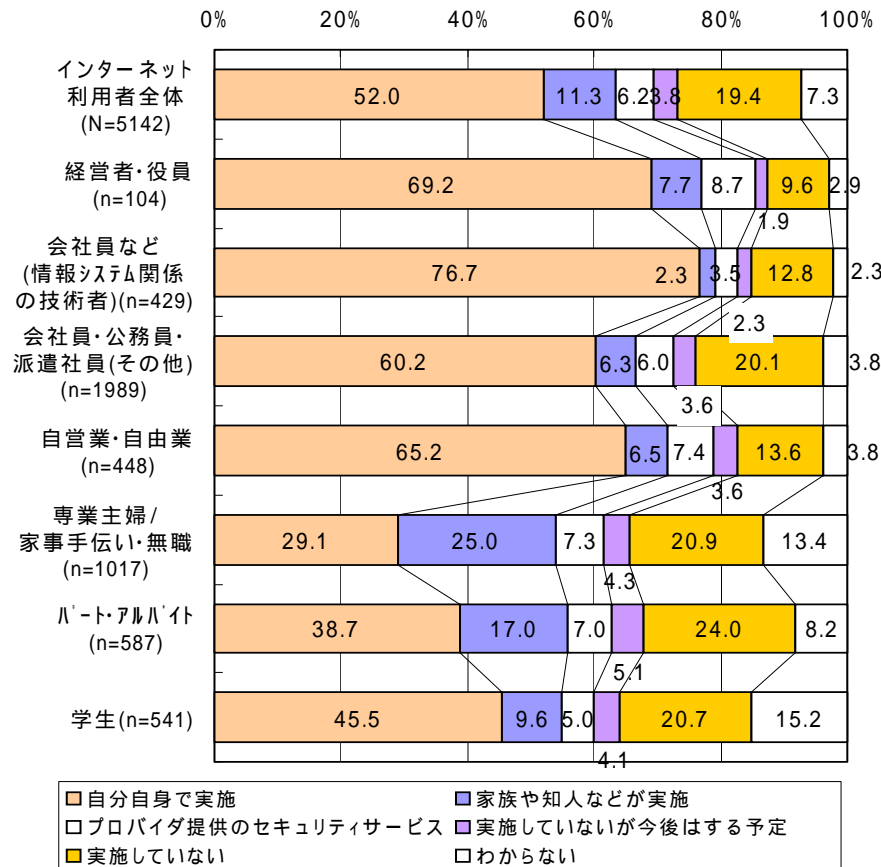


3.2.1. 情報セキュリティ対策の実施状況 5. セキュリティ関連情報の収集(2)

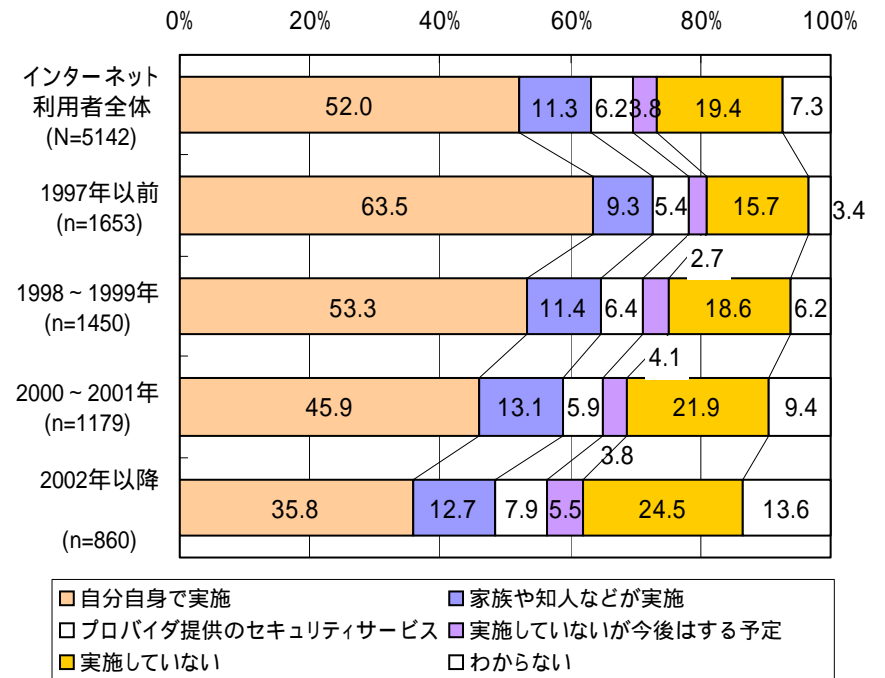
[職業別]では、何らかの形での実施率合計が最も高いのは「経営者・役員」。「自分自身で実施」する割合が最も高いのは「会社員など(情報システム関係の技術者)」(76.7%)、最も低いのは「専業主婦/家事手伝い・無職」(29.1%)。仕事の内容が実施状況に大きく影響すると考えられる。

[インターネット利用開始時期別]では、「1997年以前」では63.5%が「自分自身で実施」しているのに対し、「2002年以降」では35.8%と、大きな差がある。ネット利用歴が長い層ほど、何らかの形で実施している人が多い。

情報セキュリティ対策の実施状況
5.セキュリティ関連情報の収集 [職業別]



情報セキュリティ対策の実施状況
5.セキュリティ関連情報の収集 [インターネット利用開始時期別]



3.2.2. 利用するセキュリティ対策ソフト(1)

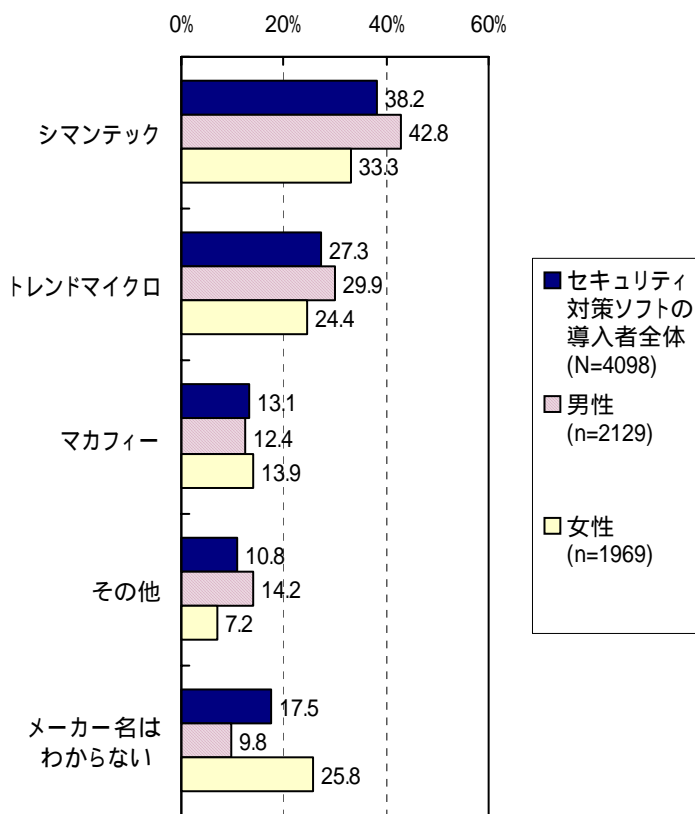
セキュリティ対策ソフト導入者全員に、利用するセキュリティ対策ソフトのメーカーをすべて選んでもらった。最も多いのは「シマンテック」で38.2%、次いで「トレンドマイクロ」が27.3%、「マカフィー」は13.1%となった。自由回答を見ると、AVGなどのフリーソフト、ソースネクスト等の利用も目立った。

[性別]では、利用するメーカーに大きな差はないが、「女性」は「メーカー名がわからない」人が25.8%と目立って多い。

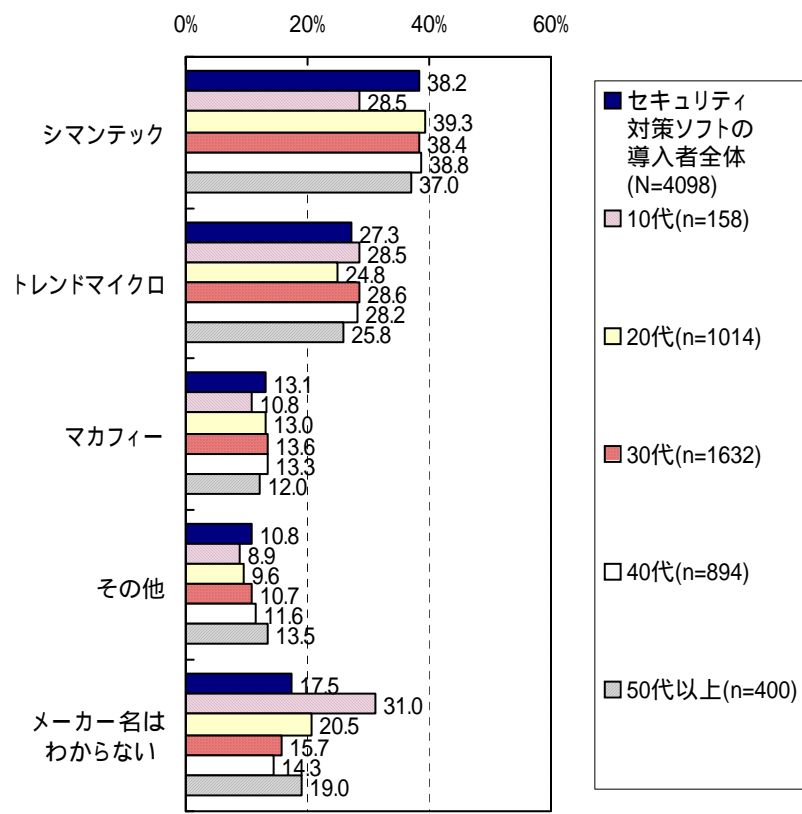
[年代別]では、「10代」は「メーカー名がわからない」人が31.0%と顕著に高く、購入時にデフォルトで入っていたソフトをそのまま利用しているケースや、廉価なソフトを利用しているなどの可能性が考えられる。

利用するセキュリティ対策ソフト

[セキュリティ対策ソフト導入者全体 / 性別] (複数回答)



利用するセキュリティ対策ソフト[年代別] (複数回答)



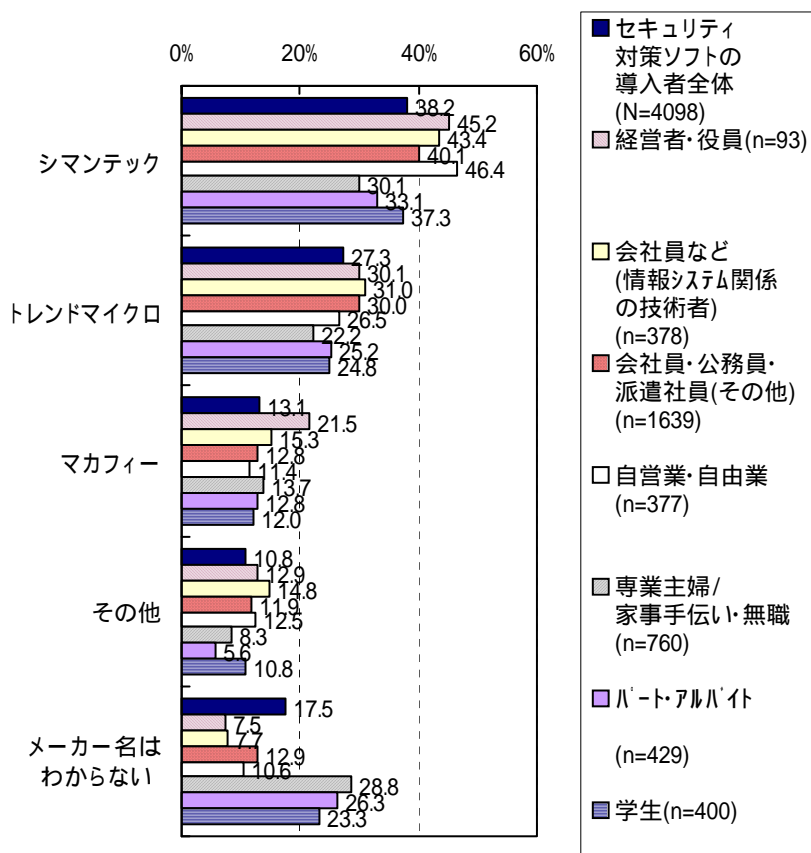
3.2.2. 利用するセキュリティ対策ソフト(2)

[職業別]では、「経営者・役員」は、「マカフィー」の利用率が21.5%と、他の職業の人より高い。「シマンテック」は、フルタイムワーカーの多い層による利用が多い。

[インターネット利用開始時期別]では大きな差はないが、利用歴の最も浅い「2002年以降」の層は、他の層と比べて「トレンドマイクロ」の利用率が大幅に低く、「マカフィー」の利用率が若干高い。

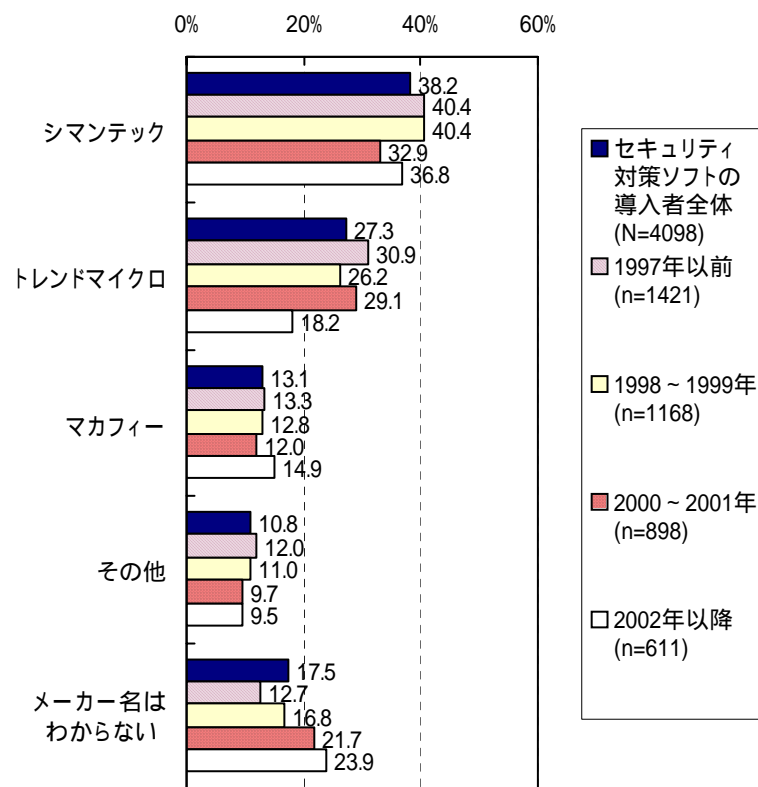
利用するセキュリティ対策ソフト

[職業別] (複数回答)



利用するセキュリティ対策ソフト

[インターネット利用開始時期別] (複数回答)

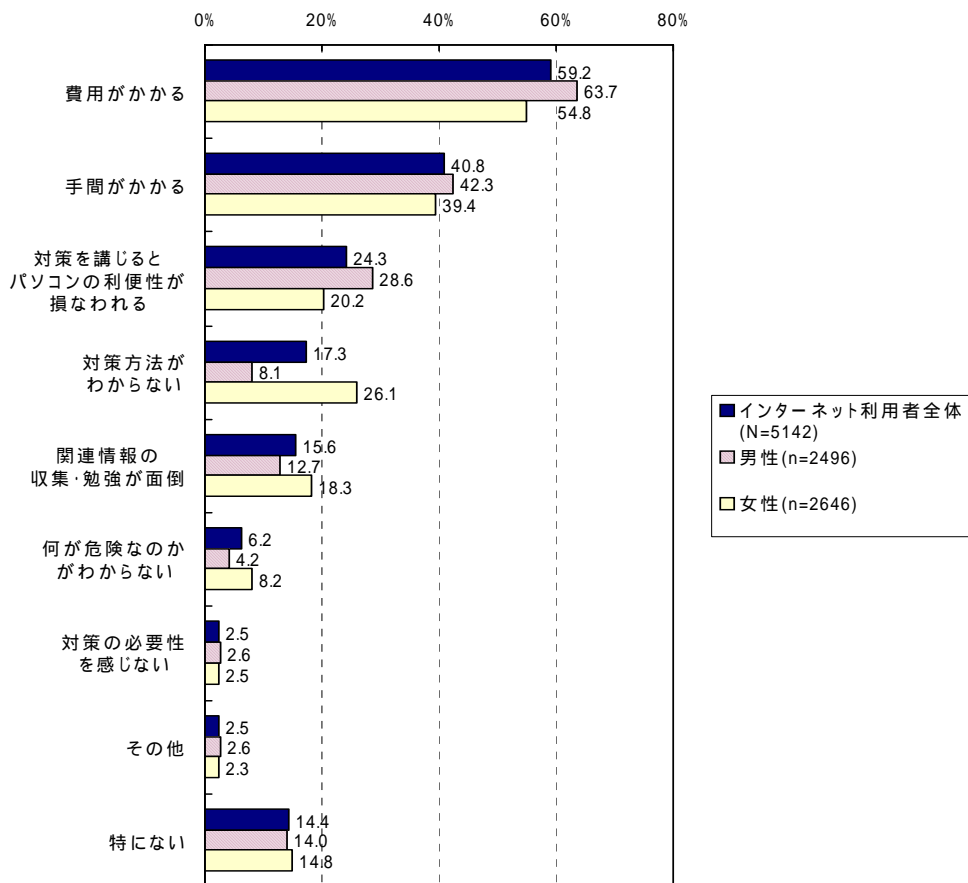


3.2.3. 情報セキュリティ対策に関する意識(1)

回答者全員に、情報セキュリティ対策に対して負担に感じること、および対策を実施しない理由の具体的な事例を示し、当てはまるものをすべて選んでもらった。「費用がかかる」が59.2%と最も高く、「手間がかかる」が40.8%と続いた。
 [性別]では、「パソコンの利便性が損なわれる」は「男性」のほうが28.6%と高く、「対策方法がわからない」は「女性」のほうが26.1%と大幅に高い。
 [インターネット利用開始時期別]では、利用歴の浅い層ほど「対策方法がわからない」、「何が危険なのかがわからない」との回答が目立った。

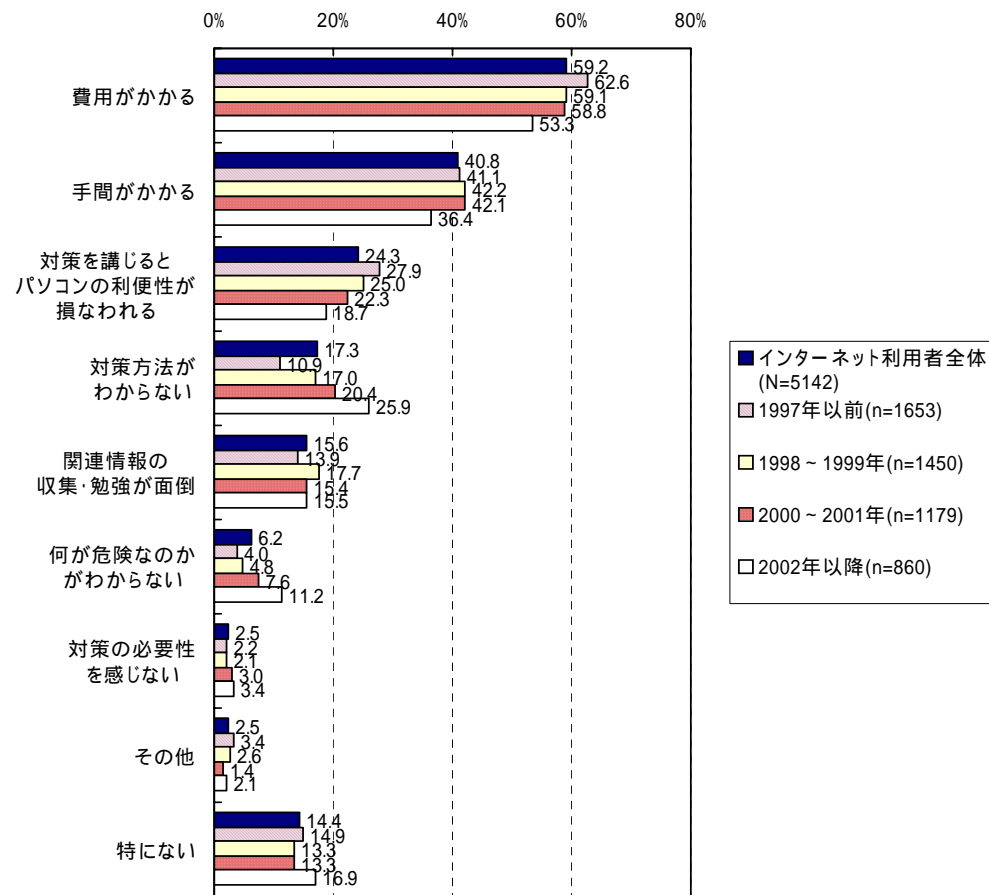
情報セキュリティ対策に関する意識

[回答者全体/性別] (複数回答)



情報セキュリティ対策に関する意識

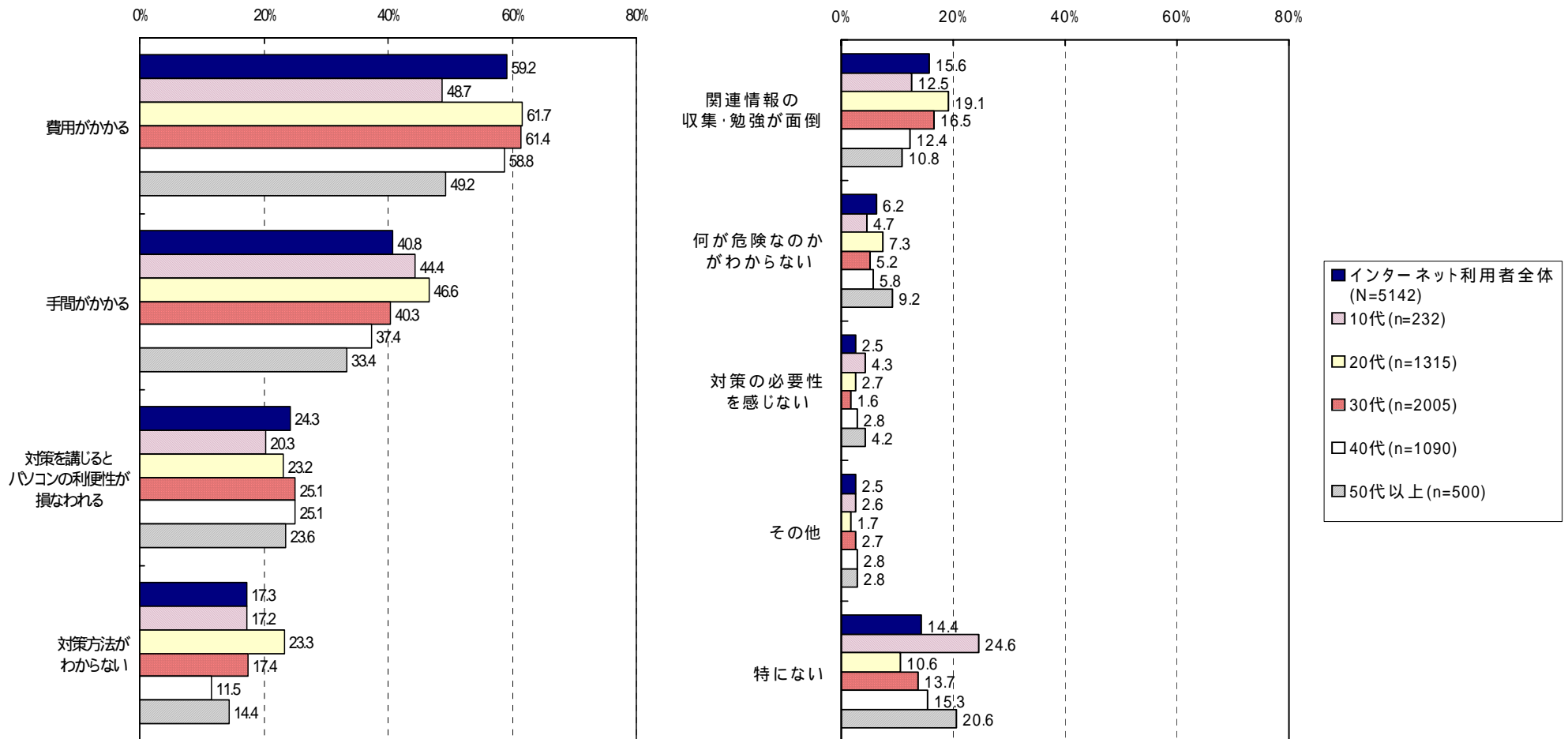
[インターネット利用開始時期別] (複数回答)



3.2.3. 情報セキュリティ対策に関する意識(2)

[年代別]では、「10代」では「特にない」が24.6%で全年代の中で最も高い。「10代」はセキュリティ対策や被害遭遇時の対処を自分で実施する人の割合が低いため(項3.2.1.と項3.2.4.を参照)、対策への関心自体が薄いと推測される。

情報セキュリティ対策に関する意識
[年代別] (複数回答)

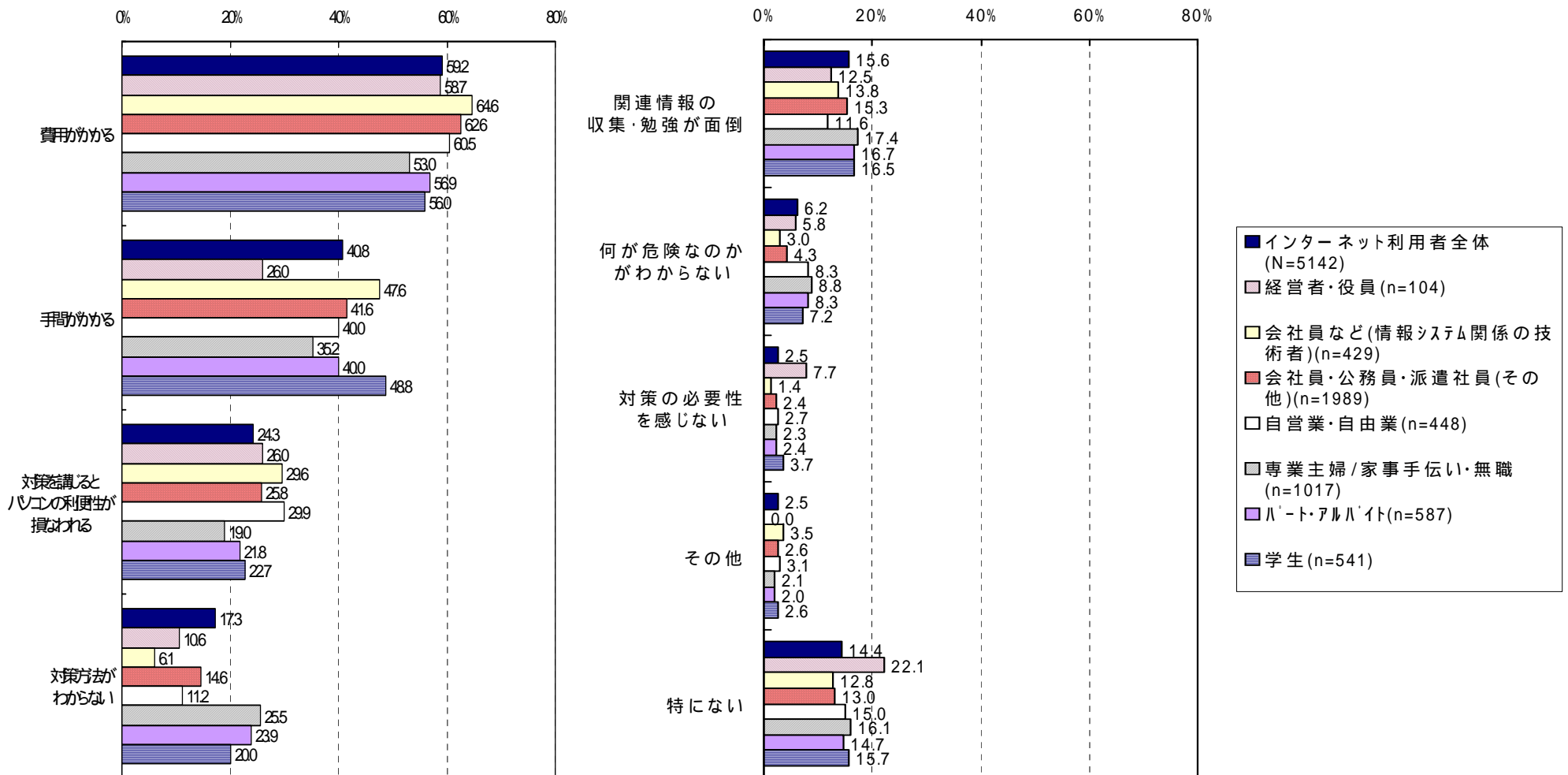


3.2.3. 情報セキュリティ対策に関する意識(3)

[職業別]では、「費用がかかる」と感じている人がどの職業でも半数以上。「専業主婦/家事手伝い・無職」、「パート・アルバイト」、および「学生」は、「対策方法がわからない」が他の職業の人よりも多い。

情報セキュリティ対策に関する意識

[職業別] (複数回答)



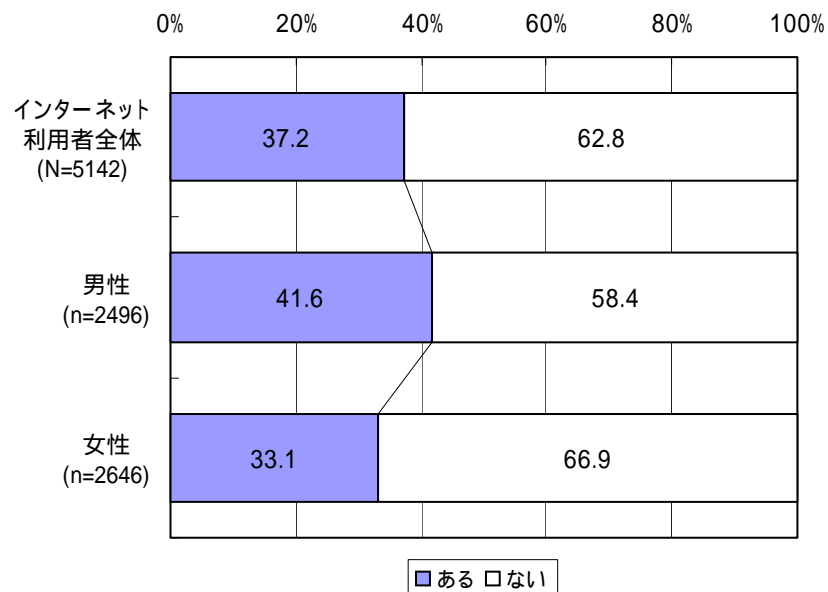
3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 1. 被害経験の有無(1)

回答者全員に、プライベートにおいてパソコンでインターネットを利用する際にセキュリティ関連の被害に遭遇したことがあるかどうかを尋ねた。被害経験が「ある」は37.2%、「ない」は62.8%であった。

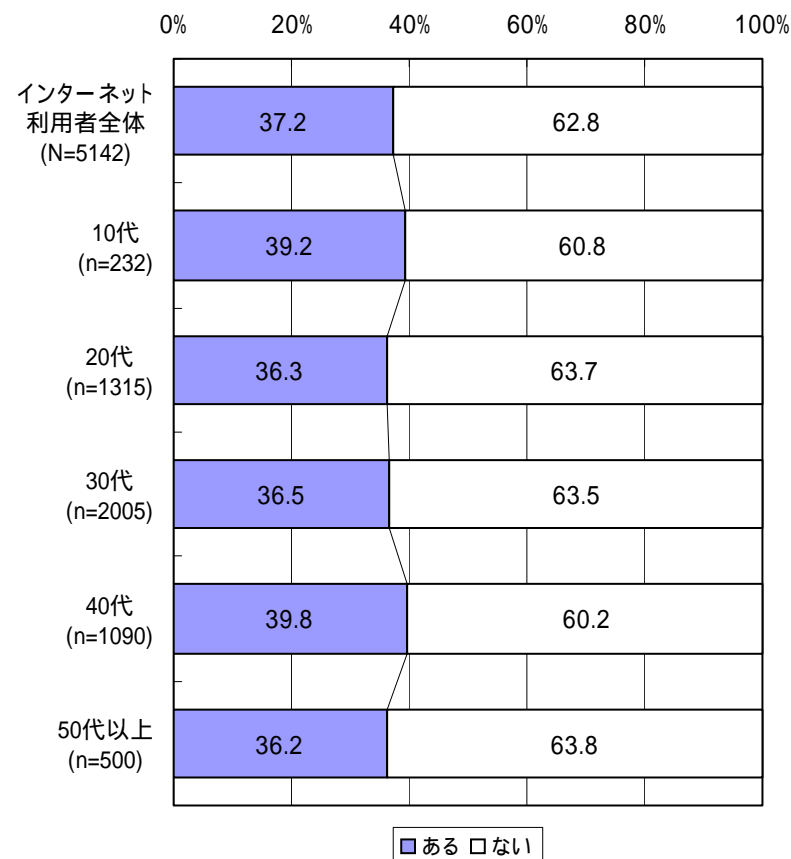
[性別]では、「男性」で被害経験が「ある」のは41.6%で、「女性」よりもやや多い。

[年代別]では、大きな差は見られない。

情報セキュリティ被害経験
1.被害経験の有無 [回答者全体 / 性別]



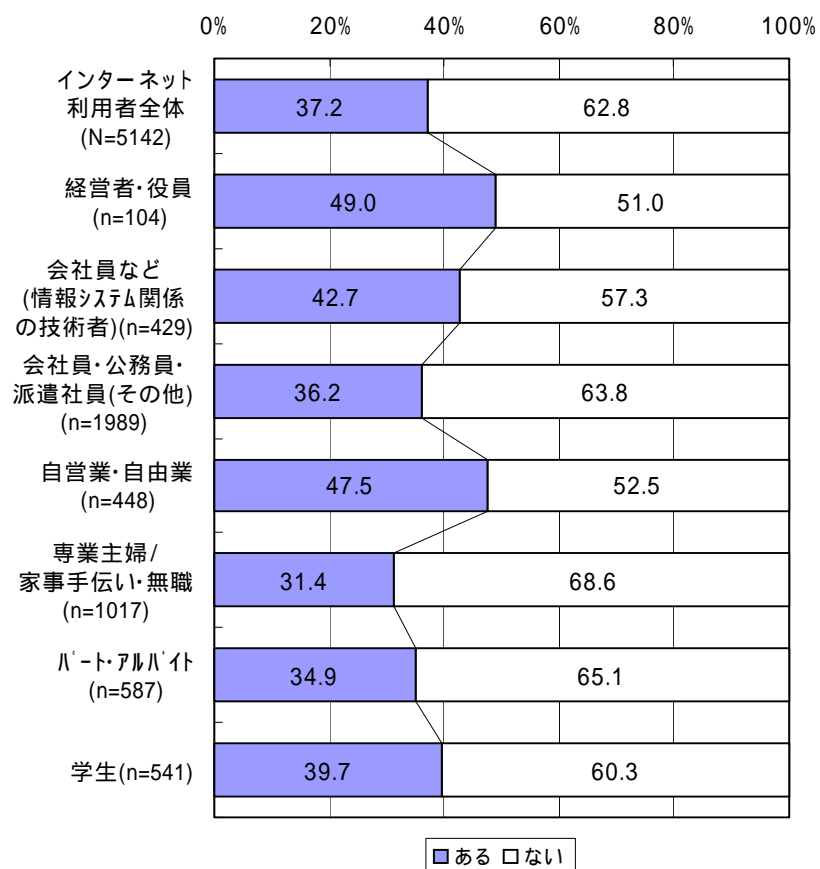
情報セキュリティ被害経験
1.被害経験の有無 [年代別]



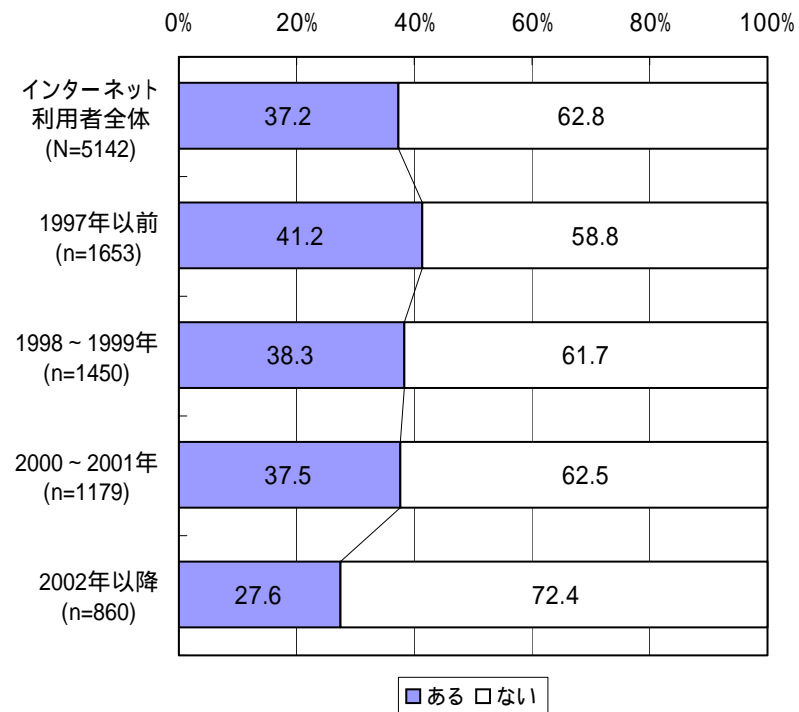
3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 1. 被害経験の有無(2)

[職業別]では、最も多いのが「経営者・役員」が49.0%、次いで「自営業・自由業」が47.5%と、それぞれ半数近い。
 [インターネット利用開始時期別]では、利用歴の長い人ほど被害経験率が若干高い。「2002年以降」の層の72.4%は被害にあったことがない。

情報セキュリティ被害経験
 1.被害経験の有無 [職業別]



情報セキュリティ被害経験
 1.被害経験の有無 [インターネット利用開始時期別]



3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 2. 被害の内容(1)

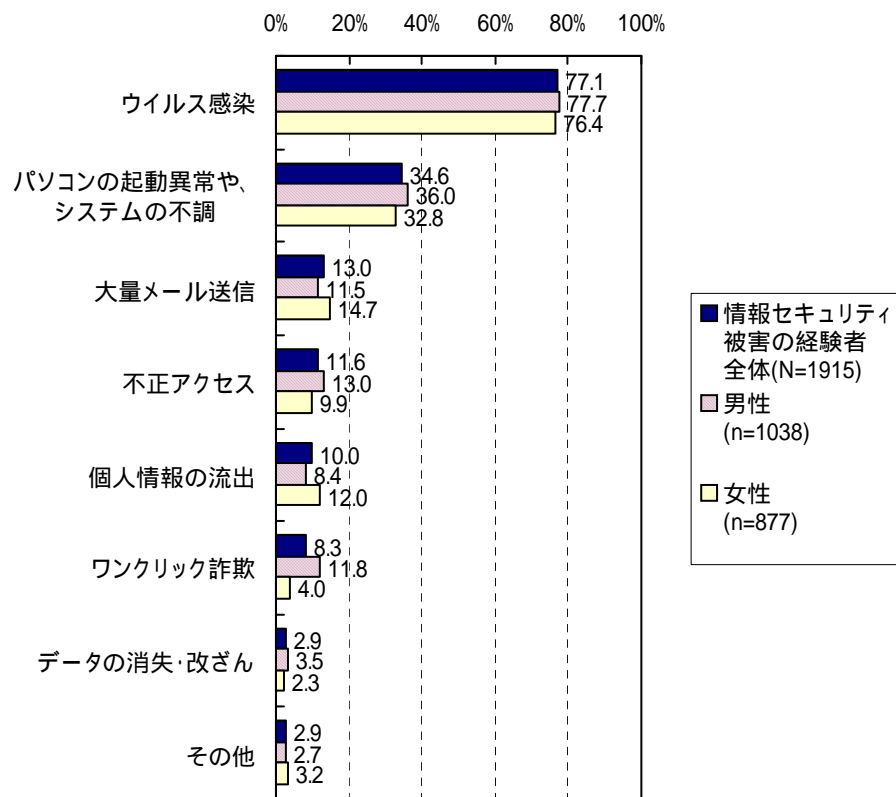
情報セキュリティ被害の経験者全員に具体的な被害内容を提示し、経験したことがある項目をすべて選んでもらった。最も多いのは「ウイルス感染」で77.1%、次いで「パソコンの起動異常や、システムの不調」が34.6%。

[性別]では、ほとんどの項目で大きな差はないが、「ワンクリック詐欺」による被害は「男性」では11.8%で、「女性」の3倍近い。

[年代別]では、「10代」は「ウイルス感染」経験者が91.2%、「50代以上」は「不正アクセス」経験者が20.4%と、それぞれ他の年代より高い。

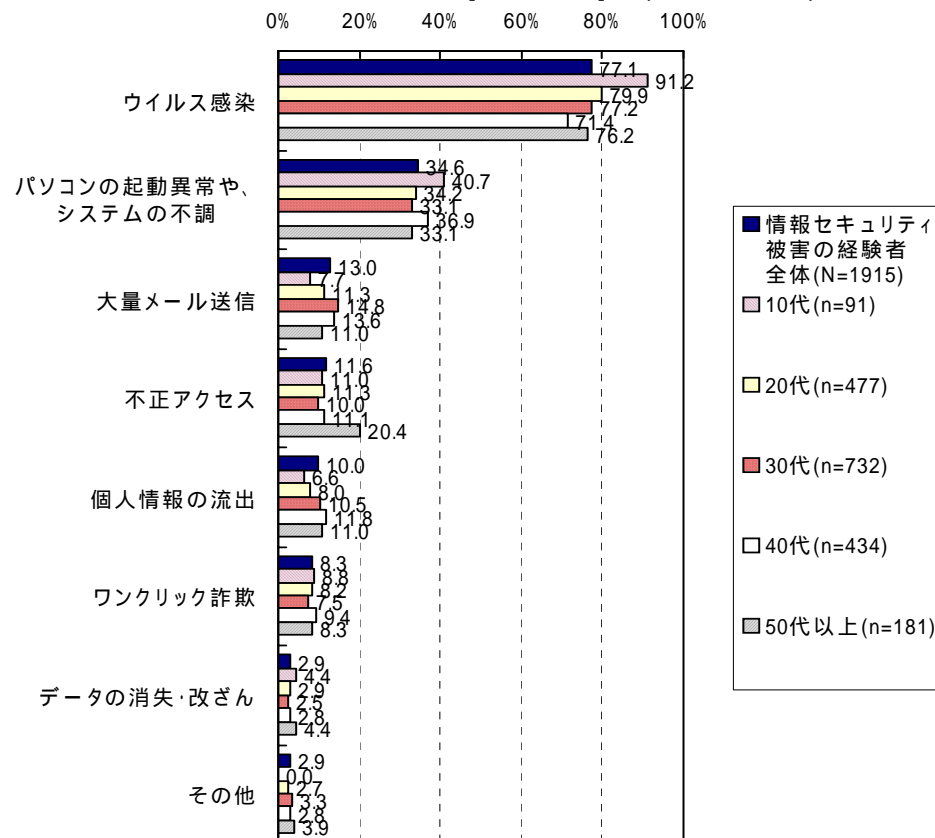
情報セキュリティ被害経験

2.被害の内容 [回答者全体 / 性別] (複数回答)



情報セキュリティ被害経験

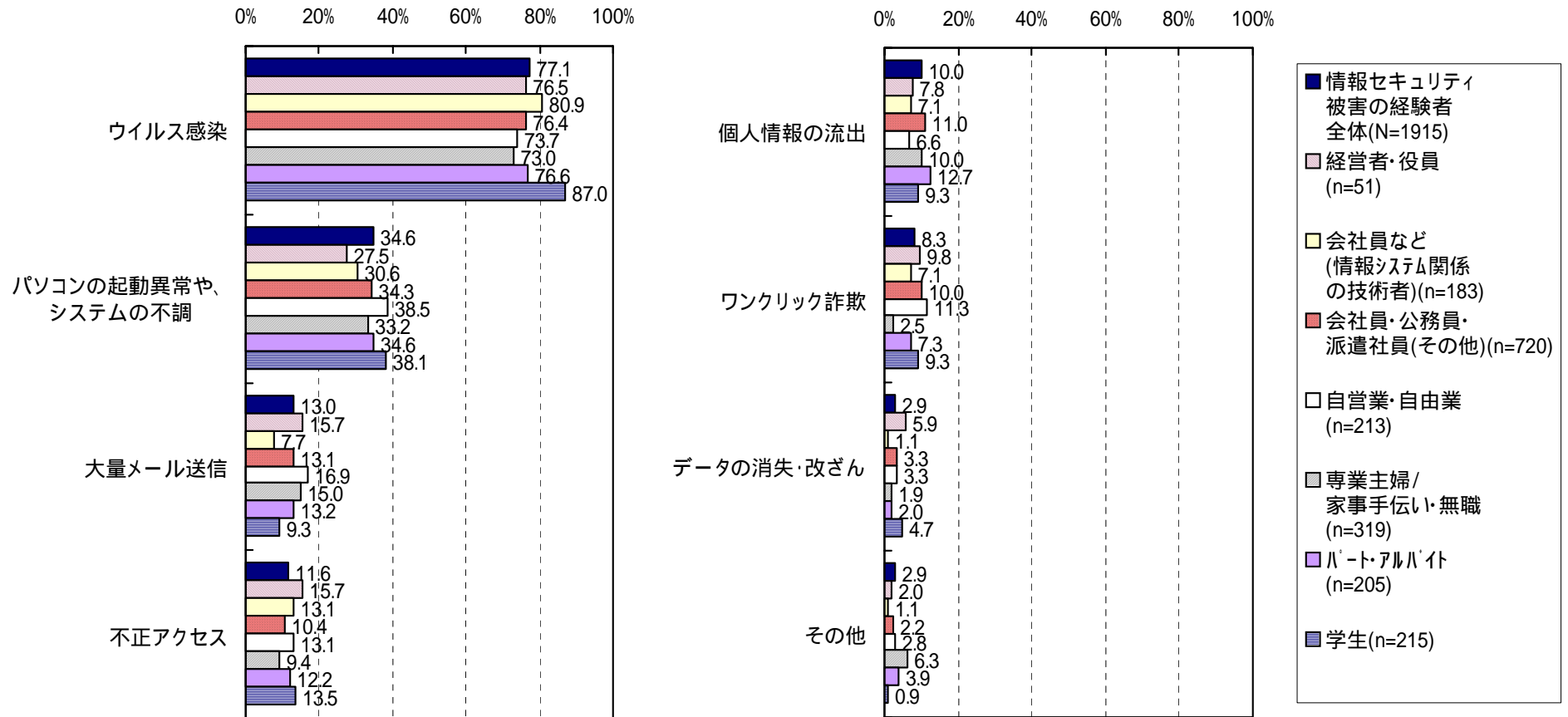
2.被害の内容 [年代別] (複数回答)



3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 2. 被害の内容(2)

[職業別]では、どの職業でも「ウイルス感染」の被害経験が高く、特に「学生」は87.0%と、最も高い。

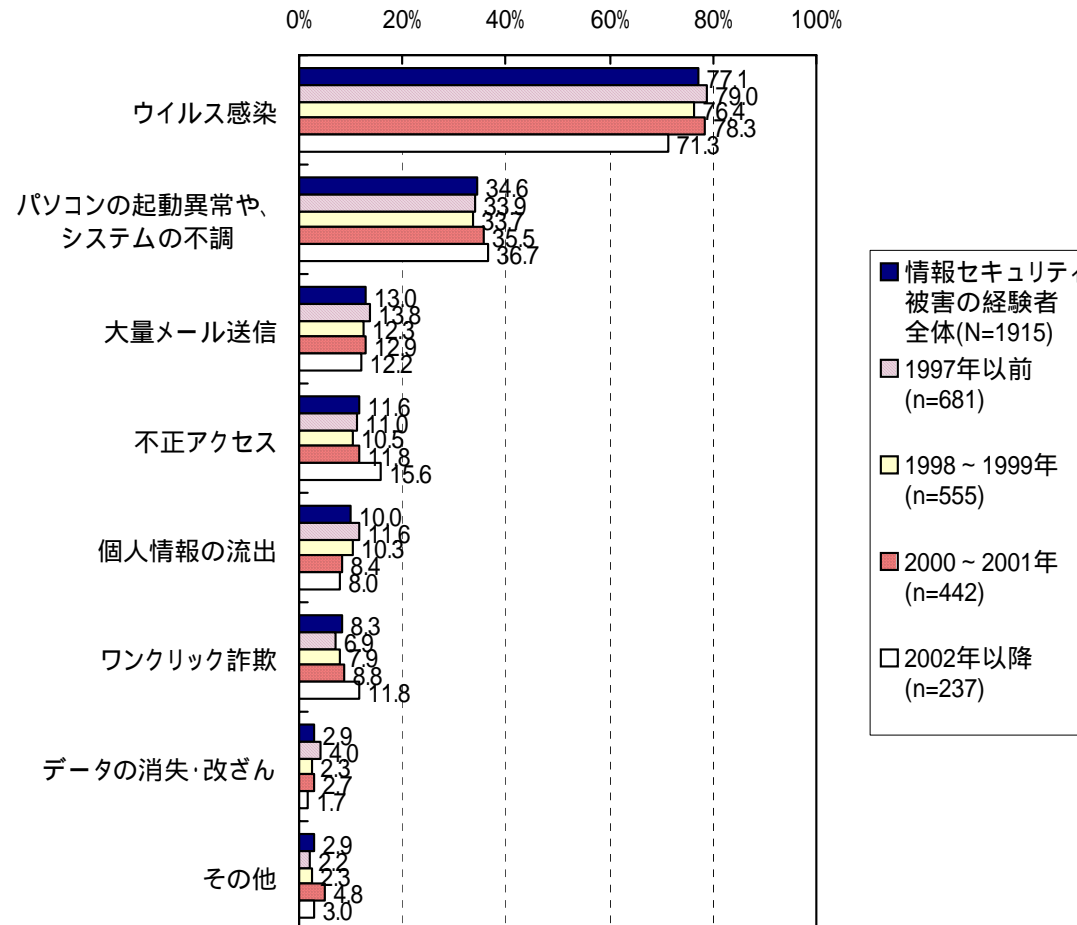
情報セキュリティ被害経験
2.被害の内容 [職業別] (複数回答)



3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 2. 被害の内容(3)

[インターネット利用開始時期別]では、時期による大きな差は見られない。利用歴の浅い層は被害経験者が比較的少ないにもかかわらず、「ワンクリック詐欺」による被害は「2002年以降」が11.8%と最も高い。

情報セキュリティ被害経験
2.被害の内容 [インターネット利用開始時期別] (複数回答)



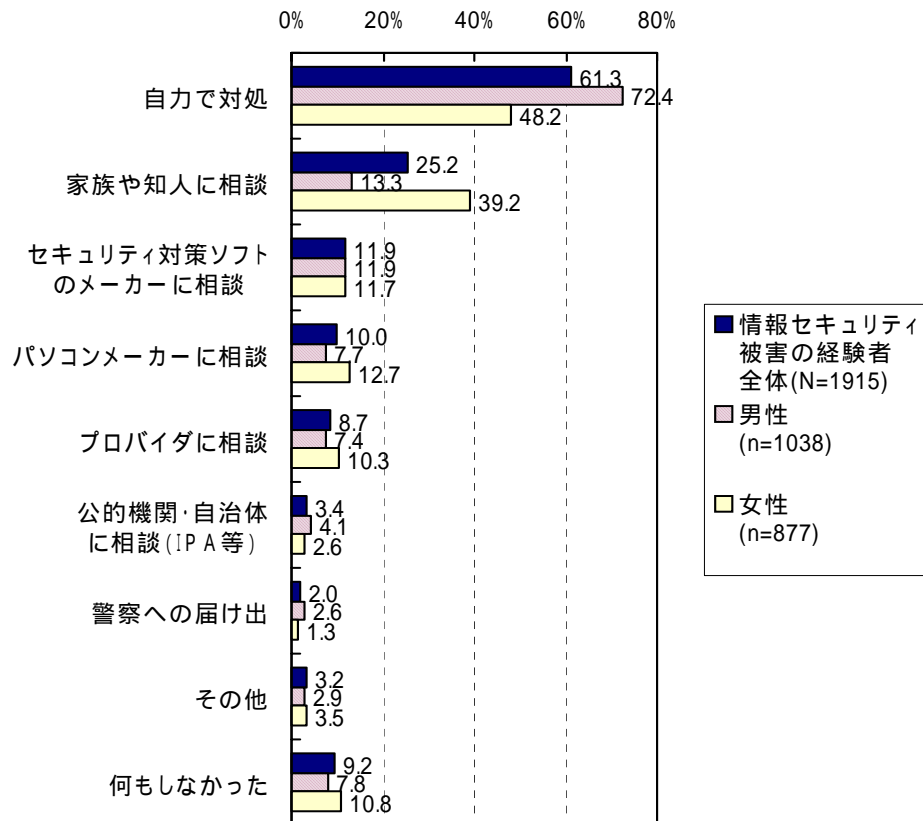
3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 3. 被害時の対処方法(1)

情報セキュリティ被害の経験者全員に被害時の対処方法を提示し、自分が行ったことをすべて選んでもらった。「自力で対処」が61.3%、「家族や知人に相談」が25.2%と高い。またメーカーやプロバイダへの相談はそれぞれ1割程度。

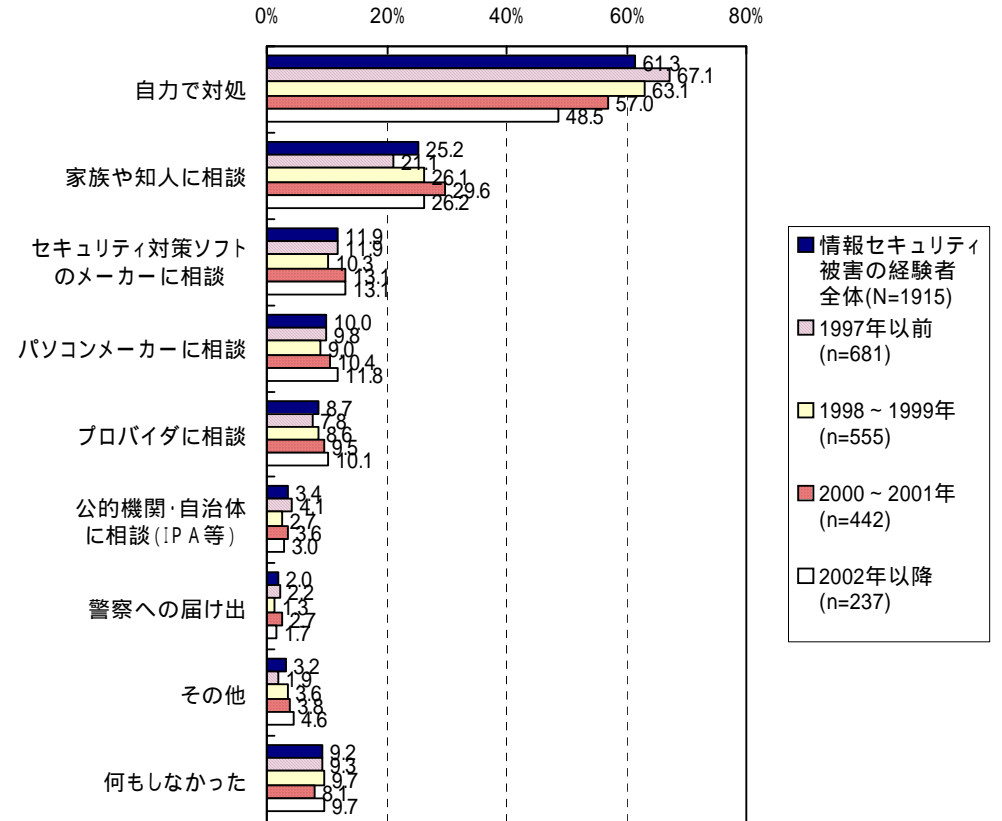
[性別]では、「男性」は「自力で対処」するが72.4%で「女性」よりも大幅に高い。一方、「女性」は「家族や知人に相談」する人が39.2%で「男性」の約3倍。

[インターネット利用開始時期別]では、利用歴の長い層ほど「自力で対処」する人の割合が高い。

情報セキュリティ被害経験
3.被害時の対処方法 [情報セキュリティ被害の経験者全体/性別] (複数回答)



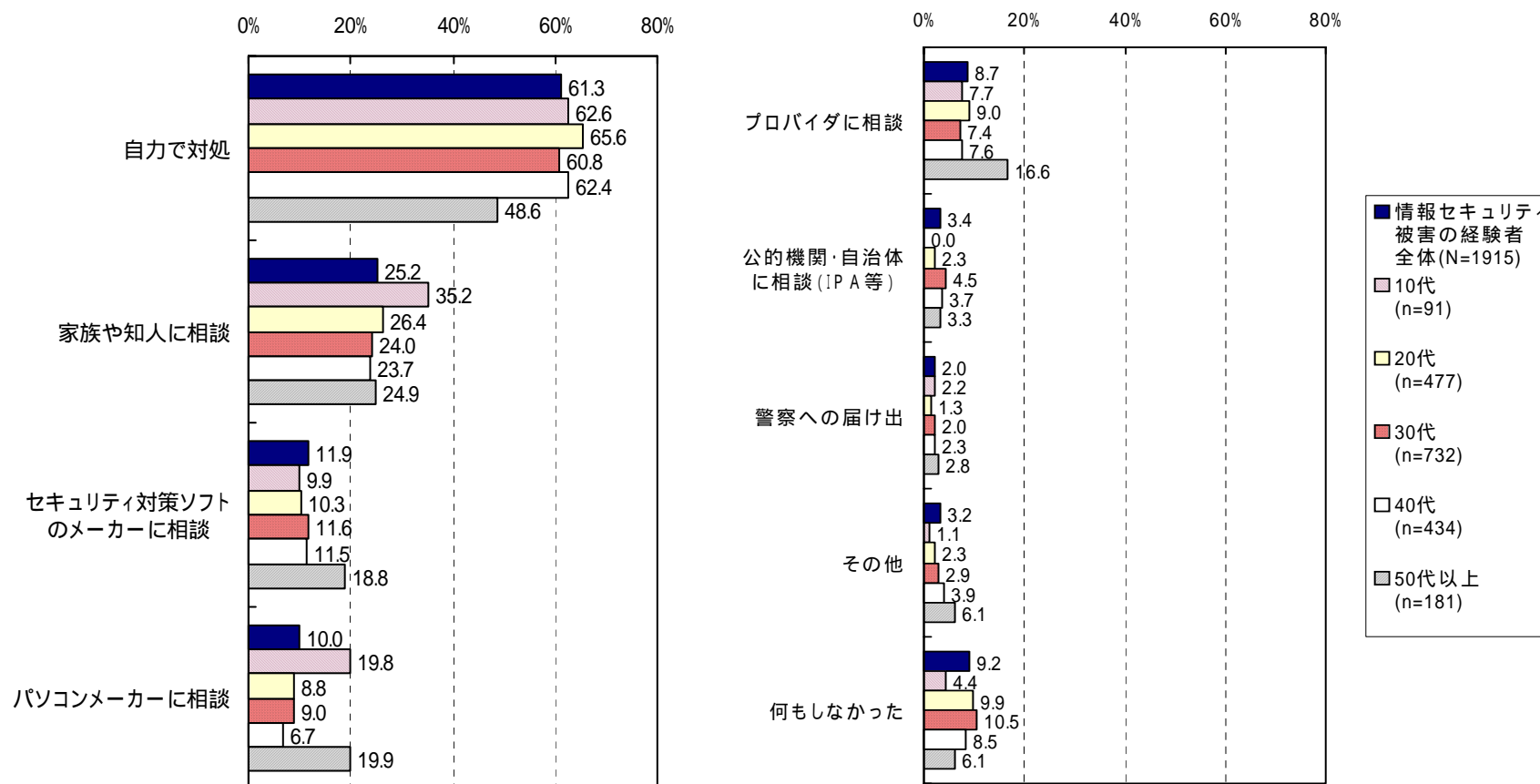
情報セキュリティ被害経験
3.被害時の対処方法 [インターネット利用開始時期別] (複数回答)



3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 3. 被害時の対処方法(2)

[年代別]では、「50代以上」は「自力で対処」する人が48.6%と他の年代よりも低く、「セキュリティ対策ソフトのメーカーに相談」、「パソコンメーカーに相談」、「プロバイダに相談」の比率が高い。また「10代」では「家族や知人に相談」する人が35.2%と、他の年代よりも高い。

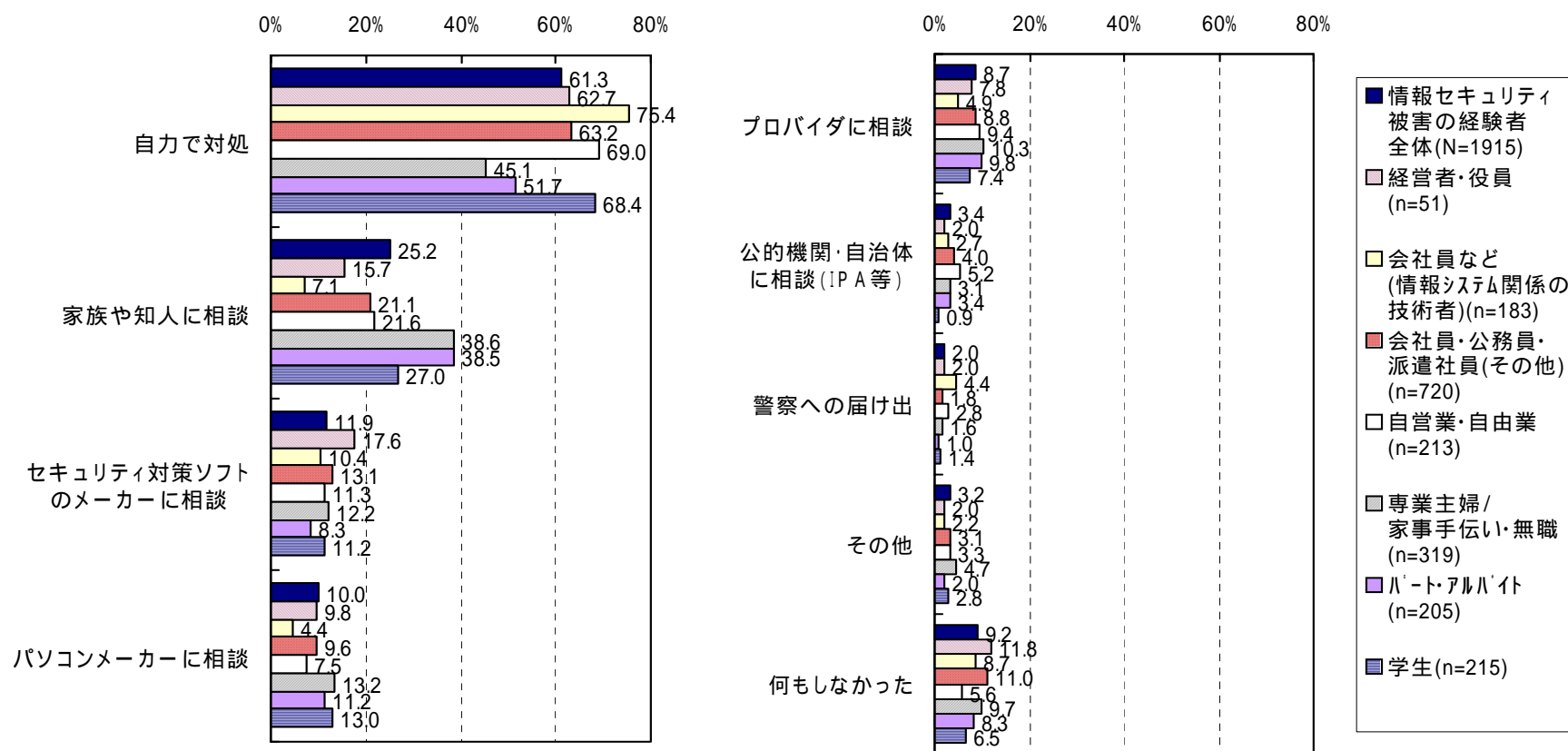
情報セキュリティ被害経験
3.被害時の対処方法 [年代別] (複数回答)



3.2.4. 情報セキュリティ被害経験 3. 被害時の対処方法 (3)

[職業別]では、会社員などフルタイムワーカーの多い層および「学生」は「自力で対処」する割合が高く、それぞれ6割以上。また「専業主婦/家事手伝い・無職」、「パート・アルバイト」は、「家族や知人に相談」する人が4割近くおり、他の職業の人よりも顕著に多い。

情報セキュリティ被害経験
3.被害時の対処方法 [職業別] (複数回答)



3.3. 情報セキュリティに関する情報の収集源

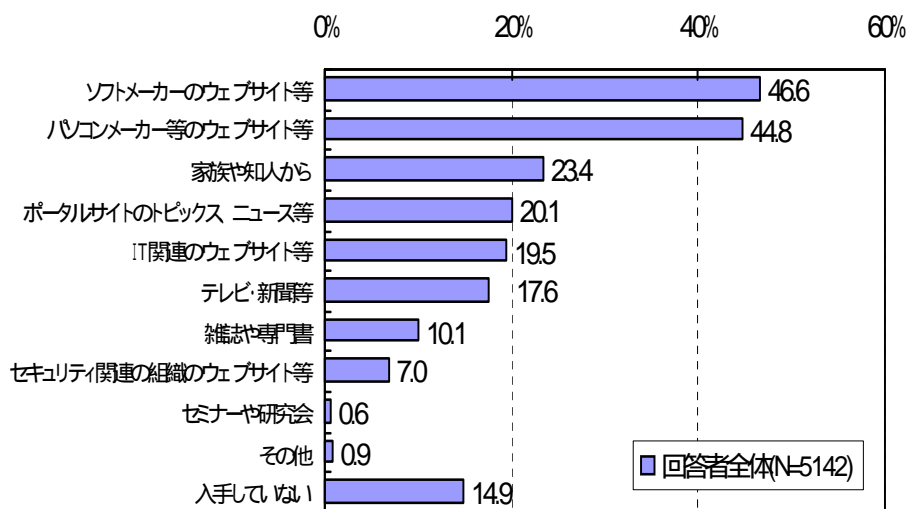
3.3.1. 情報の入手経路(1)

回答者全員に、情報セキュリティに関する最新情報・対策情報の入手経路を提示し、情報を得たことのある経路をすべて選んでもらった。最も多いのは「ソフトメーカーのウェブサイト等」で46.6%、僅差で「パソコンメーカー等のウェブサイト等」が44.8%。次いで「家族や知人から」、「ポータルサイトのトピックス、ニュース等」、「IT関連のウェブサイト等」、「テレビ・新聞等」がそれぞれ2割前後。

[性別]では、情報を「家族や知人から」入手するのは「女性」のほうが33.1%と顕著に高いが、その他はほとんど「男性」のほうが高い。

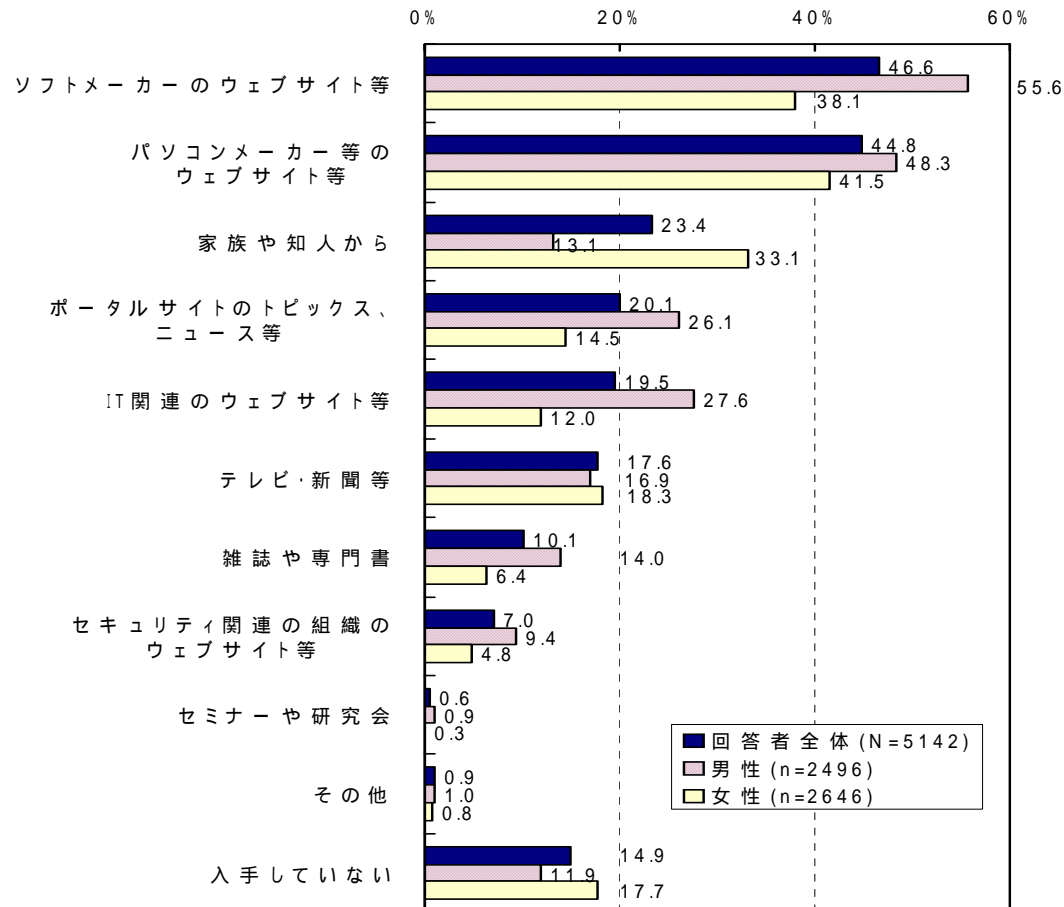
情報セキュリティに関する情報の入手経路

[回答者全体] (複数回答)



情報セキュリティに関する情報の入手経路

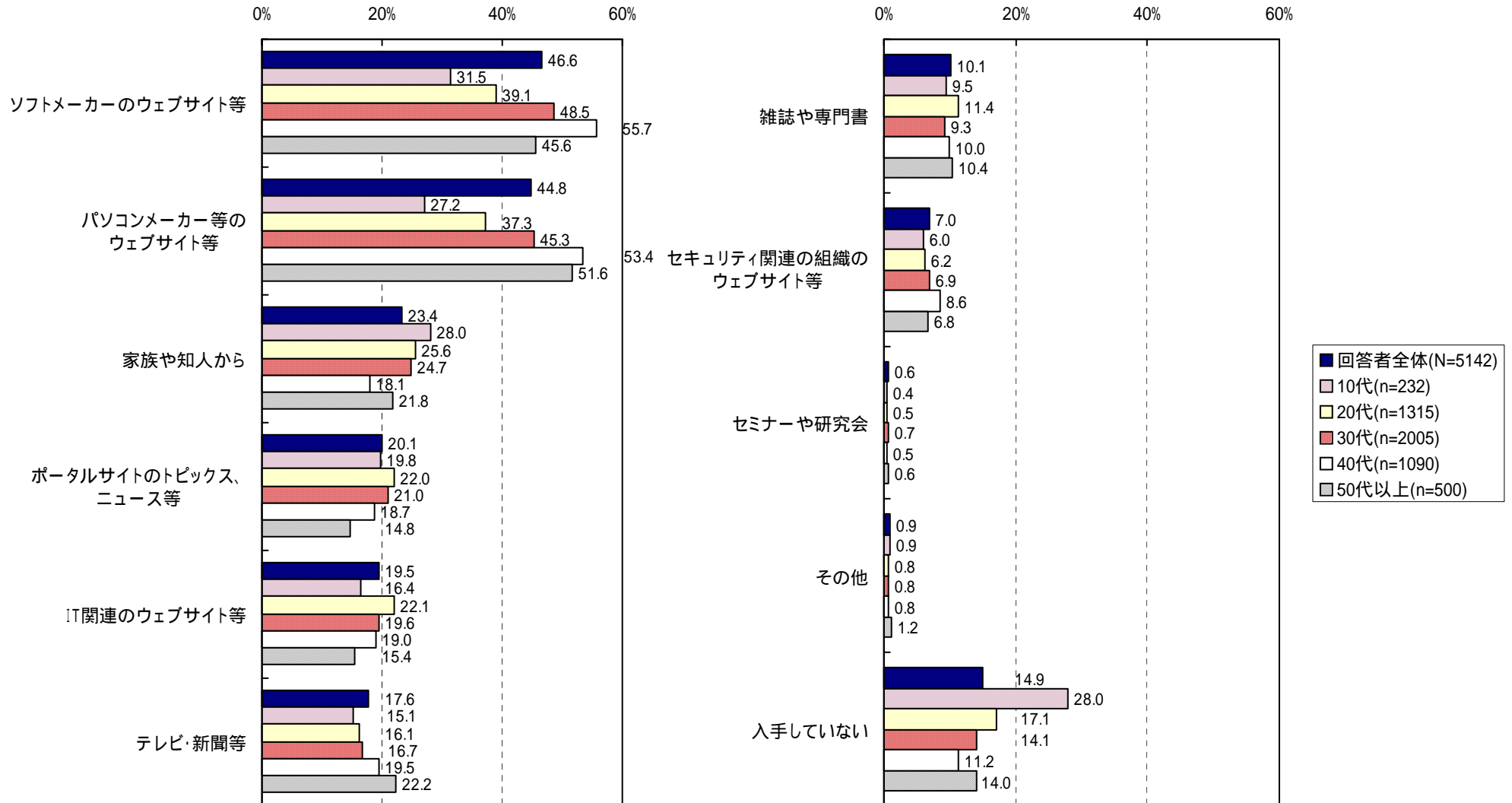
[性別] (複数回答)



3.3.1. 情報の入手経路(2)

[年代別]では、「ソフトメーカーのウェブサイト等」、「パソコンメーカー等のウェブサイト等」からの情報入手は、30代以上の層で多い。「家族や知人から」は「10代」が高い。また「10代」は情報セキュリティに関して情報を「入手していない」人が28.0%と目立つ。

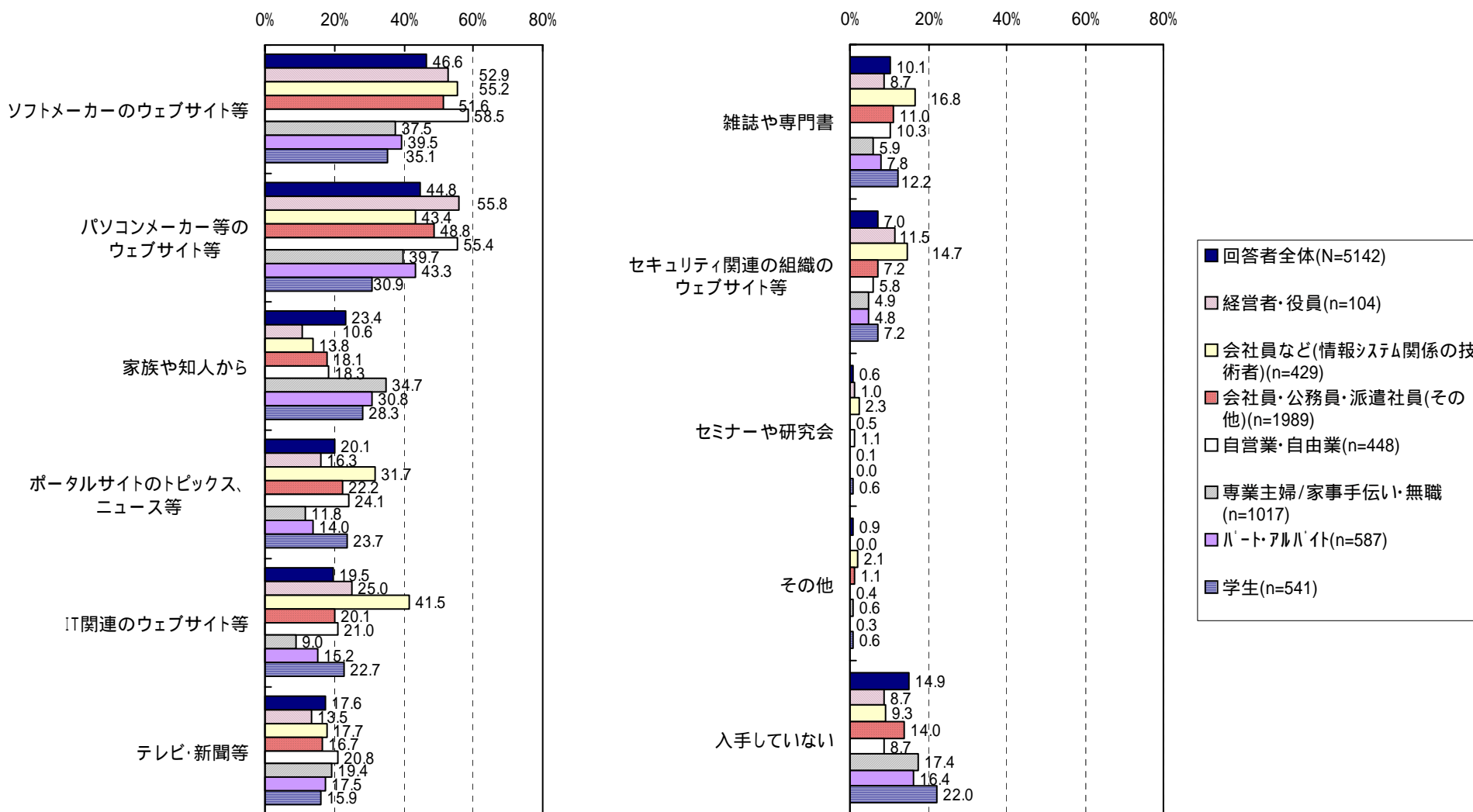
情報セキュリティに関する情報の入手経路 [年代別] (複数回答)



3.3.1. 情報の入手経路(3)

[職業別]では、「会社員など(情報システム関係の技術者)」は、「IT関連のウェブサイト等」、「ポータルサイトのトピックス、ニュース等」、「雑誌や専門書」、「セキュリティ関連の組織のウェブサイト等」など専門サイトなどから積極的に情報入手している。また「専業主婦/家事手伝い・無職」、「パート・アルバイト」、および「学生」は「家族や知人から」が他の職業の人よりも多く、またこれらの層では「入手していない」人の割合も比較的高い。

情報セキュリティに関する情報の入手経路 [職業別] (複数回答)

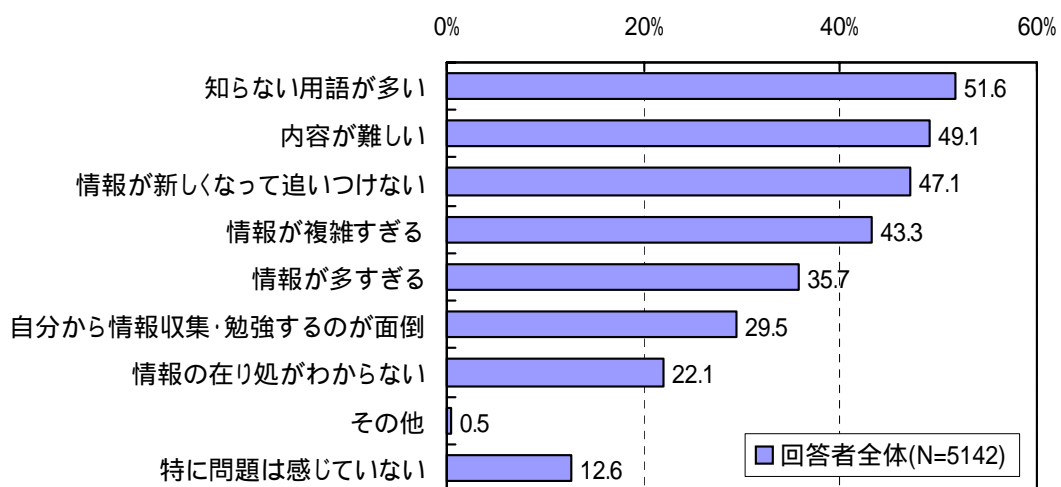


3.3.2. 情報収集に関する意識(1)

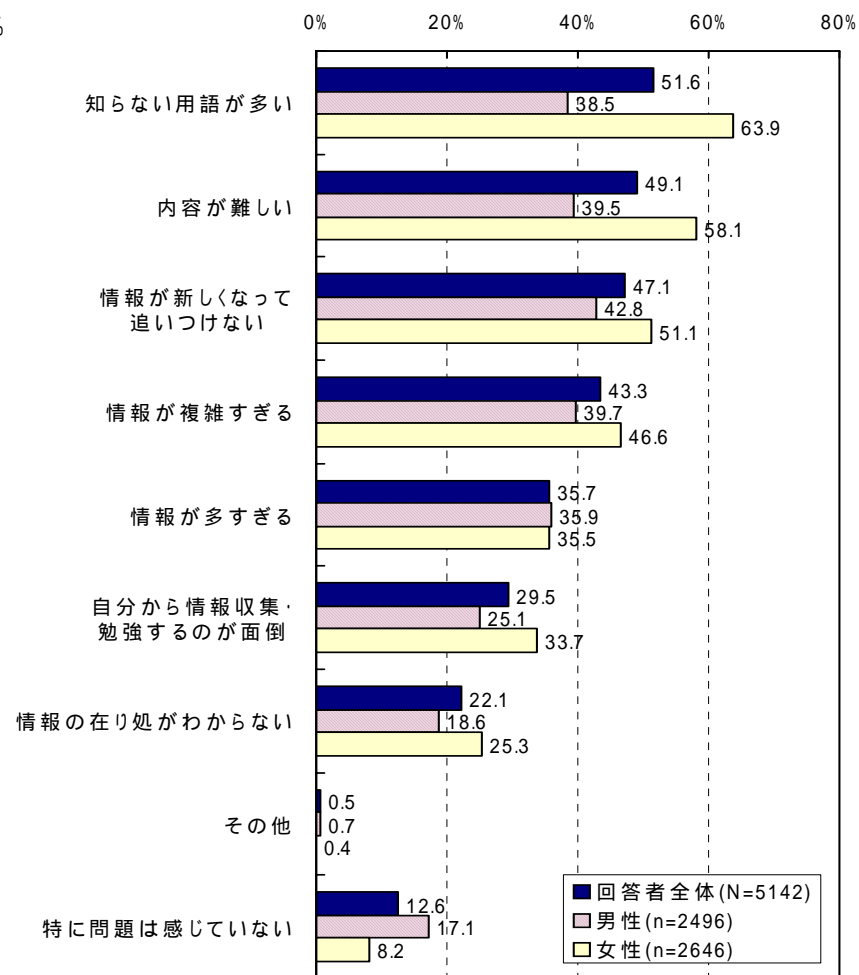
回答者全員に情報収集に関する問題や考えを提示し、自分の考えに当てはまるものをすべて選んでもらった。最も多くの人を感じているのは「知らない用語が多い」で51.6%、僅差で「内容が難しい」が49.1%、次いで「情報が新しくなって追いつけない」が47.1%で、それぞれ約半数を占める。

[性別]では、「女性」のほうが情報収集に問題を感じている割合が高く、特に「知らない用語が多い」は63.9%、「内容が難しい」は58.1%で、目立って高い。

情報収集に関する意識 [回答者全体] (複数回答)



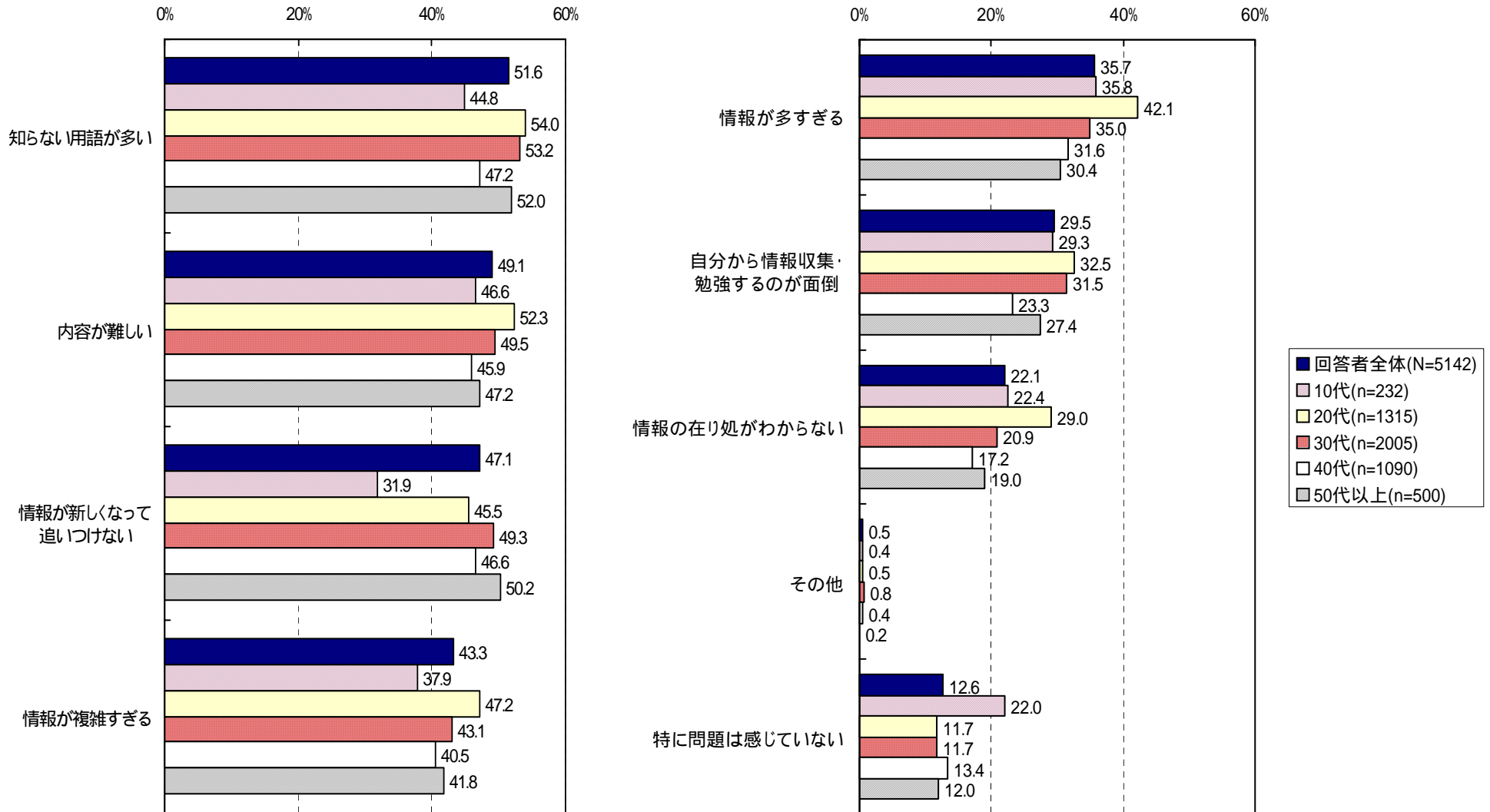
情報収集に関する意識 [性別] (複数回答)



3.3.2. 情報収集に関する意識(2)

[年代別]では、ほとんどの項目について、「20代」は情報収集に関する問題を感じている人の割合が他の年代よりもやや高い。また「10代」では、「情報が新しく追いつけない」は31.9%と目立って低く、「特に問題は感じていない」人は22.0%と、他の年代よりも高い。

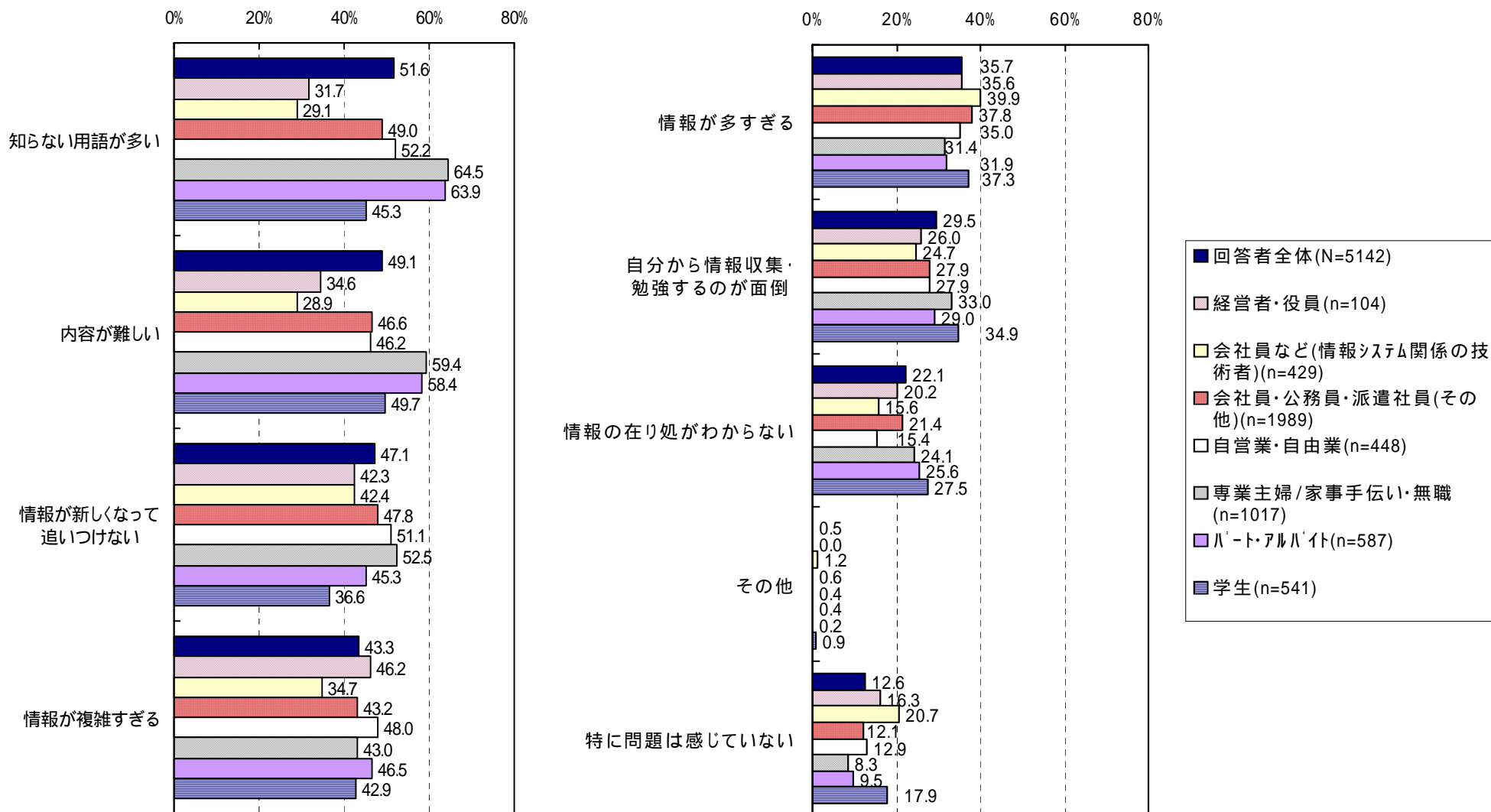
情報収集に関する意識 [年代別] (複数回答)



3.3.2. 情報収集に関する意識(3)

[職業別]では、「知らない用語が多い」、「内容が難しい」と感じている割合は、「経営者・役員」、「会社員など(情報システム関係の技術者)」では低く、「専業主婦/家事手伝い・無職」、「パート・アルバイト」では高い。

情報収集に関する意識 [職業別] (複数回答)

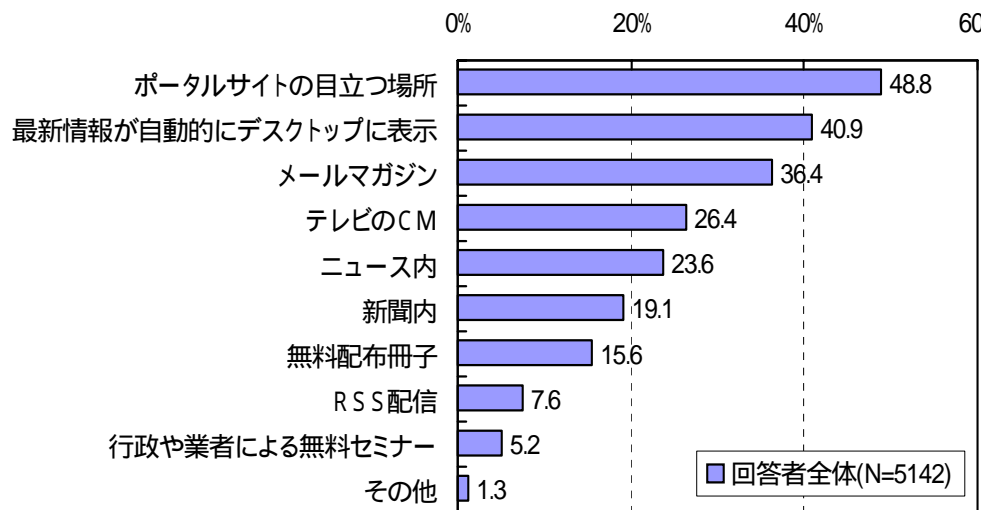


3.3.3. 希望する情報提供方法(1)

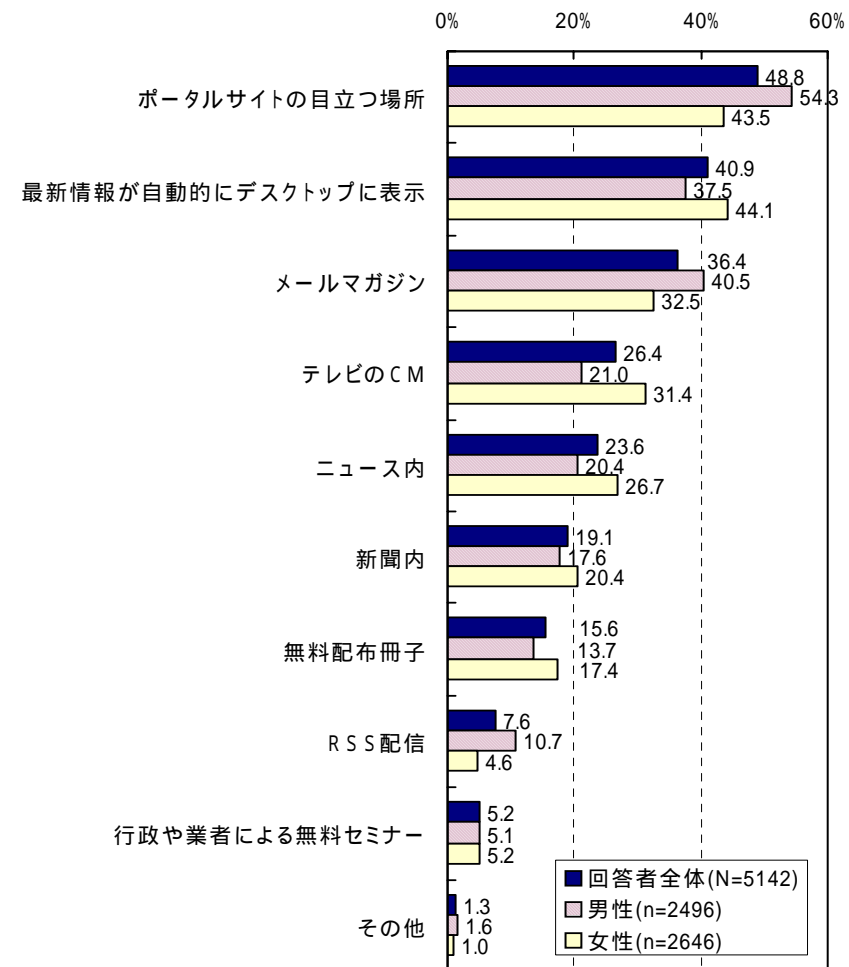
回答者全員に、希望する情報提供方法を選択肢の中からすべて選んでもらった。最も希望が高いのは「ポータルサイトの目立つ場所」で48.8%、次いで「最新情報が自動的にデスクトップに表示」で40.9%、「メールマガジン」で36.4%と、インターネットを活用したものが多い。

[性別]では、インターネットを活用しない「テレビのCM」、「ニュース内」、「新聞内」、「無料配布冊子」は、「女性」による希望が高い。

希望する情報提供方法 [回答者全体] (複数回答)



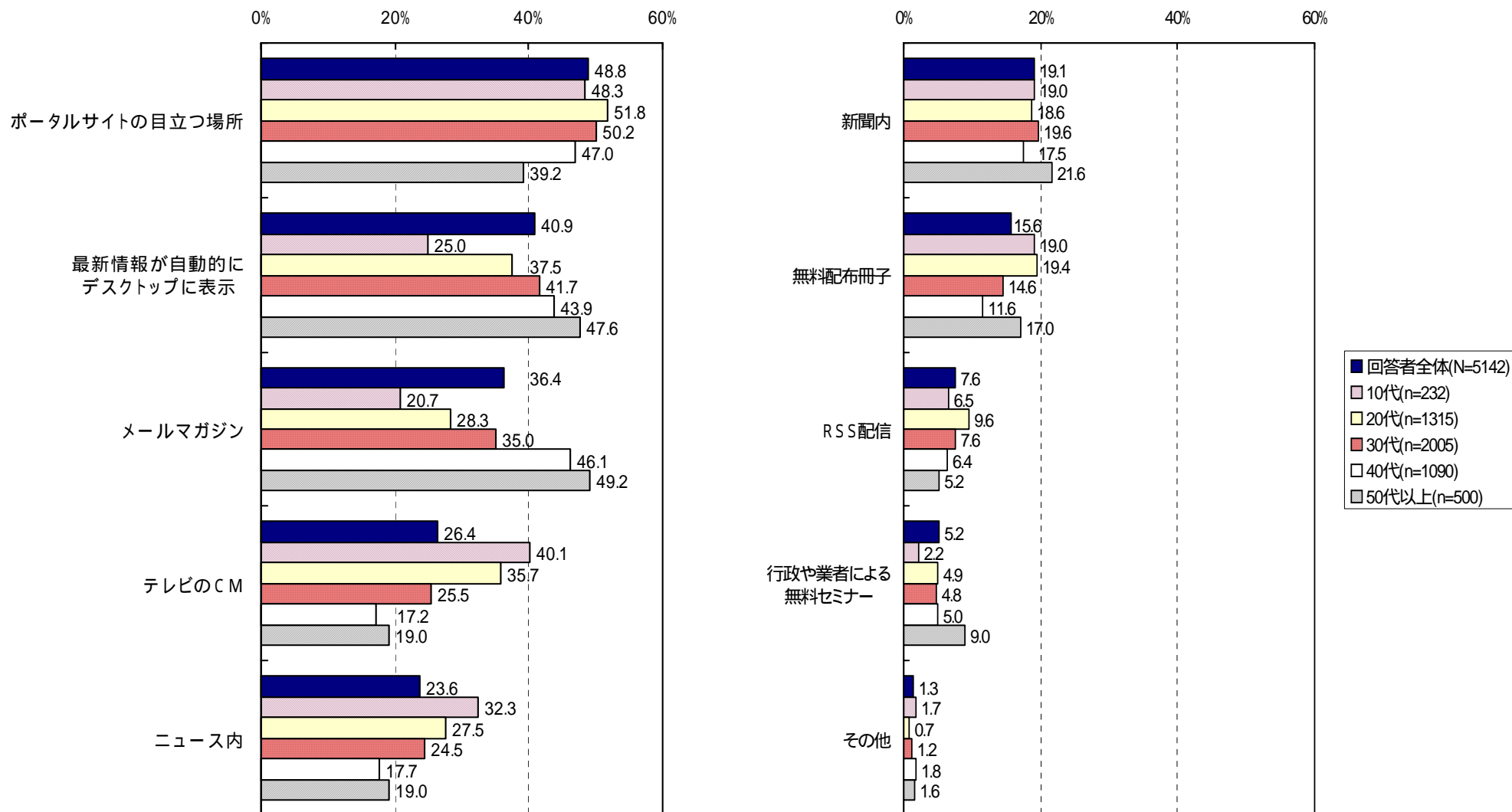
希望する情報提供方法 [性別] (複数回答)



3.3.3. 希望する情報提供方法(2)

[年代別]では、年代が高いほど「最新情報が自動的にデスクトップに表示」、「メールマガジン」の希望が高い。また「テレビのCM」、「ニュース内」は、「10代」と「20代」による希望が特に高い。

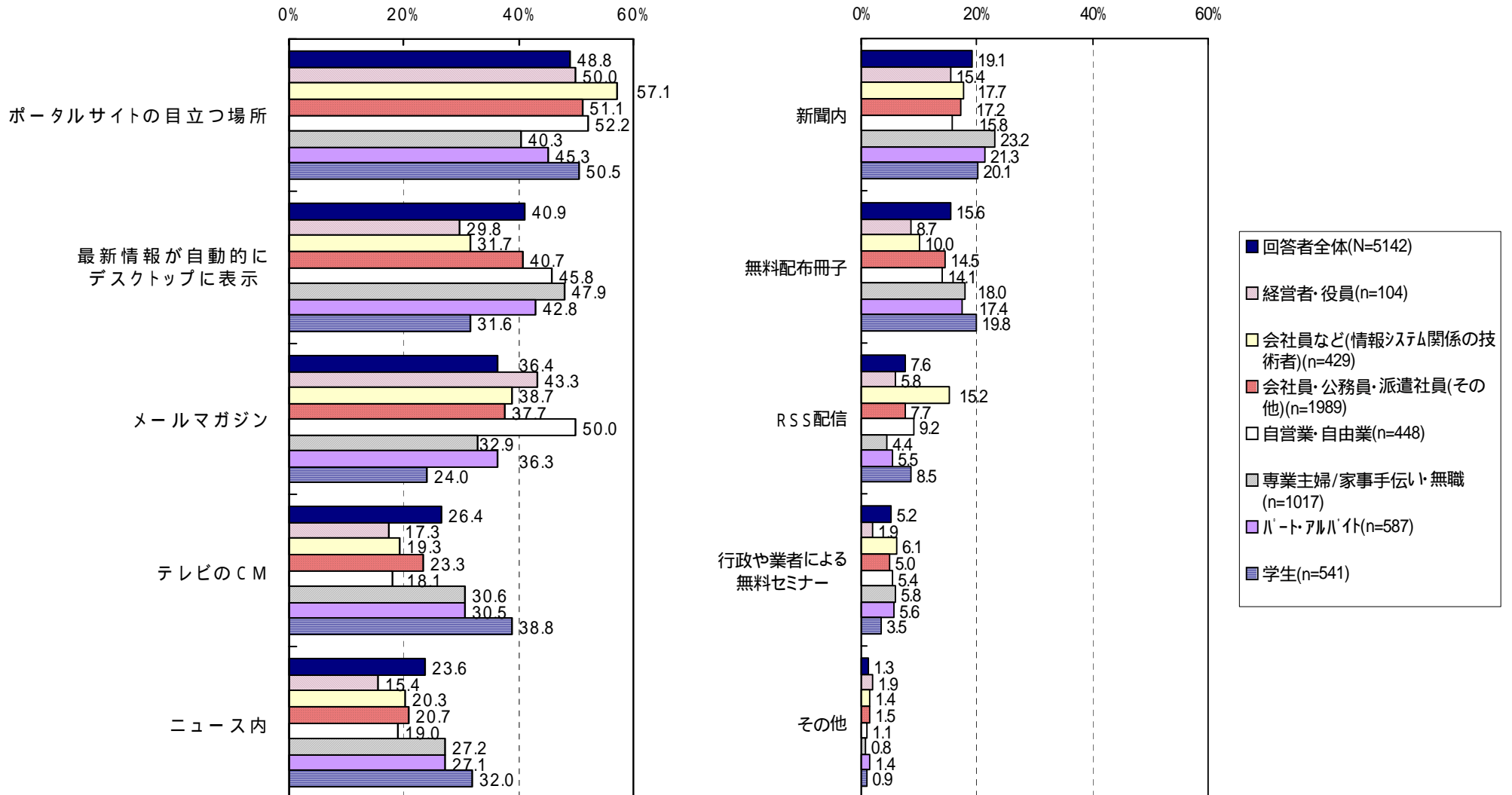
希望する情報提供方法 [年代別] (複数回答)



3.3.3. 希望する情報提供方法(3)

[職業別]では、「専業主婦/家事手伝い・無職」、「パート・アルバイト」、「学生」は、インターネットと関わりを持つ媒体ではない「テレビのCM」、「ニュース内」、「新聞内」、「無料配布冊子」の希望が高い。また日ごろセキュリティ情報と接していると思われる「会社員など(情報システム関係の技術者)」は、「RSS配信」の希望が高い。

情報収集に関する意識 [職業別] (複数回答)



3.4. インターネットの利用状況

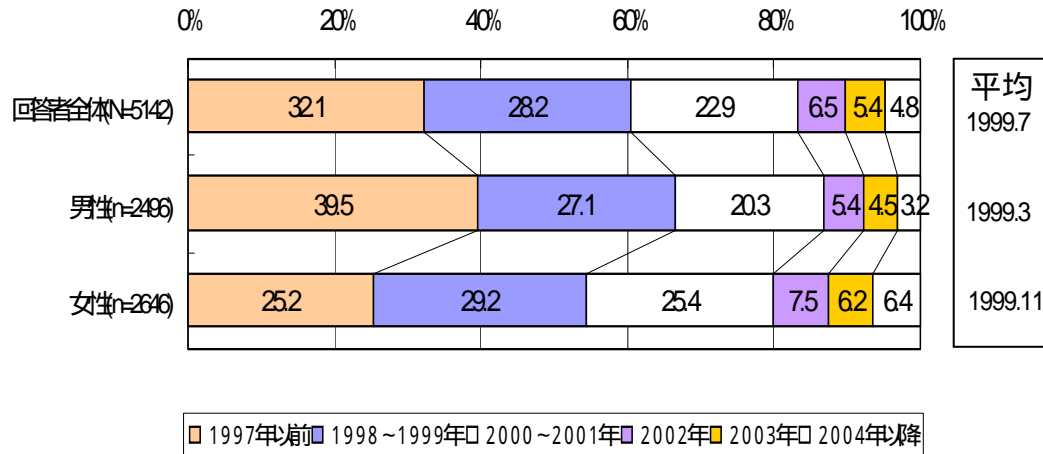
3.4.1. インターネット利用開始時期(1)

回答者全員に、パソコンでのインターネット利用開始時期を尋ねた。最も多いのは「1997年以前」で32.1%、次いで「1998～1999年」が28.2%、平均利用開始時期は1999年7月。

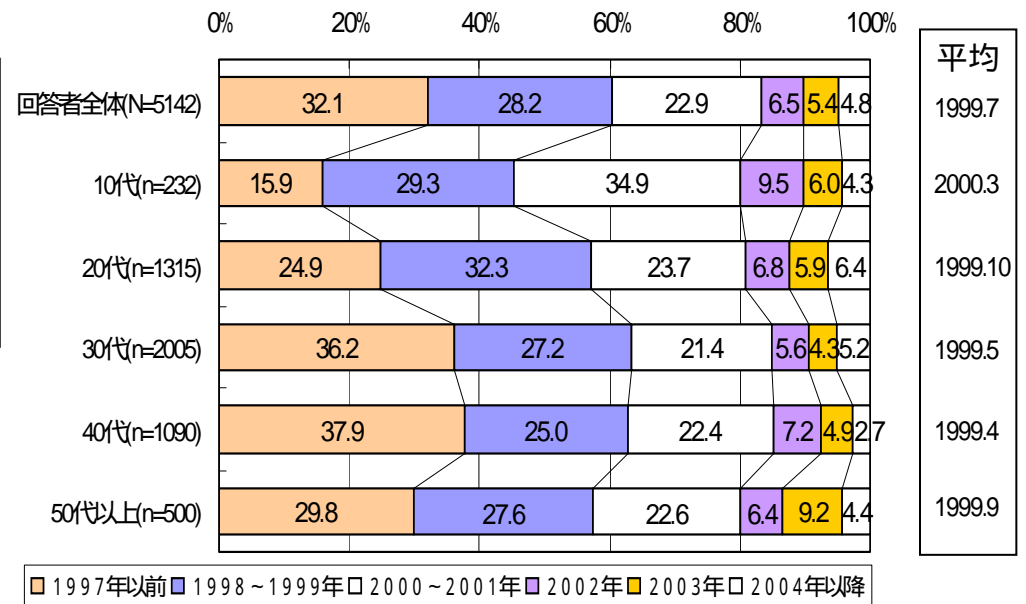
[性別]では、「男性」のほうがやや早い。

[年代別]では、「30代」と「40代」がやや早い。

インターネット利用開始時期 [回答者全体 / 性別]



インターネット利用開始時期 [年代別]

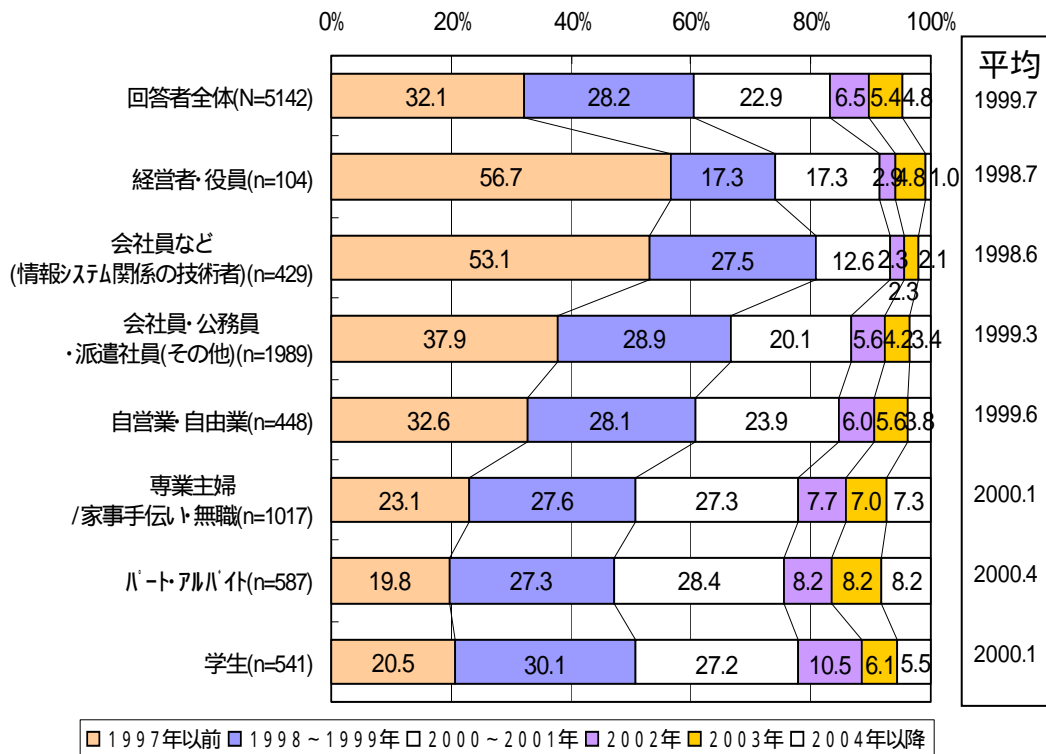


3.4.1. インターネット利用開始時期(2)

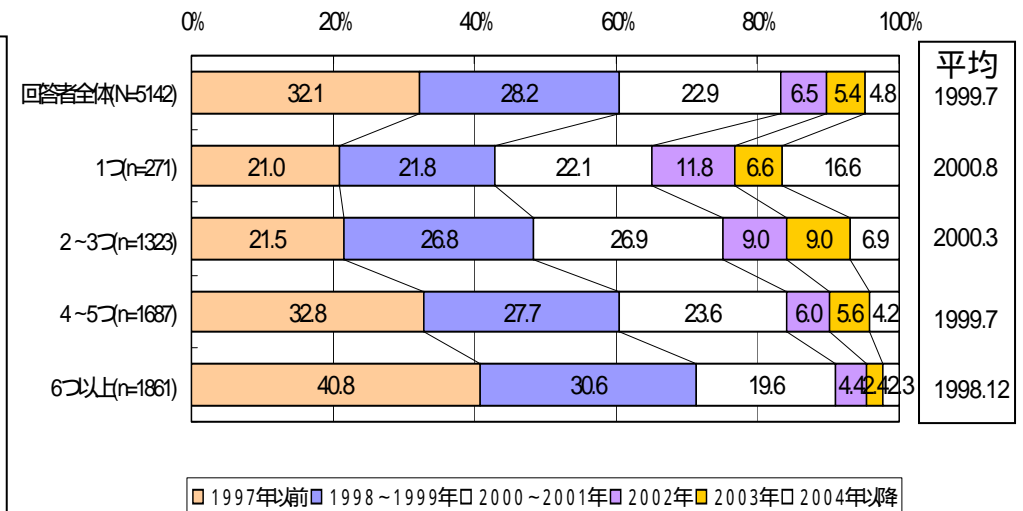
[職業別]では、「経営者・役員」と「会社員など(情報システム関係の技術者)」は利用開始時期が早く、1999年までに開始している人が7割以上。

[インターネット利用目的の回答数別]では、目的数が多い層ほど利用開始時期が早い。[インターネット利用時間別]および[メール受発信数別]では、利用開始時期にほとんど差はない。

インターネット利用開始時期 [職業別]



インターネット利用開始時期
[インターネット利用目的の回答数別]

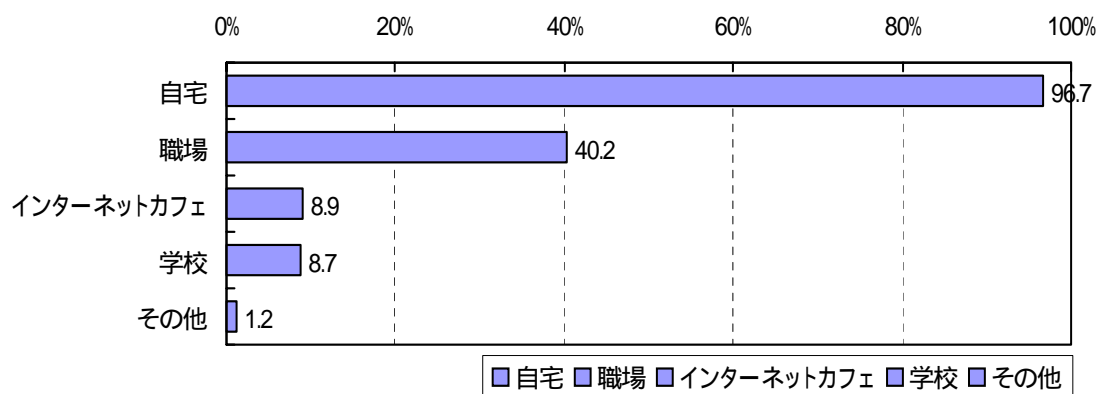


3.4.2. インターネット利用場所(1)

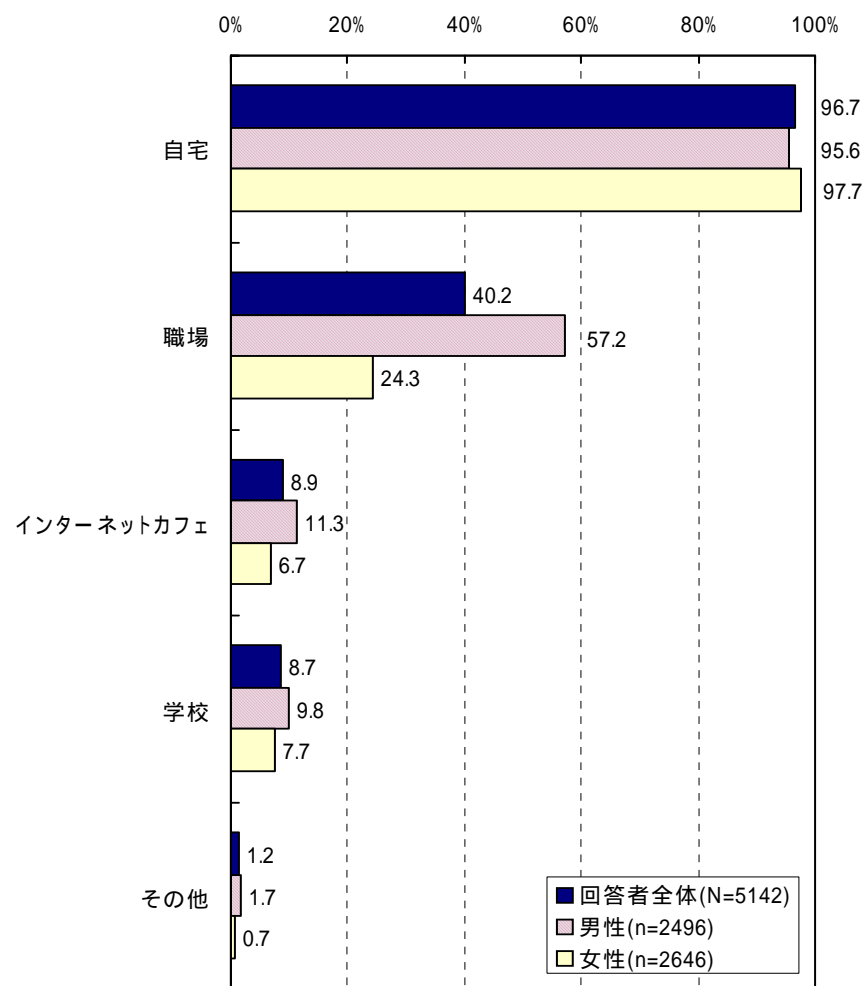
回答者全員に、パソコンでインターネットを利用する場所を選択肢の中からすべて選んでもらった。圧倒的に高いのは「自宅」で96.7%、次いで「職場」が40.2%。

[性別]では、「男性」は「職場」での利用が57.2%で、「女性」より顕著に高い。

インターネット利用場所 [回答者全体] (複数回答)



インターネット利用場所 [性別] (複数回答)

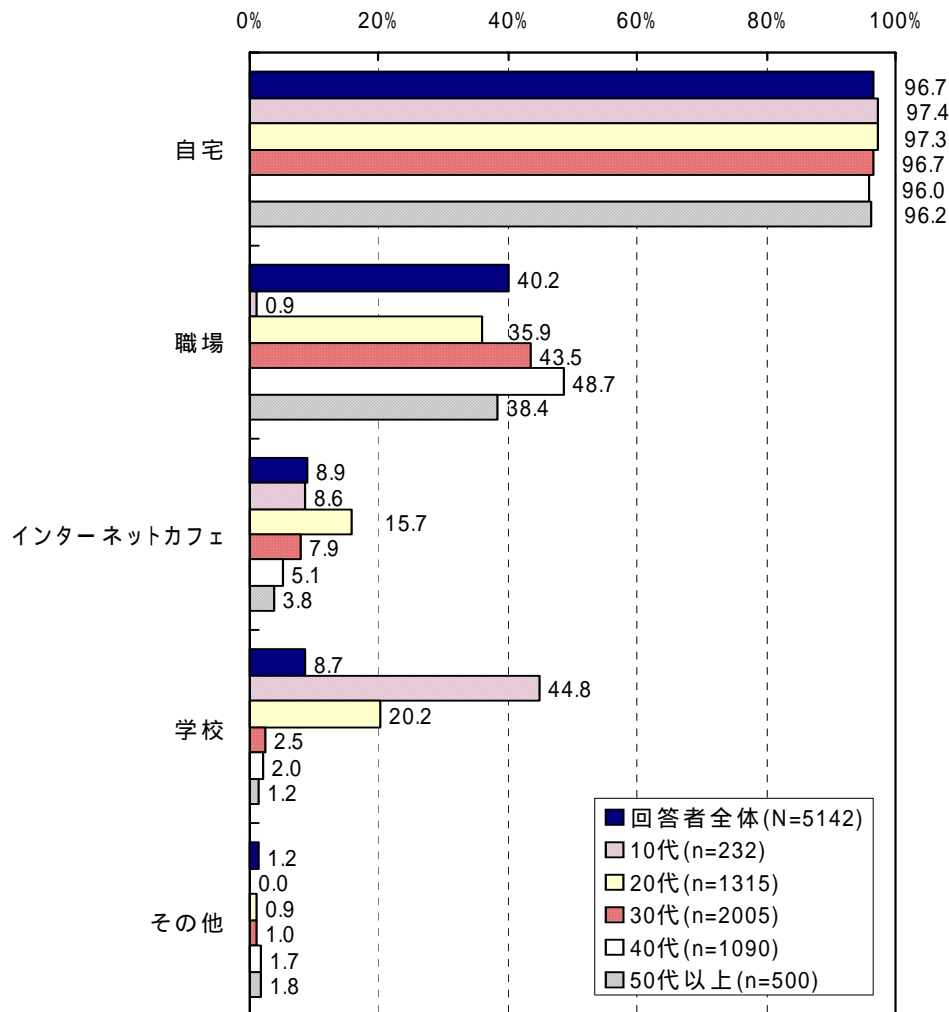


3.4.2. インターネット利用場所(2)

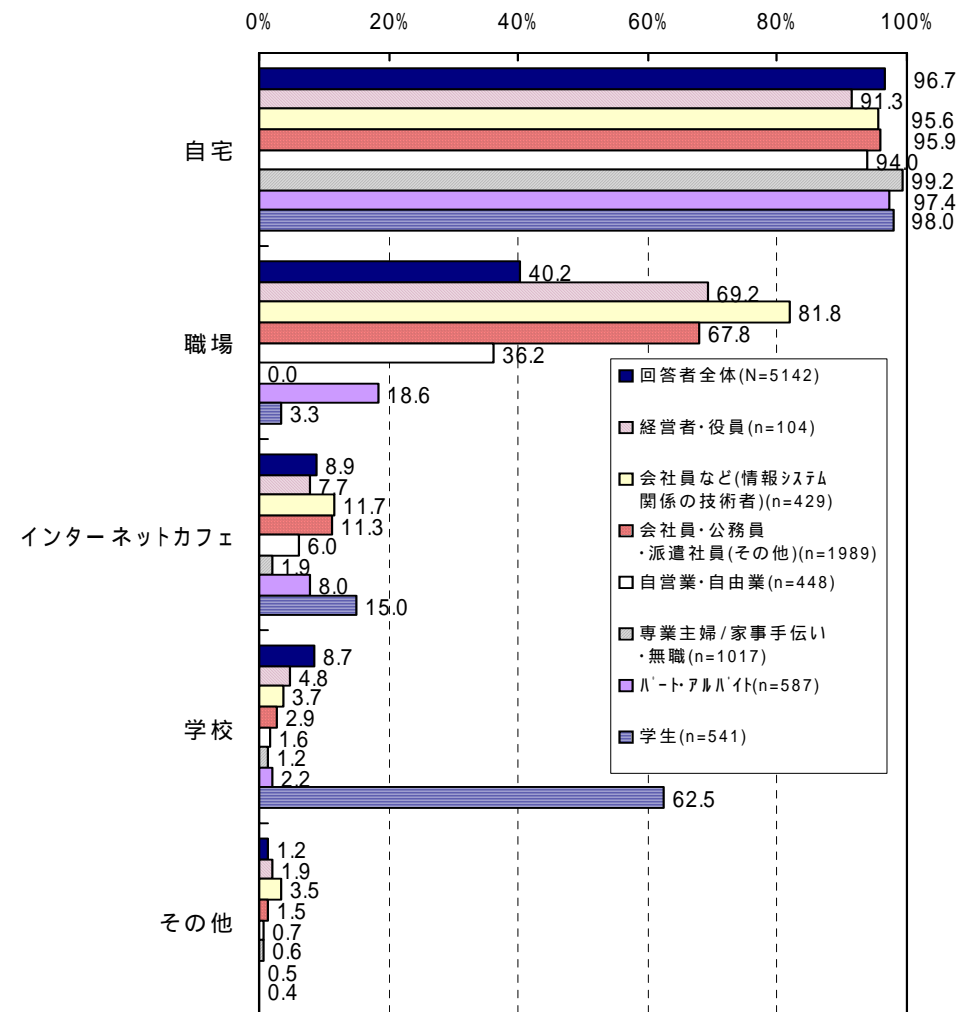
[年代別]では、すべての年代において「自宅」で利用している割合が圧倒的に高い。また「20代」は「インターネットカフェ」での利用が他の年代より高い。「10代」の4割強が「学校」で利用している。

[職業別]では、「職場」での利用は、有職層のうち「会社員など(情報システム関係の技術者)」が81.8%、「経営者・役員」が69.2%、「会社員・公務員・派遣社員(その他)」が67.8%と多いが、「自営業・自由業」は4割弱、「パート・アルバイト」は2割弱と少ない。また「学生」は、他の職業の人よりも「インターネットカフェ」の利用が多い。

インターネット利用場所 [年代別] (複数回答)



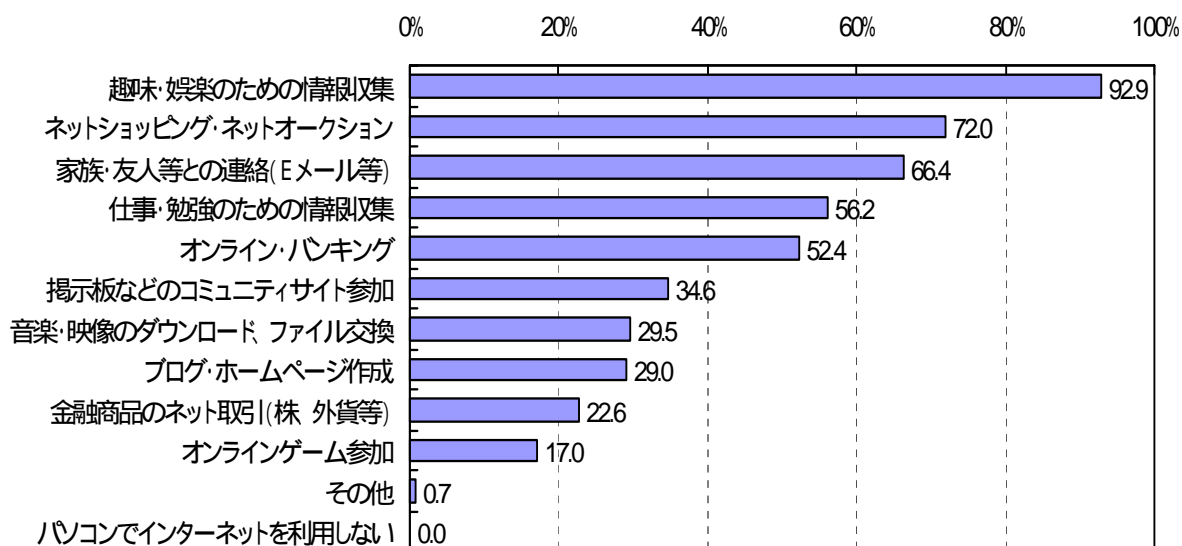
インターネット利用場所 [職業別] (複数回答)



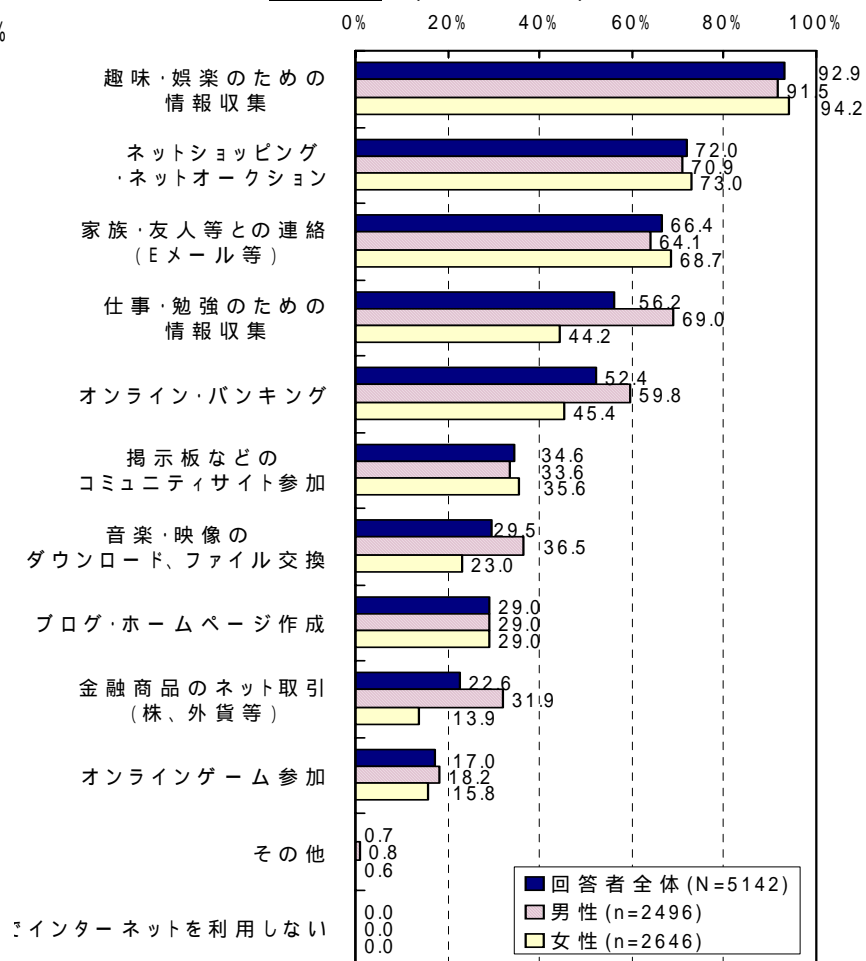
3.4.3. プライベートでのインターネット利用目的(1)

回答者全員に、プライベートでインターネットを利用する目的を選択肢の中からすべて選んでもらった。最も多いのは「趣味・娯楽のための情報収集」で92.9%、次いで「ネットショッピング・ネットオークション」、「家族・友人等との連絡(Eメール等)」がそれぞれ7割前後、「仕事・勉強のための情報収集」、「オンライン・バンキング」がそれぞれ半数強。[性別]では、「男性」は「仕事・勉強のための情報収集」、「オンライン・バンキング」、「音楽・映像のダウンロード、ファイル交換」、「金融商品のネット取引(株・外資等)」を利用する割合が「女性」より大幅に高い。

プライベートでのインターネット利用目的
[回答者全体] (複数回答)



プライベートでのインターネット利用目的
[性別] (複数回答)

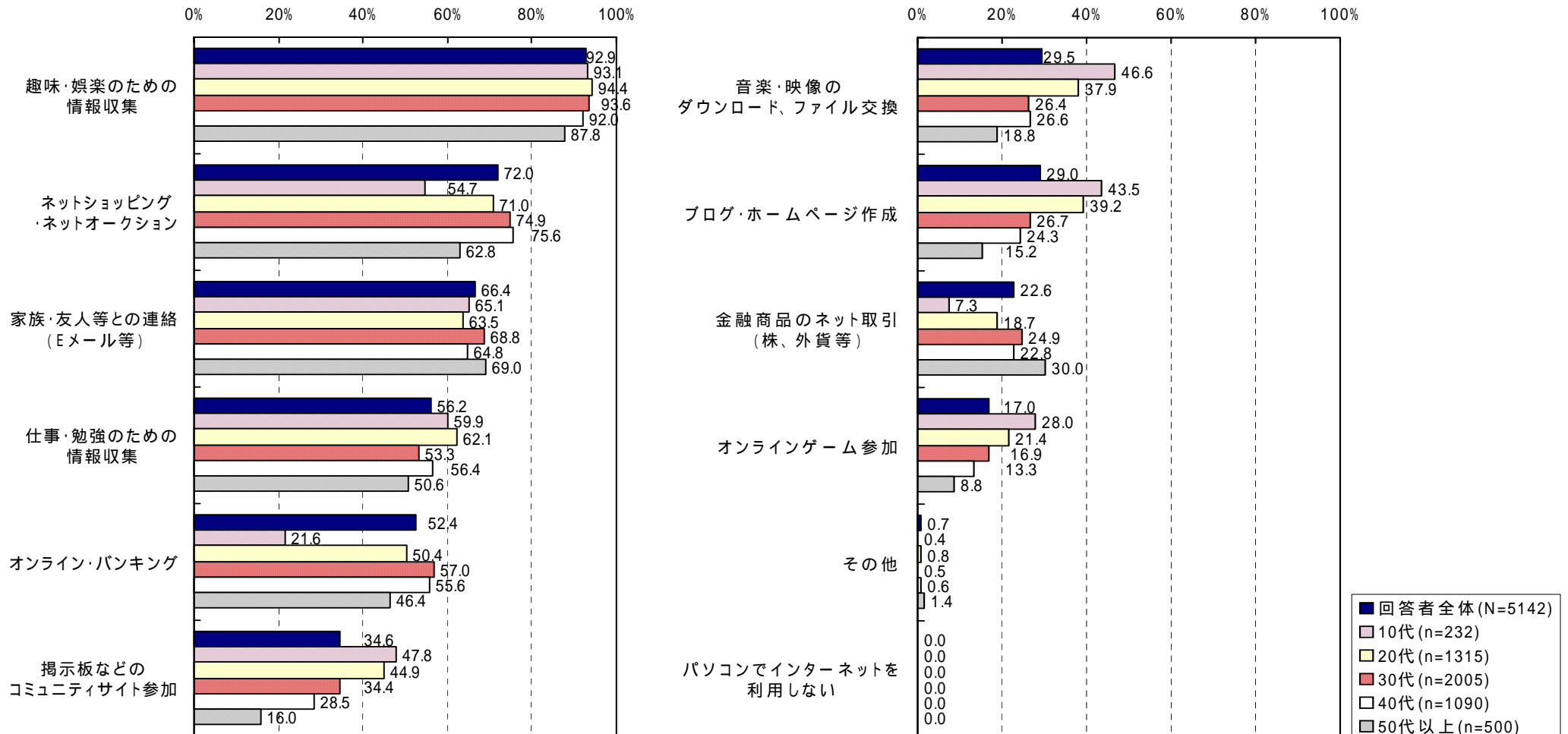


3.4.3. プライベートでのインターネット利用目的(2)

[年代別]では、「10代」、「50代」は、金銭のやりとりが発生する「ネットショッピング・ネットオークション」、「オンライン・バンキング」の利用が他の年代より少ない。

また相手とのコミュニケーションが発生する「掲示板などのコミュニティサイト参加」、および「音楽・映像のダウンロード、ファイル交換」、「ブログ・ホームページ作成」は若い層ほど利用が多く、特に「10代」、「20代」ではそれぞれ4割前後。また「10代」は「オンラインゲーム参加」も多い。

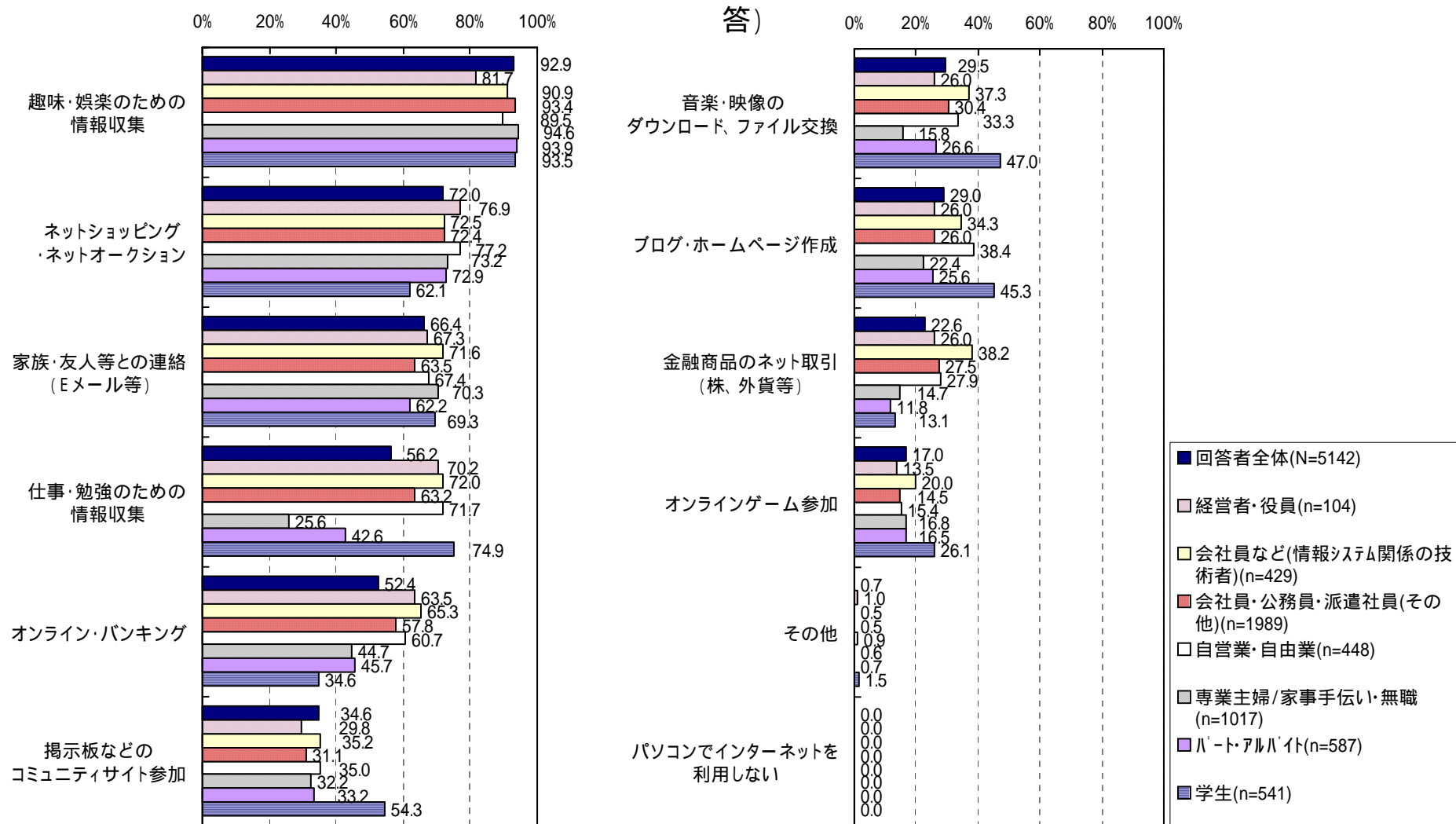
プライベートでのインターネット利用目的 [年代別] (複数回答)



3.4.3. プライベートでのインターネット利用目的(3)

[職業別]では、経営者や会社員などフルタイムワーカーの多い層では「オンライン・バンキング」の利用が多く、6割前後。また「学生」は、「掲示板などのコミュニティサイト参加」、「音楽・映像のダウンロード・ファイル交換」、「ブログ・ホームページ作成」の利用が多く、それぞれ半数前後。「オンラインゲーム参加」の利用も、他の職業よりも目立って多い。

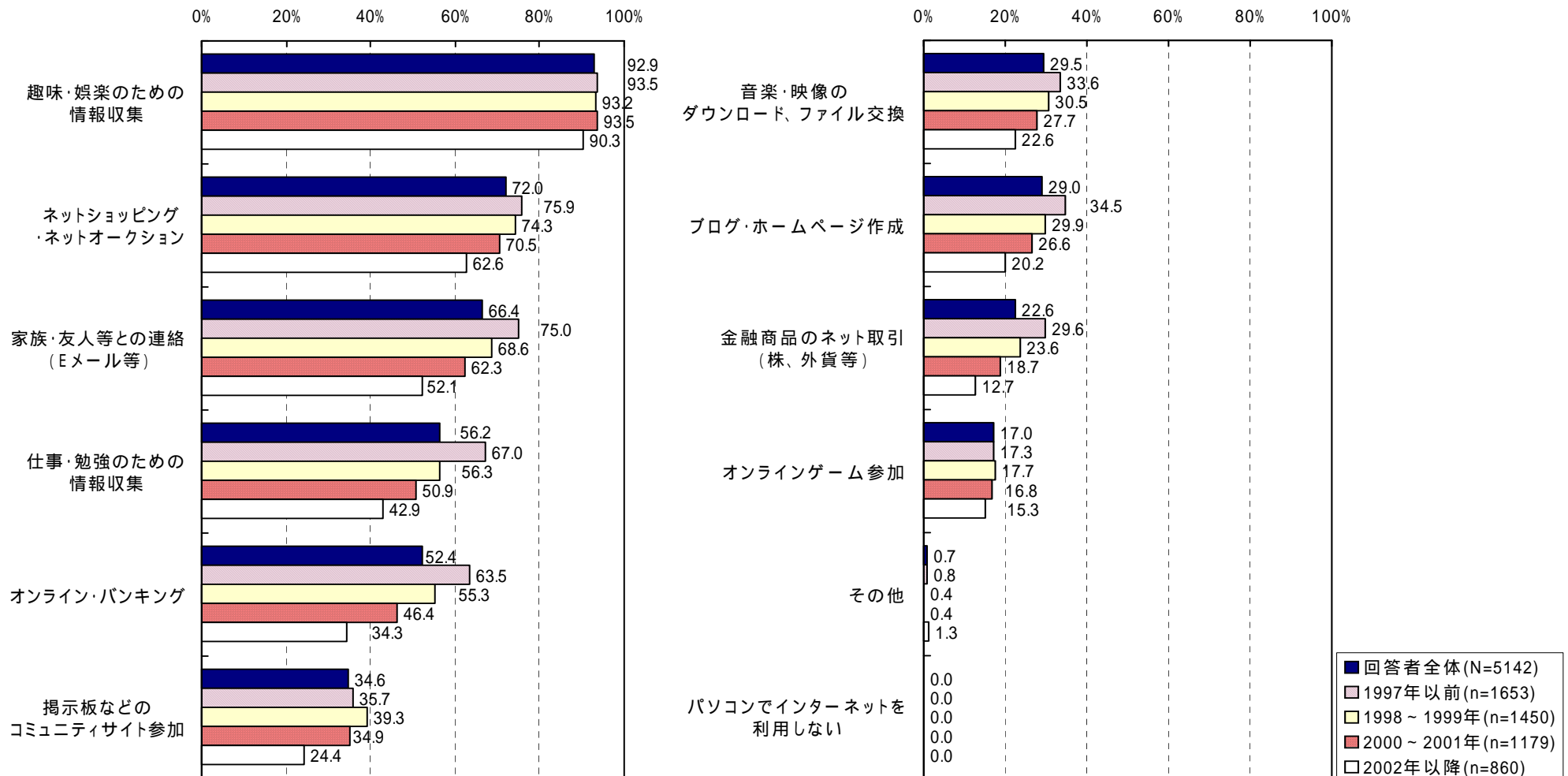
プライベートでのインターネット利用目的 [職業別] (複数回答)



3.4.3. プライベートでのインターネット利用目的(4)

[インターネット利用開始時期別]に見ると、ほとんどの項目について利用開始時期が早いほど利用が多い。
 [インターネット利用目的の回答数別]および[インターネット利用時間別]でも同様の傾向があり、目的数が多い層ほど、
 また利用時間が長い層ほど、各項目について利用が多い。

プライベートでのインターネット利用目的 [インターネット利用開始時期別]



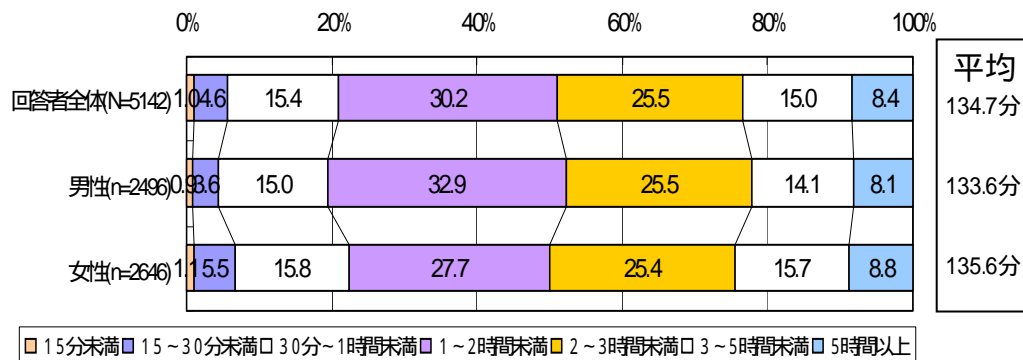
3.4.4. インターネット利用時間(1)

回答者全員に、プライベートにおいてパソコンでインターネットを利用する一日平均時間を尋ねた。最も多いのは「1～2時間未満」で30.2%、次いで「2～3時間未満」で25.5%、平均利用時間は[回答者全体]で134.7分。

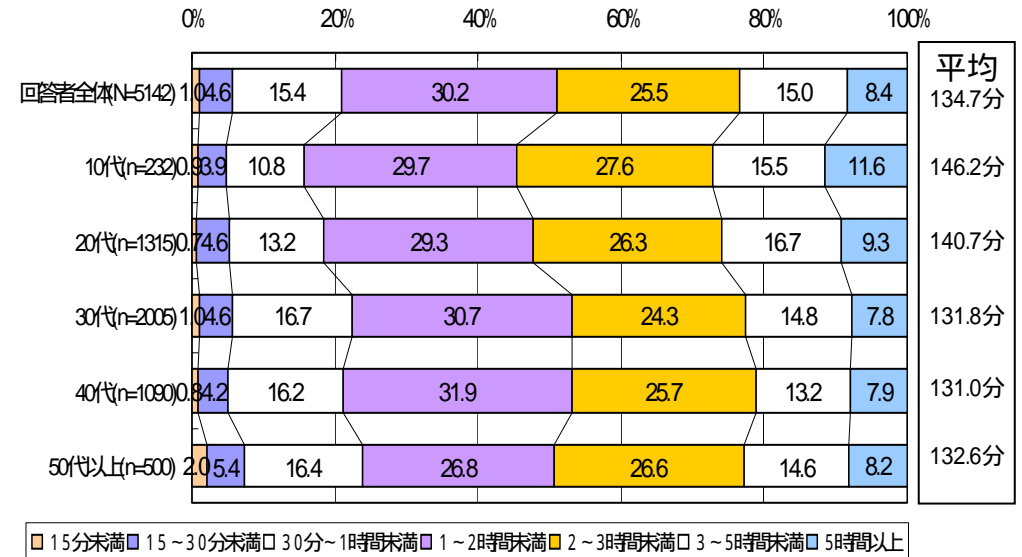
[性別]では、ほとんど差はない。

[年代別]では、「10代」が146.2分、「20代」が140.7分と、平均利用時間がやや長い。

インターネット利用時間 [回答者全体 / 性別]



インターネット利用時間 [年代別]

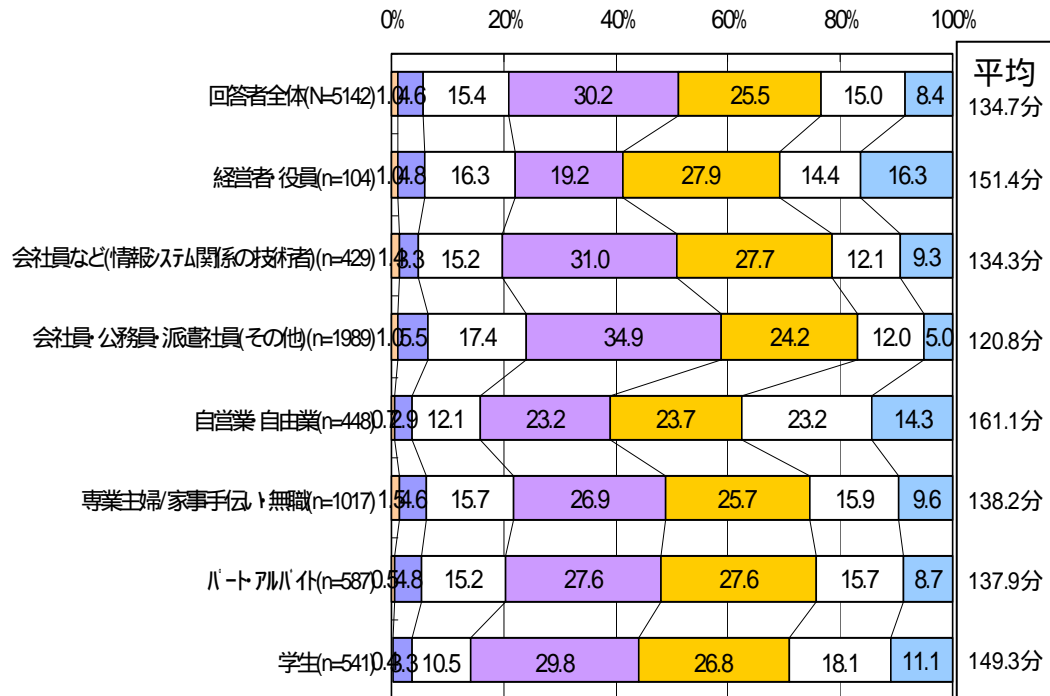


3.4.4. インターネット利用時間(2)

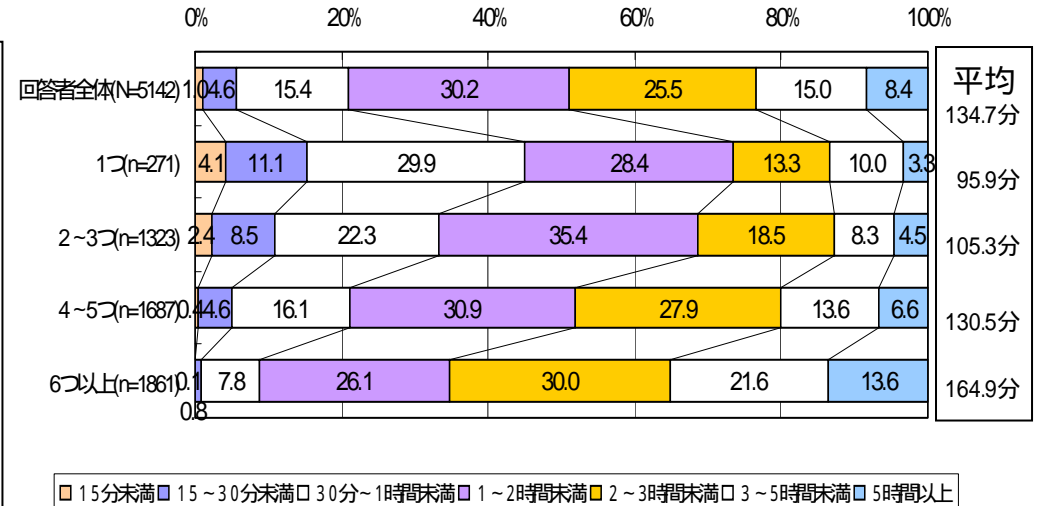
[職業別]では、平均利用時間が最も長いのは「自営業・自由業」で161.1分、次いで「経営者・役員」が151.4分、「学生」が149.3分と続く。

[インターネット利用目的の回答数別]では、目的数が多い層ほど利用時間が長い。[メール受発信数別]でも同様の傾向があり、受発信数が多い層ほど利用時間が長い。

インターネット利用時間 [職業別]



インターネット利用時間
[インターネット利用目的の回答数別]



15分未満 15~30分未満 30分~1時間未満 1~2時間未満 2~3時間未満 3~5時間未満 5時間以上

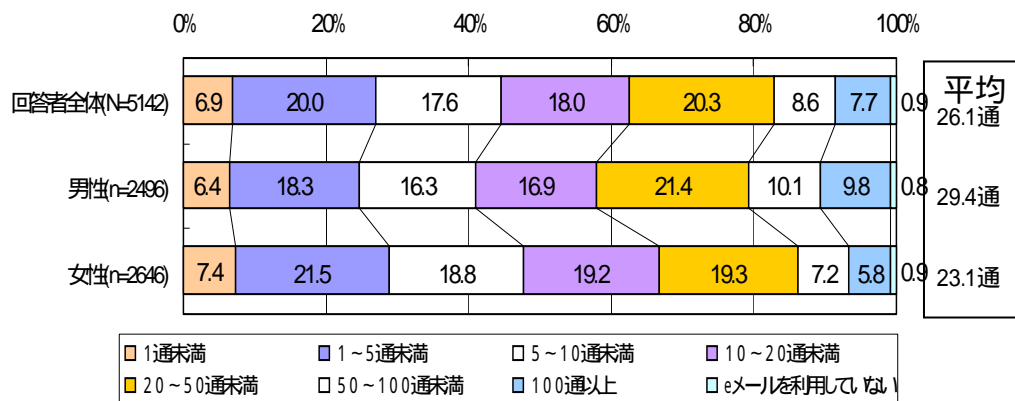
3.4.5. 電子メールの送受信数(1)

回答者全員に、プライベートにおいてパソコンで送受信する電子メールの一日平均送受信数を尋ねた。「1～5通未満」、「5～10通未満」、「10～20通未満」、「20～50通未満」がそれぞれ2割前後。平均メール送受信数は[回答者全体]で26.1通。

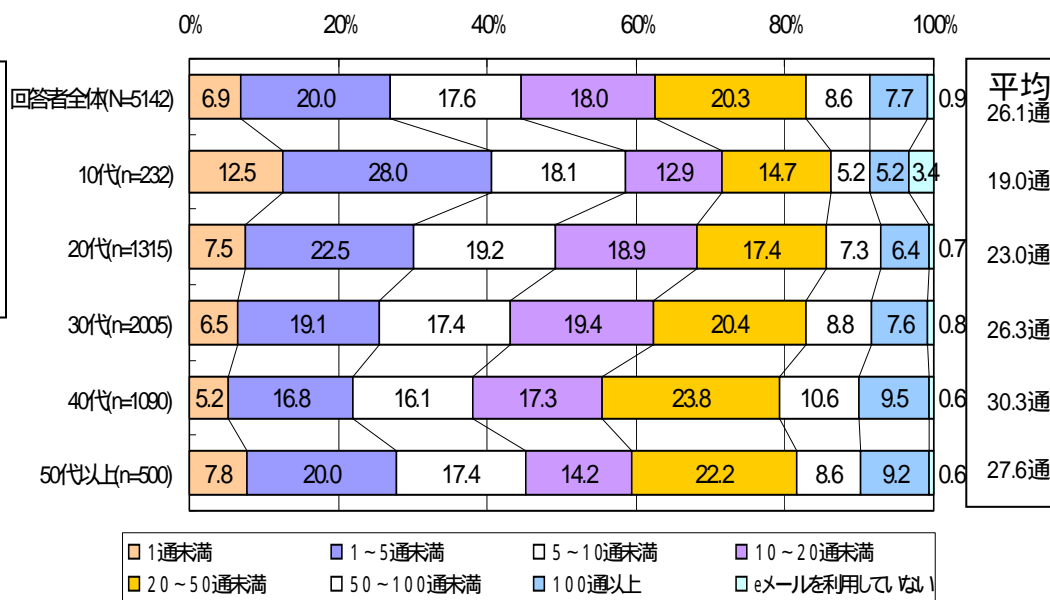
[性別]では、「男性」のほうが電子メールの送受信数がやや多い。

[年代別]では、「10代」は5通未満の人が計4割、平均送受信数が19.0通と、他の年代より少ない。「40代」は20通以上の人が計5割近く、平均送受信数が30.3通と、他の年代より多い。

電子メールの送受信数 [回答者全体 / 性別]



電子メールの送受信数 [年代別]

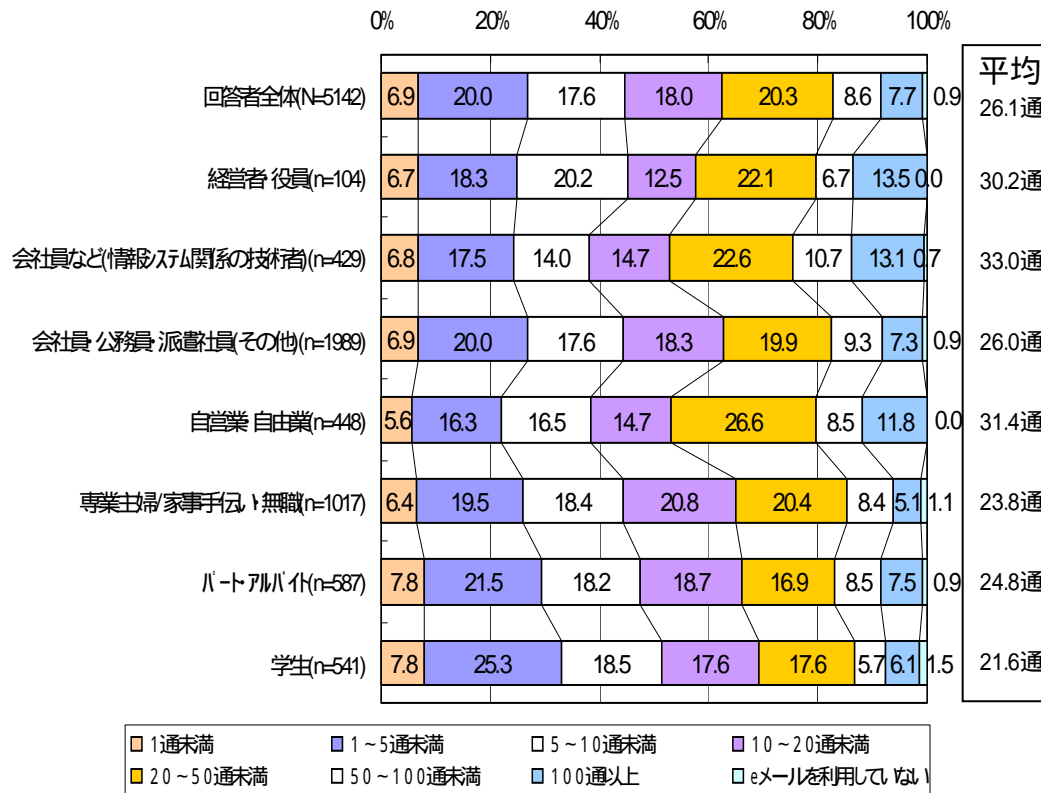


3.4.5. 電子メールの送受信数(2)

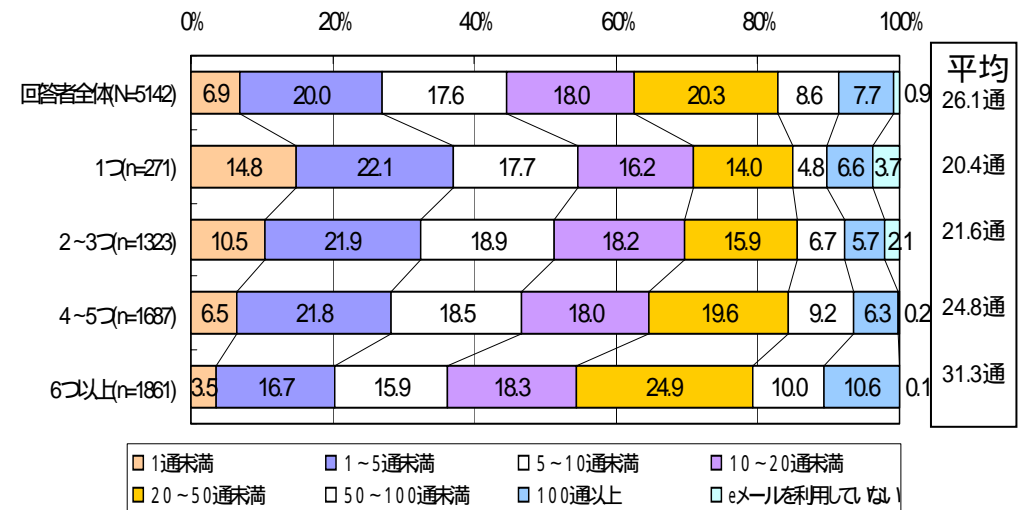
[職業別]では、「会社員など(情報システム関係の技術者)」、「自営業・自由業」、「経営者・役員」のメール送受信数がやや多い。

[インターネット利用目的の回答数別]では、目的数が多い層ほどメール送受信数が多い。[インターネット利用時間別]でも同様の傾向があり、利用時間が長い層ほどメール送受信数が多い。

電子メールの送受信数 [職業別]



電子メールの送受信数 [インターネット利用目的の回答数別]



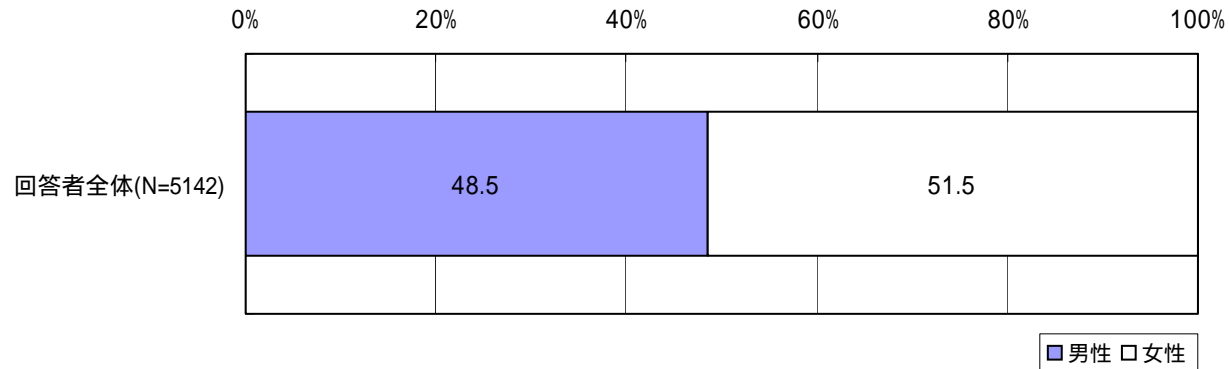
3.5. 基本属性

3.5. 基本属性(1)

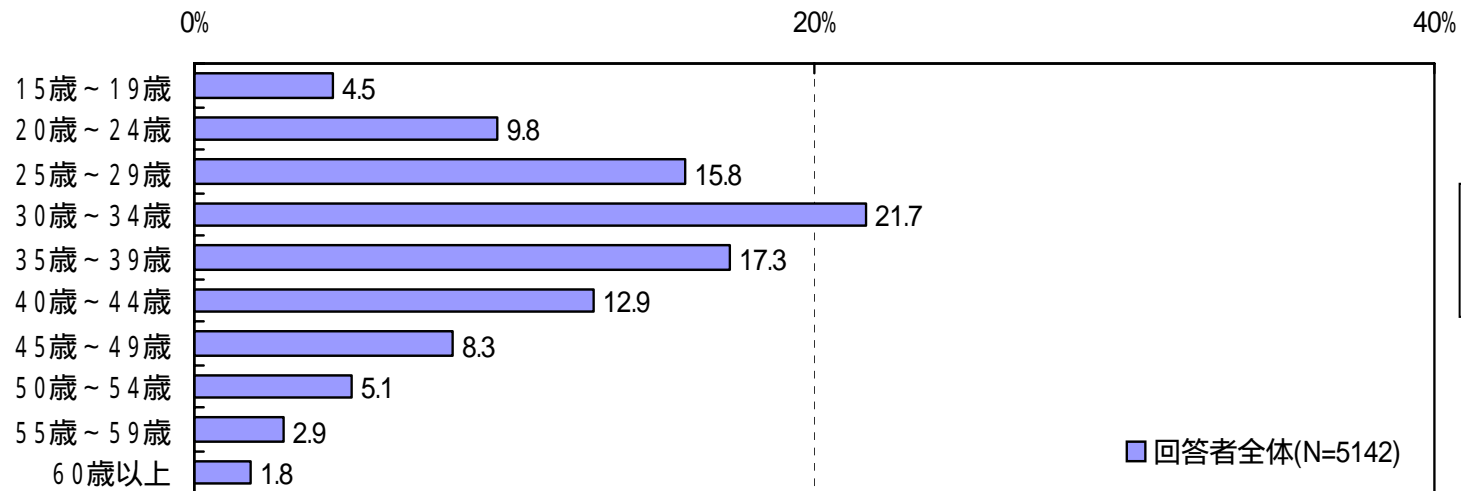
有効回答者数は5,142人。性別は女性2,648人(51.5%)、男性2,494人(48.5%)。

年齢構成は「30～34歳」(21.7%)、「35～39歳」(17.3%)、「25～29歳」(15.8%)の順に多い。平均は35.2歳。

性別 [回答者全体]



年齢構成 [回答者全体]

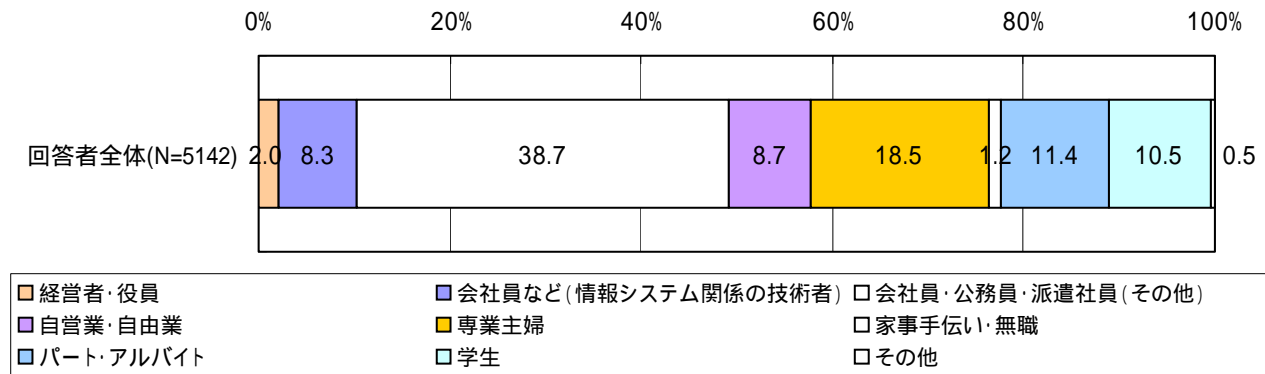


平均：
35.2歳

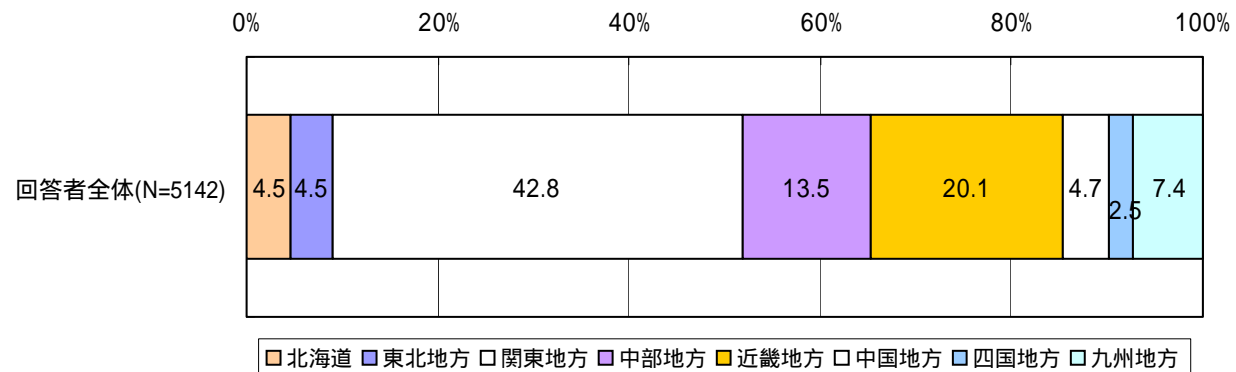
3.5. 基本属性(2)

職業は「会社員・公務員・派遣社員(その他)」が38.7%で最も多く、次いで「専業主婦」が18.5%。
 居住地は「関東」が42.8%で多く、次いで「近畿」20.1%、「中部」13.5%と続く。

職業 [回答者全体]



居住地 [回答者全体]



参考 調査票

調査票のご確認にあたって

●選択肢ランダムイズ

→通常ランダムイズ、リバースランダムイズの2タイプがございます
→ランダムイズが設定されている設問の上に、ランダムイズのタイプと設定されている選択肢番号が表示されます

●画面分割

→画面が分割される箇所に『ここで改ページ』という線が表示されます

インターネット利用と情報セキュリティに関するアンケート

下記アンケートにご協力をお願いします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知れた情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力をお願いします。

[1]パソコンでのインターネットの利用状況についてうかがいます。

Q1 パソコンでインターネットを利用し始めた時期はいつですか。【必須入力】

- 1. 1997年以前
- 2. 1998～1999年
- 3. 2000～2001年
- 4. 2002年
- 5. 2003年
- 6. 2004年以降

Q2 あなたがパソコンでインターネットを利用する場所はどこですか。
以下から該当するものを選んでください。(いくつでも)

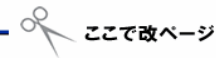
【必須入力】

- 1. 職場
- 2. 学校
- 3. 自宅
- 4. インターネットカフェ
- 5. その他(具体的に)

Q3 プライベートにおいて、パソコンでインターネットを利用する目的は何ですか。
以下から該当するものを選んでください。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 家族・友人等との連絡(Eメール等)
- 2. 趣味・娯楽のための情報収集
- 3. 仕事・勉強のための情報収集
- 4. オンライン・バンキング
- 5. 金融商品のネット取引(株、外貨、投資信託等)
- 6. ネットショッピング・ネットオークション
- 7. 音楽・映像のダウンロード、ファイル交換
- 8. オンラインゲーム参加
- 9. 掲示板・チャット・SNSなどのコミュニティサイト参加
- 10. ブログ・ホームページ作成
- 11. その他(具体的に)
- 12. プライベートでもパソコンでインターネットを利用しない



ここで改ページ

【この質問はQ3で1～11「プライベートにおいて、パソコンでインターネットを利用する」と答えた方にお聞きします】

Q4 プライベートにおいて、パソコンでインターネットを利用する時間は一日平均どれくらいですか。【必須入力】

- 1. 15分未満
- 2. 15～30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1～2時間未満
- 5. 2～3時間未満
- 6. 3～5時間未満
- 7. 5時間以上

【この質問はQ3で1～11「プライベートにおいて、パソコンでインターネットを利用する」と答えた方にお聞きします】

Q5 プライベートにおいて、パソコンで送受信するeメールの数は一日平均どれくらいですか。(送信と受信の合計数)

【必須入力】

- 1. 1通未満
- 2. 1～5通未満
- 3. 5～10通未満
- 4. 10～20通未満
- 5. 20～50通未満
- 6. 50～100通未満
- 7. 100通以上
- 8. eメールを利用していない

[2]プライベートで利用するパソコンの、情報セキュリティ対策についてうかがいます。

【この質問はQ3で1～11「プライベートにおいて、パソコンでインターネットを利用する」と答えた方にお聞きします】

Q6 あなたは、プライベートにおいてパソコンでインターネットを利用する際、情報セキュリティ対策を実施していますか。
項目ごとにお答えください。(それぞれひとつだけ)

※なお、「1. Windows Update等による更新」「3. パスワードの定期的な変更」については、「プロバイダ提供のセキュリティサービスを利用」以外をお答え下さい。

【必須入力】

	1 自分自身で実施	2 家族や知人などが実施	3 プロバイダ提供のセキュリティサービスを利用	4 実施していませんが今後する予定	5 実施していません	6 わからない
1. Windows Update等による更新	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. セキュリティ対策ソフトの導入	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. パスワードの定期的な変更	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 怪しい電子メール・添付ファイルの削除	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. セキュリティ関連情報の収集	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問はQ6-2で「セキュリティ対策ソフトの導入」を「自分自身で実施」「家族や知人などが実施」「プロバイダ提供のセキュリティサービスを利用」と答えた方にお聞きします】

Q7 利用しているセキュリティ対策ソフトのメーカー名を以下から選んでください。(いくつでも)【必須入力】

- 1. トレンドマイクロ
- 2. シマンテック
- 3. マカフィー
- 4. その他(具体的に)
- 5. メーカー名はわからない

【この質問はQ3で1～11「プライベートにおいて、パソコンでインターネットを利用する」と答えた方にお聞きします】

Q8 情報セキュリティ対策の実施について負担に思うことや、情報セキュリティ対策を実施しない理由を以下から選んでください。(いくつでも)【必須入力】

- 1. 費用がかかる
- 2. 手間がかかる
- 3. 対策方法がわからない
- 4. 対策を講じるとパソコンの利便性が損なわれる
- 5. 関連情報の収集・勉強が面倒
- 6. 対策の必要性を感じない
- 7. 何が危険なのかわからない
- 8. その他(具体的に)
- 9. 特にない

【この質問はQ3で1～11「プライベートにおいて、パソコンでインターネットを利用する」と答えた方にお聞きします】

Q9 プライベートにおいてパソコンでインターネットを利用する際、情報セキュリティに関して何らかの被害に遭ったことがありますか。

【必須入力】

- 1. ある
- 2. ない

【この質問はQ9で「ある」と答えた方にお聞きします】

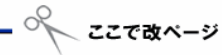
Q10 被害の具体的な内容を選んでください。(いくつでも)【必須入力】

- 1. ウイルス感染
- 2. 不正アクセス
- 3. パソコンの起動異常や、システムの不調
- 4. 個人情報の流出
- 5. ワンクリック詐欺
- 6. データの消失・改ざん
- 7. 大量メール送信
- 8. その他(具体的に)

【この質問はQ9で「ある」と答えた方にお聞きします】

Q11 被害に遭ったときの対処方法を以下から選んでください。(いくつでも)【必須入力】

- 1. 警察への届け出
- 2. 公的機関・自治体に相談(IPAや消費生活センター等)
- 3. セキュリティ対策ソフトのメーカーに相談
- 4. パソコンメーカーに相談
- 5. プロバイダに相談
- 6. 家族や知人に相談
- 7. 自力で対処
- 8. その他(具体的に)
- 9. 何もしなかった



ここで改ページ

[3]情報セキュリティ上の脅威についてうかがいます。

Q12 情報セキュリティに関する次の言葉の中で、聞いたことがあるものを選んでください。(いくつでも)【必須入力】

- 1. ウイルス感染
- 2. スパムメール
- 3. スパイウェア
- 4. フィッシング
- 5. ファーミング
- 6. ボット
- 7. セキュリティホール(せい、弱性)
- 8. この中に聞いたことがあるものはない

【この質問はQ12で「ウイルス感染」を選んだ方にお聞きします】

Q13 「ウイルス感染」についてどのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

[回答後はこちらをクリックして下さい](#)

【この質問はQ13で「知っている」と答えた方にお聞きします】

Q14 「ウイルス感染」に関連する記述について正誤を判定してください。
【必須入力】

	正	誤
1. ウイルス対策ソフトをパソコンにインストールしていれば、ウイルス感染を防ぐのに有効である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 不審なファイルが添付されたメールが届いた場合は、ファイルを開いて内容を確認した方がよい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. ウイルスは主にメールの添付ファイルによって感染するので、Webページを閲覧しただけでは感染することはない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問はQ12で「スパムメール」を選んだ方にお聞きします】

Q15 「スパムメール」についてどのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

[回答後はこちらをクリックして下さい](#)

【この質問はQ15で「知っている」と答えた方にお聞きします】

Q16 「スパムメール」に関連する記述について正誤を判定してください。
【必須入力】

	正	誤
1. 心当たりのないメールや不審なメールは、送信停止の依頼を返信した方がよい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. プロバイダの中にはスパムメール(迷惑メール)の迷惑防止(あるいは迷惑メールをフィルタリング)するサービスを提供する事業者がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. スパムメールを開いただけではウイルス感染しないが、ウイルス等の不正プログラムが仕込まれたWebサイトへリンクされている場合があるので、十分注意した方がよい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問はQ12で「スパイウェア」を選んだ方にお聞きします】

Q17 「スパイウェア」についてどのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

[回答後はこちらをクリックして下さい](#)

【この質問はQ17で「知っている」と答えた方にお聞きします】

Q18 「スパイウェア」に関連する記述について正誤を判定してください。
【必須入力】

	正	誤
1. スパイウェアとは、ネットカフェなどのパソコンに仕掛けられて、他の利用者の記録を盗むもので、自宅のパソコンなどはあまり侵入しない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. スパイウェアとは、利用者の個人情報等を収集し、外部に送信するプログラムである。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. ポップアップ画面や確認メッセージ上にあるボタンをクリックすることによりスパイウェアが侵入することがあるので、不審なものは右上の[×]ボタンで終了するとよい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問はQ12で「フィッシング」を選んだ方にお聞きします】

Q19 「フィッシング」についてどのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

[回答後はこちらをクリックして下さい](#)

【この質問はQ19で「知っている」と答えた方にお聞きします】

Q20 「フィッシング」に関連する記述について正誤を判定してください。
【必須入力】

	正	誤
1. フィッシングとは、金融機関などを装ったメールを送り、偽サイトへのリンクを貼り付けて誘い出し、クレジットカード番号やパスワードなどを騙し取る詐欺行為である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 偽サイトは、アドレスバーのURLや鍵マーク(サイトの証明書)を確認すればほとんど見破ることができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. フィッシングを仕掛けてくる偽メールは、ウイルス対策ソフトでも検出されないケースがほとんどなので、むやみにメールを信用しない、リンクを簡単にクリックしない、など日頃の心がけが大切である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問はQ12で「ファームウェア」を選んだ方にお聞きします】

Q21 「ファームウェア」についてどのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

[回答後はこちらをクリックして下さい](#)

【この質問はQ21で「知っている」と答えた方にお聞きます】

Q22 「ファームウェア」に関する記述について正誤を判定してください。【必須入力】

	正	誤
1. 正しいURLを入力してアクセスしても、偽サイトに誘導して個人情報を盗もうとするものを、ファームウェアという。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 企業側のサイトに侵入し、そこにアクセスする人を悪意のあるWebサイトへ自動的に導くものなので、利用者側では対策のとりようがない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. サイトの正しいURLを自分のパソコンのお気に入り等に入れてそこからアクセスするようになれば、偽サイトに誘導されることはない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問はQ12で「ポット」を選んだ方にお聞きます】

Q23 「ポット」についてどのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

[回答例はこちらをクリックして下さい](#)

【この質問はQ23で「知っている」と答えた方にお聞きます】

Q24 「ポット」によって、どのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。【必須入力】

	正	誤
1. ポットに感染したら、パソコン自体が勝手に動くのですぐに感染したことがわかる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. ポットは、ファイル交換ソフトやインスタントメッセージャーなどの利用で感染することが多く、メールなどでは感染することは少ない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. ポットに感染すると、自分のパソコンが操られて、迷惑メールを勝手に送信したり、DoS攻撃(特定のサイトへのサービス妨害)などを行ってしまうことがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問はQ12で「セキュリティホール(ぜい弱性)」を選んだ方にお聞きます】

Q25 「セキュリティホール(ぜい弱性)」についてどのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

[回答例はこちらをクリックして下さい](#)

【この質問はQ25で「知っている」と答えた方にお聞きます】

Q26 「セキュリティホール(ぜい弱性)」に関する記述について正誤を判定してください。【必須入力】

	正	誤
1. セキュリティホールとは、パソコンへの不正アクセスを目的に仕掛けられ、特定のポートを開いて外部からインターネットを通じてパソコンに侵入する仕組みである。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. セキュリティホールがあると、メールを開いただけ、ネットにつないただけでウイルスに感染する可能性がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. セキュリティホールを解消するには、Windows Updateなどを利用して常にパソコンを最新の状態しておく必要がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問は、Q13-15-17-19-21-23-25で「どのようなことが生じるか(事象)を知っている」と答えた項目についてのみお答えください】
(それ以外のものについては無回答で結構です)

Q27 A～Gによって起こる事象を脅威とご判断しますか。項目ごとに番号で教えてください。(それぞれひとつだけ)【必須入力】

	1 脅威に思う	2 脅威に思わない
A. ウイルス感染	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B. スパムメール	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C. スパイウェア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
D. フィッシング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
E. ファームウェア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F. ポット	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
G. セキュリティホール	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問は、Q13-15-17-19-21-23-25で「どのようなことが生じるか(事象)を知っている」と答えた項目についてのみお答えください】
(それ以外のものについては無回答で結構です)

Q28 A～Gについてどのような対策を実施していますか。番号で教えてください。(いくつでも)【必須入力】

	1 既存のウイルス対策ソフトの活用	2 専用の対策ソフトの導入(スパムメール対策、パーソナルファイアウォール等)	3 セキュリティパッチ(Windows Update等)の適用	4 見知らぬ人からのメールは開かないなどの運用管理	5 その他	6 何もしていません
A. ウイルス感染	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B. スパムメール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C. スパイウェア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D. フィッシング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E. ファームウェア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F. ポット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G. セキュリティホール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【この質問は、Q28で「その他」と答えた項目についてのみお答えください】
 (それ以外のものについては無回答で結構です)

Q29 Q28でお答えになった「その他」の対策を具体的に記入ください。

- A. ウイルス感染
- B. スпамメール
- C. スパイウェア
- D. フィッシング
- E. ファーミング
- F. ポット
- G. セキュリティホール

【この質問は、Q13・15・17・19・21・23で「どのようなことが生じるか(事象)を知っている」と答えた項目についてのみお答えください】
 (それ以外のものについては無回答で結構です)

Q30 A～Fについて、これまでに被害に遭ったことがありますか。項目ごとに番号で答えてください。(ひとつだけ)
 【必須入力】

	1 ある	2 ない	3 わからない
A. ウイルス感染	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B. スпамメール	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C. スパイウェア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
D. フィッシング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
E. ファーミング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F. ポット	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q31 Q30のA～Fなどの被害に遭遇したときのために相談先(電話番号等)を用意していますか。
 当てはまるものを以下から選んでください。(いくつでも)
 【必須入力】

- 1. パソコンメーカー
- 2. ウイルス等の対策ソフトの製造・発売元会社
- 3. プロバイダ
- 4. その他(具体的に)
- 5. 用意していません

[4] 情報セキュリティに関する情報の入手についてうかがいます。

Q32 情報セキュリティに関する最新情報・対策情報は何かから得ていますか。
 以下から該当するものを選んでください。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 政府・自治体、その他セキュリティ関連の組織団体のウェブサイト、メーリングリスト等
- 2. パソコンメーカー、プロバイダ等のウェブサイト、メーリングリスト等
- 3. セキュリティ対策ソフトメーカーのウェブサイト、メーリングリスト等
- 4. IT関連のウェブサイト、メーリングリスト等
- 5. ポータルサイトのトピックス、ニュース等
- 6. テレビ・新聞等
- 7. セミナーや研究会
- 8. 雑誌や専門書
- 9. 家族や知人から
- 10. その他(具体的に)
- 11. 入手していません

Q33 情報セキュリティに関する情報について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。(いくつでも)【必須入力】

- 1. 情報の在り処がわからない
- 2. 内容が難しい
- 3. 知らない用語が多い
- 4. 情報が多すぎる
- 5. 情報が複雑すぎる
- 6. 次から次へと情報が新しくなって追いつけない
- 7. 自分から情報収集・勉強するのが面倒
- 8. その他(具体的に)
- 9. 特に問題は感じていません

Q34 情報セキュリティに関する情報がどのように提供されることを望みますか。
 以下から該当するものを選んでください。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. ポータルサイトの目立つ場所
- 2. RSS配信
- 3. メールマガジン
- 4. 最新情報が自動的にデスクトップに表示される
- 5. テレビのCM
- 6. 新聞内
- 7. ニュース内
- 8. 行政や業者による無料セミナー
- 9. 無料配布冊子
- 10. その他(具体的に)